

can-am®



2019 CAN-AM SPYDER ON-ROAD VEHICLE オペレーターズガイド

安全性、車両およびメンテナンスに関する
情報が記載されています



SPYDER® RT™



警告

Spyderの特殊性について理解してください。

このオペレーターズガイドを読み、安全講習ビデオをご覧ください。

<https://can-am.brp.com/spyder/owners/safety/safety-information.html>

トレーニングコース(用意されている場合)を受講し、運転の練習を行って習熟してください。

地域によって免許の要件が異なります。各地域の法令をご確認ください。

このガイドをフロントストレージコンパートメントに保管してください。

2 1 9 0 0 2 0 1 0 _ J A

原本

⚠ 警告

このオペレーターズガイド、安全講習ビデオおよび製品に貼付されている警告ラベルに記載の安全注意事項や指示を無視すると、死亡事故や負傷の原因となる場合があります。

米国カリフォルニア州規制「PROPOSITION 65」に基づく警告

⚠ 警告：この車両の運転、整備、および操作を行うことで、米国カリフォルニア州政府が規制する、発がん性や先天性障害または生殖毒性を引き起こすことが知られている化学製品にさらされる可能性があります。そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。詳細は、
www.p65warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle



カナダでは、Bombardier Recreational Products Inc.が本製品を販売しています。米国内の製品代理店はBRP US Inc.です。

以下の商標は、ボンバルディ エレクリエーションナルプロダクツまたはその関連会社に帰属します：

BRP Connect™

Can-Am®

Rotax®

RT™

Spyder®

XPS™

Made for



iPod



iPhone

iPhone、iPod、iPod nano および iPod touchは米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

「Made for iPod (iPod専用)」および「Made for iPhone (iPhone専用)」とは、それぞれ電子装置が特にiPodまたはiPhoneに接続できるように設計されており、Apple社の性能基準を満たしていることを開発者が認証していることを意味します。Appleはこのデバイスの使用、または安全性および規制基準へのコンプライアンスに関して一切責任を負いません。本付属品をiPodまたはiPhoneとともに使用することで、ワイヤレス性能に影響を及ぼす可能性があることをご了承ください。Apple App StoreはApple Inc.の商標です。

Bluetooth® 文字商標およびロゴはBluetooth SIG Inc.が所有する登録商標です。

Google Play StoreはGoogle Inc.の登録商標です。

まえがき

Deutsch	Dieses Handbuch ist möglicherweise in Ihrer Landessprache verfügbar. Bitte wenden Sie sich an Ihren Händler oder besuchen Sie: www.operatorsguides.brp.com
English	This guide may be available in your language. Check with your dealer or go to: www.operatorsguides.brp.com
Español	Es posible que este manual esté disponible en su idioma. Consulte a su distribuidor o visite: www.operatorsguides.brp.com
Français	Ce guide peut être disponible dans votre langue. Vérifier avec votre concessionnaire ou aller à: www.operatorsguides.brp.com
Italiano	Questa guida potrebbe essere disponibile nella propria lingua. Contattare il concessionario o consultare: www.operatorsguide.brp.com
中文	本手册可能有您的语种的翻译版本。请向经销商询问，或者登录 www.operatorsguides.brp.com 查询。
日本語	このガイドは、言語によって翻訳版が用意されています。ディーラーに問い合わせるか、次のアドレスでご確認ください： www.operatorsguides.brp.com
Nederlands	Deze handleiding kan beschikbaar zijn in uw taal. Vraag het aan uw dealer of ga naar: www.operatorsguides.brp.com
Norsk	Denne boken kan finnes tilgjengelig på ditt eget språk. Kontakt din forhandler eller gå til: www.operatorsguides.brp.com
Português	Este manual pode estar disponível em seu idioma. Fale com sua concessionária ou visite o site: www.operatorsguides.brp.com
Русский	Воспользуйтесь руководством на вашем языке. Узнайте о его наличии у дилера или на странице по адресу www.operatorsguide.brp.com
Suomi	Käyttöohjekirja voi olla saatavissa omalla kielelläsi. Tarkista jälleenmyyjältä tai käy osoitteessa: www.operatorsguides.brp.com
Svenska	Denna bok kan finnas tillgänglig på ditt språk. Kontakta din återförsäljare eller gå till: www.operatorsguides.brp.com

新しいCan-Am® Spyder®をご購入いただきありがとうございます。本製品はBombardier Recreational Products Inc. (BRP) の保証および、お客様が必要とされる部品、サービスやアクセサリーを準備している認定ディーラーのネットワークによって支えられています。

各ディーラーとも、お客様が満足されるように努めています。ディーラーは、準備や点検を行うためのトレーニングを受けており、お客様がこの新しい車両を所有される前の最終調整も行っています。

詳しいサービス情報をご希望の場合は、最寄りのディーラーまでお問い合わせください。

納品時には、お客様に保証範囲をお知らせいたします。また、新しい車両がご満足いただけるものであることを保証するために、お客様に納入前チェックリストにご署名いただいています。

乗車前に確認すべきこと

運転者、同乗者および他の人々の安全を確保するため、この車両に乗る前に次のセクションをお読みください。

- 一般的な注意
- 車両についての情報
- 安全にご使用いただくために
- 走行前の点検

経験豊かなモーターサイクル運転経験者であっても、他の車両との違いについてのセクションをよくお読みください。

安全上の警告

本ガイドに記載されている安全に関する安全上の警告の種類、特徴および本ガイドでどのように使用されているかを以下に説明します。

安全警告記号△は、人が負傷する恐れがあることを示しています。



警告

指示に従わなかった場合、重傷や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

注意 この指示に従わない場合、軽症またはほどほどの負傷を負う恐れがあることを示しています。

注記 指示に従わなかった場合は、車両の構成部品などに重大な損傷が生じる恐れがあることを示します。

このオペレーターズガイドについて

本オペレーターズガイドは右車線走行である米国で作成されました。本書の説明は、居住地域の管轄および法律に従いながらお読みください。

本オペレーターズガイドに記載されている「モーターサイクル」という用語は通常、二輪のバイクを意味します。

この『オペレーターズガイド』は、メンテナンス、トラブルシューティング、および他の人に指示を行う状況に備え、フロントストレージコンパートメントに保管してください。

『オペレーターズガイド』の閲覧または複製の印刷を希望される場合は、次のウェブサイト

www.operatorsguides.brp.com にアクセスしてください。

本書に記載されている情報は、発行時点で正確なものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品と同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を持っています。その後の変更により、製造された製品と本ガイドに記載の説明または仕

様との間に差異が生じる場合があります。BRPは何らの義務を負うことなく、いかなるときでも製品の仕様、設計、機能、型式、装置などを変更したり、製造を終了する権利を留保します。

車両を売却するときは、このオペレーターズガイドを必ず車両内に入れておいてください。

「その他の情報源」を参照してください

本オペレーターズガイドの他にも、車両の安全カードや製品上の警告ラベルをすべて読み、安全講習ビデオを以下のサイトでご覧ください：<https://can-am.brp.com/spyder/owners/safety/safety-information.html>



可能であれば、3輪トライクの特別トレーニングコースを受講してください。

今後提供されるトレーニングコースのスケジュールに関しては、下記のサイトを参照してください。

<http://www.brp.com/jp/>

お住まいの地域で3輪トライクの特別トレーニングコースが提供されていない場合は、バイクのトレーニングコースの受講を推奨します。

必要とされる技術の多くは似ており、路上の危険管理に関して得られる情報も3輪トライクによく当てはまるものです。

謝辞

このオペレーターズガイドには、Motorcycle Safety Foundation (MSF、二輪車安全基金)の道路上のモーターサイクルの安全性に関する資料を引用しています。同基金に対して感謝申し上げます。

MSFは、あらゆるモーターサイクルメーカーから支持されている、国際的に認知された非営利財団です。MSFは、地域や団体にモーターサイクルの安全に関するトレーニングやツールを提供したり、パートナーシップ関係を結んでいます。詳細は下記のサイトを参照してください。

www.msf-usa.org

目次

まえがき.....	1
乗車前に確認すべきこと.....	1
安全上の警告.....	2
このオペレーターズガイドについて.....	2
「その他の情報源」を参照してください.....	2
謝辞.....	2
一般的な注意.....	7
一酸化炭素中毒の防止.....	7
ガソリンによる火事や危険などの防止.....	7
高温部分による火傷の防止.....	7
アクセサリおよび改造.....	7

車両についての情報

基本操作部.....	10
1) ハンドル.....	10
2) スロットル.....	10
3) ギヤシフトセレクター.....	11
4) プレーキペダル.....	12
5) パーキングブレーキボタン.....	12
二次コントロール.....	14
1) イグニッションスイッチ.....	15
2) エンジンのスタートボタン.....	15
3) エンジンのストップスイッチ.....	16
4) ハザード警告スイッチ.....	16
5) クルーズコントロールスイッチ.....	16
6) ヘッドライトスイッチ.....	18
7) ウィンカーボタン.....	19
8) クラクションボタン.....	19
9) ウィンドシールド調整ボタン.....	19
10) リバースボタン.....	20
11) ECC (エレクトロニックコマンドセンター).....	20
12) BRP CONNECTボタン.....	21
13) スイッチクラスター.....	21
同乗者用コントロール.....	23
同乗者用ヒートッドグリップスイッチ.....	23
同乗者用オーディオコントロール.....	23
大型パノラマ7.8インチワイドLCDディスプレイ.....	25
基本機能.....	25
設定.....	27
メニュー.....	27
BLUETOOTHによるスマートフォンのペアリング.....	29
ヘルメットのペアリング.....	30
BRP CONNECTアプリ.....	30
BRP CONNECTアプリのクイックツアー.....	31
装備類.....	32
ミラー.....	32
フロントストレージコンパートメント.....	33
シート.....	33
ストレージコンパートメント.....	34
ヘルメット.....	35
車載工具.....	36
オペレーターズガイド.....	36

ボディパネル.....	37
基本手順.....	42
同乗者用フットレストの調整の仕方.....	42
エンジンの始動および停止.....	42
後進走行.....	43
慣らし運転中の運転.....	43
燃料.....	44
サスペンションの調整.....	45
オーディオ-インジャックの使用.....	46
安全にご使用いただくために	
他の車両との違いについて.....	48
安定性.....	48
道路状態に対する反応.....	48
ブレーキペダル.....	48
パーキングブレーキ.....	48
ステアリング.....	48
幅.....	49
リバース.....	49
運転免許証および国や地域の法律.....	49
駆動支援技術.....	50
車両スタビリティシステム (VSS).....	50
ダイナミックパワーステアリング (DPS).....	51
道路上のリスクの把握.....	52
車両の種類.....	52
ドライバーの技術および判断力.....	52
ライダーの状態.....	52
車両の状態.....	53
道路状況および天候.....	53
走行時の衣類・装備類.....	54
ヘルメット.....	54
走行時のその他の衣類・装備類.....	54
必要とされる運転技術および実践演習.....	57
練習場の選択.....	57
運転の準備.....	57
運転の姿勢.....	57
練習の実施.....	58
高度運転技術の取得.....	64
道路上の注意事項.....	65
練習の下準備.....	65
安全運転.....	65
視認性を高める.....	66
車線の位置.....	67
一般的な運転状況.....	67
道路状況および危険性.....	69
道路上での緊急事態.....	70
タイヤの故障.....	70
同乗者や積荷を乗せる、またはトレーラーの牽引.....	71
重量制限.....	71
超過重量で運転する場合.....	71
同乗者を乗せた運転.....	71

荷物を乗せる場所	72
トレーラーの牽引	73
自己テスト	76
質問	76
解答	79
車両の安全情報	81
ハングタグ	81
安全カード	82
警告ラベル (欧州向け以外の全モデル)	83
安全ラベル (欧州モデル)	87
安全面での欠陥の報告	91
走行前の点検	
走行前のチェックリスト	94
車両始動前の点検内容	94
イグニッションキーをONにする	96
メンテナンス	
メンテナンスのスケジュール	98
初期点検	101
メンテナンスの手順	102
エンジンオイル	102
エアフィルター	106
エンジンクーラント	107
ラジエーターファン	108
バッテリー	109
ドライブベルト	110
ホイールおよびタイヤ	111
ブレーキ	113
ヘッドライト	114
車両のお手入れ	118
洗車	118
車両の保護	118
保管、シーズン前の準備	119
保管	119
シーズン前の準備	119
道路脇での修理	
診断ガイドライン	122
シフトがニュートラルに入らない	122
シフトが動かない	122
エンジンが始動しない	122
多機能ゲージのメッセージ	124
以下の状況に対する解決策	126
キーの紛失	126
サイドストレージコンパートメントを開けることができない。	126
タイヤのパンク	126
バッテリー上がり	127

ヒューズおよびライトの交換方法.....	128
ヒューズ.....	128
ライト.....	131
車両の移送.....	137

技術情報

車両の識別.....	140
車両識別番号.....	140
エンジン識別番号.....	140
代替燃料インフラコンプライアンスラベルの導入.....	140
EPA適合ラベル.....	141
騒音エミッションコントロールシステム規制.....	142
無線周波数デジタルコード化されたセキュリティシステム（無線周波数 D.E.S.S.キー）.....	143
多機能ゲージの法規制に関する情報.....	144
仕様.....	148

保証

BRP限定保証-米国およびカナダ:2019 CAN-AM® SPYDER SPYDER®シ リーズシリーズ.....	156
BRP限定保証 2019 CAN-AM® SPYDER SPYDER®シリーズシリーズ....	163

顧客情報

個人情報.....	170
お客様窓口.....	171
ウェブサイト.....	171
北米.....	171
ヨーロッパ.....	171
オセアニア.....	171
南米.....	172
アジア.....	172
住所と所有者の変更.....	173

一般的な注意

一酸化炭素中毒の防止

どのエンジンの排気ガスにも、致命的なガスである一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸うと、頭痛、めまい、眠気、吐き気、錯乱を招き、場合によっては死に至ることがあります。

一酸化炭素は、エンジンの排気ガスを見たりその匂いを感じないとしても、存在する恐れがある、無色、無臭、無味のガスです。一酸化炭素は極めて早く致死濃度に達することがあり、急速にその影響を受けて、自身を守ることができなくなります。また、閉じた場所や換気が悪い場所では、一酸化炭素の致死濃度が数時間から数日に長引くことがあります。一酸化炭素中毒の徴候を感じたら、すぐにその場所を離れ新鮮な空気を吸い、医師にご相談ください。

一酸化炭素による重傷や死亡を防ぐには：

- ガレージ、カーポートや納屋などの換気が悪い場所、または部分的に閉じられた場所で車両を絶対に運転しないでください。扇風機を使ったり窓やドアを開けてエンジンの排気ガスを換気しようとしても、一酸化炭素が危険なレベルに早く達する場合があります。
- 窓やドアなどの開口部からエンジンの排気ガスが建物に入る恐れがある場所では、絶対に屋外で車両を運転しないでください。

ガソリンによる火事や危険なものの防止

ガソリンは可燃性が極めて高く、爆発性する可能性が高いものです。燃料の蒸気は拡散し、エンジンから遠く離れた火の粉や炎によって引火することもあります。火事や爆発の危険性を減らすために、以下の指示に従ってください：

- 燃料の補給は、炎、火の粉、火がついているタバコやその他の点火源から離れ、よく換気された屋外で行ってください。
- 絶対に、エンジンを作動させたままで燃料を補給しないでください。

- 絶対に、燃料タンクから溢れさせないでください。温度変化で燃料が膨張する場合がありますため、燃料タンクに若干の余裕を残してください。
- こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。
- 絶対に、燃料キャップが外れたまま始動したり運転したりしないでください。
- 燃料の保存には、承認された赤いガソリン容器だけを使ってください。
- 車両のフロントストレージコンパートメントや他のどの場所であっても、ガソリン容器を運搬しないでください。

ガソリンは有毒で、傷害や死亡を引き起こす場合があります。

- 絶対に、口でガソリンを吸い上げないでください。
- ガソリンを飲み込んだり、ガソリンが目に入ったり、ガソリンの蒸気を吸い込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。

ガソリンが体にかかった場合は、石鹸と水で洗い、衣服を着替えてください。

高温部分による火傷の防止

排気、オイルおよびクーリングシステム、およびエンジンには運転中に高温になります。多機能ゲージガラスなどの他の部品も、60^oC 以上の外気温下で使用すると高温になります。火傷を防止するために、運転中や運転直後に触らないでください。

アクセサリおよび改造

承認を受けていない改造や、BRPが認定していないアタッチメントや用品の使用は避けてください。これらの改造はBRPによる試験を受けていないため、交通事故や負傷の危険性を高め、車両の使用が違法となる場合があります。

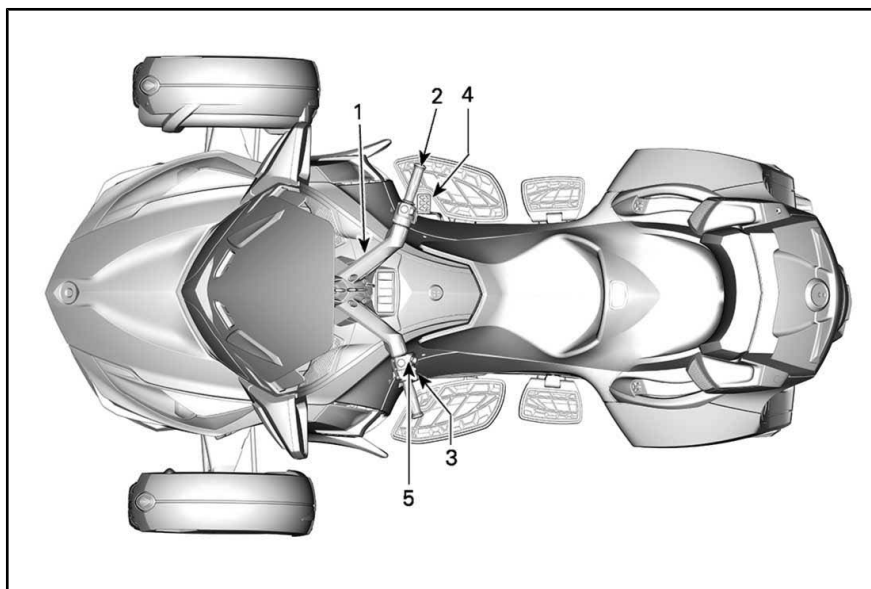
通常のモーターサイクルとは異なり、車両には車両安定システム (VSS) が搭載されています。これは、通常の車両構成に対して較正が行われています。VSSIは、重量配分、ホイールベース、タイヤ、サスペンション、ブレーキまたはステアリングを変更するなど、車両を改造した場合に正常に作動しなくなることがあります。

車両で使用できるアクセサリーについては、認定Can-Am On-Roadディーラーにご相談ください。

車両についての情報

基本操作部

すべての操作部の位置と操作方法を知り、それらをスムーズかつ上手に使用できるように練習する必要があります。



代表例

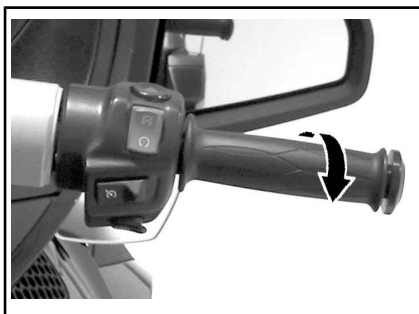
1	ハンドルバー
2	スロットル
3	ギヤシフトセクター
4	ブレーキペダル
5	パーキングブレーキボタン

1)ハンドル

両手でハンドルを握ります。行きたい方向にハンドルを切ります。

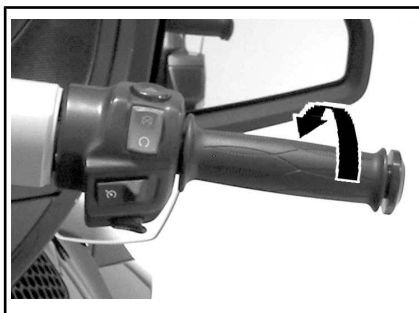
2)スロットル

右ハンドルがスロットルであり、エンジン速度を制御します。エンジン速度を上げるには、図のようにスロットルを回します（手首を下げる）。



スピードを上げる

エンジン速度を下げるには、図のようにスロットルを回します（手首を上げる）。



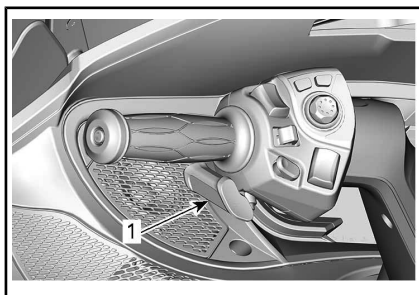
スピードを下げる

スロットルはスプリング式であり、グリップを放すとアイドリング状態に戻ります。

注：この車両にはETC（Electronic Throttle Control、「電子スロットル制御」）が搭載されています。スロットルボディのスロットルプレートは電子的に制御されており、スロットルのツイストグリップ位置に関係なく、必要な時に開けたり閉めたりできます。加速時は、車両の安定性を維持するためにVSS（車両安定システム）がエンジンの加速を抑える場合があります。その後、車両が安定してからスロットルの位置が維持されている場合は、要求に応じてエンジンの回転数が上がります。これにより、「遅れた」加速のように感じられます。

3) ギヤシフトセレクター

ギヤシフトセレクターは左ハンドグリップの下にあります。

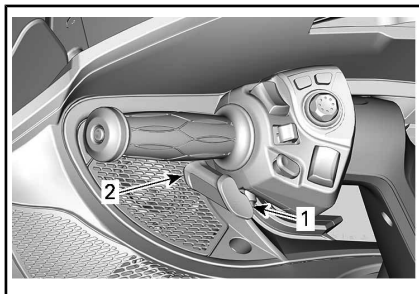


代表例

1. ギヤシフトセレクター

ギヤの順序はリバース-ニュートラル-1-2-3-4-5-6です。

シフトアップするにはセレクターを前に押します。シフトダウンするにはセレクターを自分に目掛けて引きます。



1. シフトアップ
2. シフトダウン

これによりギヤからギヤへと順序よくシフトさせます。シフト後にセレクターを放します。

ギヤを数段階シフトさせるには、セレクターを数回使用します。

1速ギヤまたはリバースからニュートラルにシフトするには、ギヤセレクターを短く押すまたは引きます。長く押し引きすると、ニュートラルを通り越します。

注：リバースから1速ギヤに入れるには、ブレーキを踏んでシフトアップします。

注：ニュートラルから1速ギヤに入れるには、ブレーキを押してシフトアップします。

ギヤシフトセレクターを放すと、次のシフトアップまたはダウンに備えて自らの機構がリセットされます。

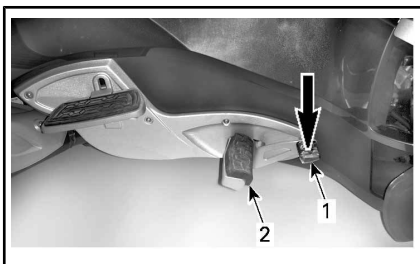
減速中にシフトダウンせず、エンジンRPMがしきい値以下になった場合、ギヤボックスは自動的に次のギヤにシフトダウンします。

ギヤボックスがギヤに入っている状態でエンジンを始動すると、自動的にニュートラルにシフトします。

4) ブレーキペダル

ブレーキペダルは右フットレストの前にあります。操作するには下に押し下げます。このペダルは3つの車輪すべてにブレーキをかけます。

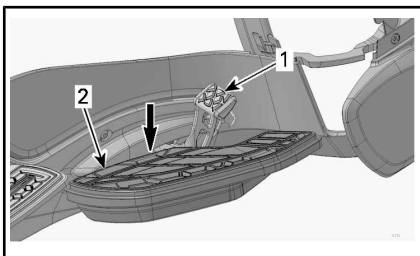
ベースモデル



1. ブレーキペダル
2. フットレスト

注：走行中に足がブレーキペダルにもたれないようにしてください。ブレーキペダルにもたれた場合、ブレーキシステムを保護するためにエンジンマネージメントシステムがLIMP HOMEモードを起動させます。

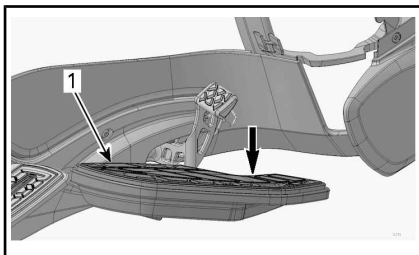
RTリミテッドモデル



普通の状態

1. ブレーキペダル
2. フロアボード

ペダルを通常より踏み込む必要がある場合、機構によってフロアボードが下げられます。これが起こった場合、力ちつとなるまでフロアボードの後部を押し、ブレーキシステムを点検します。



下げられたフロアボード

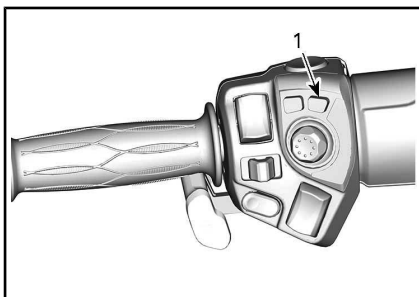
1. フロアボード

この状態が継続したり、ブレーキシステムに問題がある場合、Can-Am On-Roadの認定ディーラーにご相談ください。

5) パーキングブレーキボタン

パーキングブレーキボタンは左側グリップにあります。これは電動パーキングブレーキを起動または解除させます。

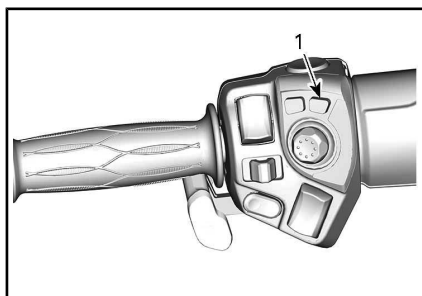
パーキングブレーキをかけずにエンジンを停止した場合、ブザー音が20秒間鳴ります。



1. パーキングブレーキボタン

注：パーキングブレーキを起動または解除させるには、イグニッションキーがONになっている必要があります。

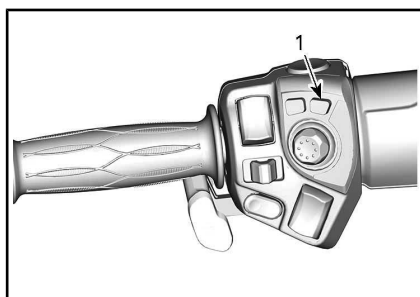
注：パーキングブレーキを起動させるには、バッテリー電圧が11V以上である必要があります。電圧が11V以下である場合、パーキングブレーキのインジケータランプがONになり、クラスタにパーキングブレーキの故障メッセージが表示されます。



1. ボタンを押す

パーキングブレーキのかけ方

車両が停止した状態で、ボタンを押してパーキングブレーキをかけます。ブレーキインジケータランプが点滅します。



1. ボタンを押す

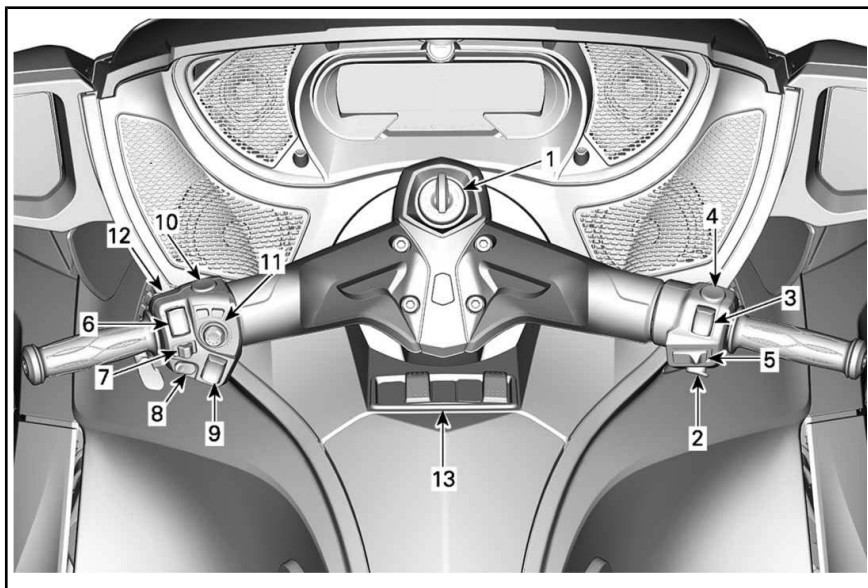
注：車速が10 km/h以上だとパーキングブレーキは作動しません。

パーキングブレーキが完全に起動していることを確認します。車両を前後に揺すります。

パーキングブレーキのリリースの仕方

パーキングブレーキを解除するには、ボタンを押してブレーキインジケータランプが消灯したことを確認します。

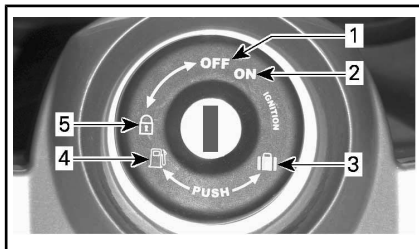
二次コントロール



代表例

1	イグニッションスイッチ	8	クラクションボタン
2	エンジンスタートボタン	9	ウィンドシールド調整ボタン
3	エンジンストップスイッチ	10	リバースボタン
4	ハザード警告スイッチ	11	ECC (エレクトロニックコマンドセンター)
5	クルーズコントロールスイッチ	12	BRP Connectボタン
6	ヘッドライトスイッチ	13	スイッチクラスター
7	方向指示灯ボタン		

1)イグニッションスイッチ



イグニッションスイッチ

1. OFF
2. ON
3. フロントストレージコンパートメントの開口部
4. 座席開口部/燃料タンクアクセス部
5. ステアリング/グローブボックスロックの位置

イグニッションスイッチはハンドルの中央にあります。次の要素をコントロールします。

- エンジン点火
- 次の部品にアクセスするための座席開口機構。
 - ・ 燃料タンクキャップ
 - ・ ブレーキオイルリザーバー
- 次の部品にアクセスするためのフロントストレージコンパートメントの開口機構。
 - ・ オペレーターズガイド
 - ・ ヒューズ
 - ・ バッテリーターミナル。
- ステアリング/グローブボックスロックの機構。

注記 キーを簡単に回せない場合、無理やり回さないでください。引き抜いて再び挿入します。

⚠ 警告

イグニッションスイッチをOFFにすると、エンジンおよびVSSおよびDPSを含むすべての電気システムを遮断します。これを車両が動いている最中にすると、コントロールを失って衝突する可能性があります。

車両には2つのキーが付属しています。各キーには、エンジンを起動させるためにあらかじめプログラムされ、無線周波数を通じてイモビライザーシステ

ムによって読み取られる、特殊なトランスポンダーチップが含まれています。キーには電池が含まれていません。キーを分解しないでください。イモビライザーシステムがキーを読み取れなかった場合、エンジンは始動しません。イモビライザーシステムがキーを読み取れなくなる状況については、診断ガイドラインを参照してください。Can-Am On-Roadのキーの複製を認定ディーラーに依頼するには、必ずスペアキーが必要となります。スペアキーは安全な場所に保管してください。

イグニッション機能

OFF

キーはこの位置で挿入または引き抜くことができます。

OFFに回すと車両の電気システムはOFFになります。

エンジンはイグニッションスイッチをOFFに回すことで停止することができます。

ON

キーをこの位置に回すと、車両の電気システムが起動します。

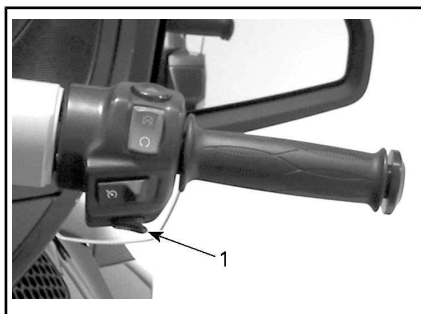
ゲージが起動します。

車両のライトがONになります。

これでエンジンを起動することができます。

2)エンジンのスタートボタン

エンジンのスタートボタンは右ハンドグリップの側にあります。

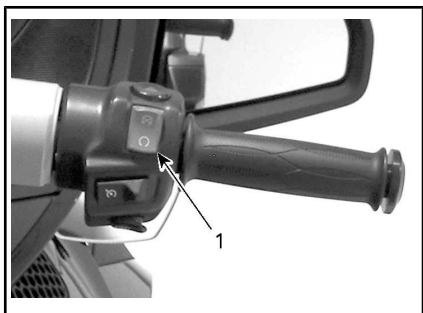


1. エンジンスタートボタン

これを押し続けてエンジンを起動させます。

3) エンジンのストップスイッチ

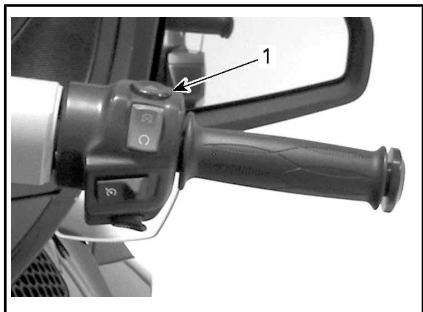
エンジンのストップスイッチは右ハンドグリップの側にあります。



1. エンジンストップスイッチ
スイッチには2つの位置があり、エンジンを起動させる前にRUNのポジションにセットする必要があります。ハンドルから手を放さずにエンジンをいつでも停止させることができます。

4) ハザード警告スイッチ

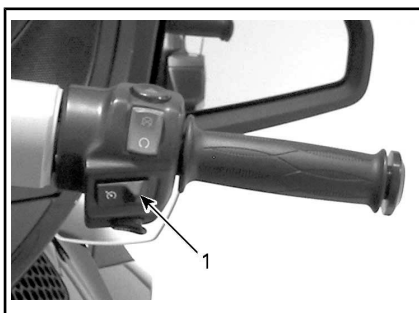
ハザード警告スイッチは右ハンドグリップの側にあります。



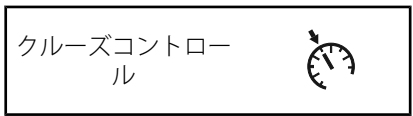
1. ハザード警告スイッチ
ボタンを押してハザード警告ライトをONにさせます。

5) クルーズコントロールスイッチ

クルーズコントロールスイッチは右ハンドグリップの側にあります。



1. クルーズコントロールスイッチ
スイッチは多機能スイッチです。これはクルーズコントロールの機能を起動、セットおよび停止させます。



警告
トレーラーを牽引している際にクルーズコントロールを使用することは推奨されません。

セットされている場合、クルーズコントロールは車両の走行中に一定のスピードを保つことを可能にします。必要に応じてエンジン速度を上げ下げします。

注：車両のトルクは風、下り坂または上り坂などの道路状況に応じて多少異なる場合があります。

クルーズコントロールは交通が少ない高速道路など、長時間のドライブで使用するために設計されています。街中、曲がりくねった道、悪天候またはスロットルを制御しなければならない状況では、絶対にクルーズコントロールを起動させたままで運転しないでください。

クルーズコントロールの制限
クルーズコントロールは自動操縦ではなく、車両を自動的に運転しません。クルーズコントロールは道路上の出来事は把握できず、自動的にブレーキをかけたり操縦したりしません。

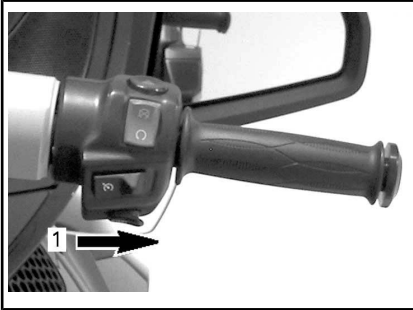
警告

クルーズコントロールを正しく使用しないと、車両のコントロールが失われる場合があります。

クルーズコントロールの設定の仕方

クルーズコントロールを使用するには、車速が約40 km/h以上であることが必要です。

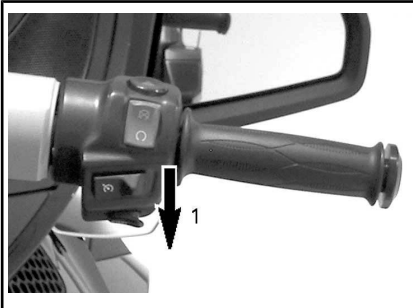
クルーズコントロールをONにさせるには、クルーズコントロールボタンを右にスライドさせます。



1. ボタンを右にスライドさせる

注：このときのクルーズコントロールの状態は、デジタルディスプレイ内で**グレー**で表示されます。

維持したい速度まで車両を加速させ、その速度をセットするにはクルーズボタンを下に押します。



1. セットさせるにはボタンを下に押し
ます

注：このときのクルーズコントロールの状態は、デジタルディスプレイ内で**グリーン**で表示されます。

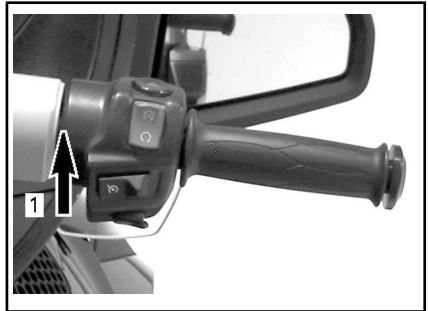
これでスロットルを戻すことができます。

警告

走行中は必ず両手でハンドルを握ります。さもないと、車両のコントロールを失いかねません。

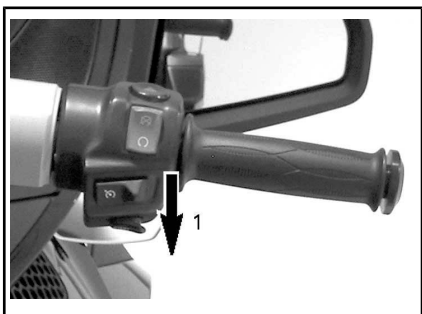
注：セットされた速度より早く走行したい場合、スロットルグリップを使ってエンジン速度を加速させることもできます。スロットルを放すと、クルーズコントロールはセットされた速度に戻ります。

クルーズコントロールがセットされたら、UPまたはDOWNボタンを押して速度設定を上げ下げできます。ボタンを押すごとに、速度設定が1.6 km/hずつ変化します。ボタンを押し続けると、リリースされるまで、または運転限界に到達するまで速度設定が変更されます。



以前に設定したクルーズコントロール

1. 速度設定を上げるにはUPボタンを
押し
ます



以前に設定したクルーズコントロール

1. 速度設定を下げるにはDOWNボタンを押します

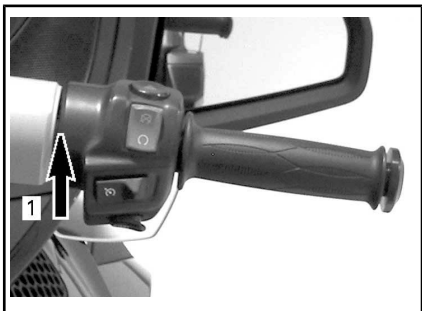
クルーズコントロールのキャンセル方法

次に示すいずれかの状態が発生すると、クルーズコントロールがキャンセルされます。

- ブレーキペダルが踏まれた場合
- ギヤチェンジ
- 車両スタビリティシステムの介入

クルーズコントロールの再開方法

クルーズコントロールがキャンセルされ、クルーズコントロールスイッチがまだONの位置に入っている場合、クルーズコントロールボタンを上を押すことでクルーズコントロールの操作を再開させることができます。クルーズコントロールは以前にセットされた速度まで復元します。



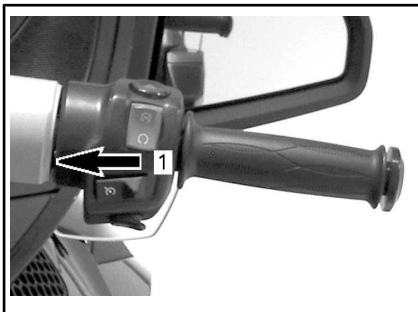
以前にキャンセルしたクルーズコントロール

1. 再開させるにはUPボタンを押します

注：デジタル表示では、クルーズコントロール状態は「CRUISE SET」（クルーズSET）と表示されます。

クルーズコントロールの解除方法

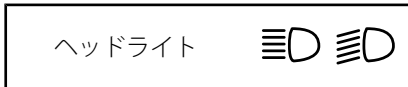
クルーズコントロール操作を完全に停止させるには、クルーズコントロールボタンを左にスライドさせます。



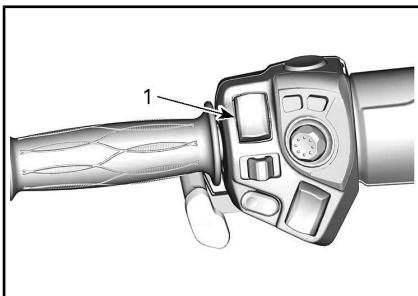
1. ボタンをOFFにスライドさせる

注：デジタル表示では、「CRUISE ON」（クルーズON）の表示が消えます。

6)ヘッドライトスイッチ



スイッチは左ハンドグリップの側にあります。



代表例

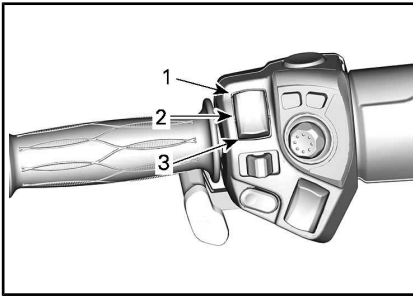
1. ヘッドライトスイッチ

スイッチはハイまたはロービームのヘッドライトの選択に使用します。ヘッドライトはエンジンが800 RPMに達した時に自動的にONになり、エン

ジンの停止から約20秒後に自動的にOFFになります。

ハイビームを選択するには、スイッチをフロント位置まで押します。ロービームを選択するには、スイッチをバック位置まで押します。

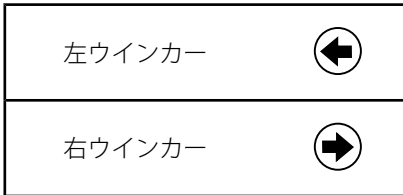
ハイビームをフラッシュさせるには、スイッチを低位置まで押してリリースします。ハイビームはスイッチを押し続けている限りONになり続けます。



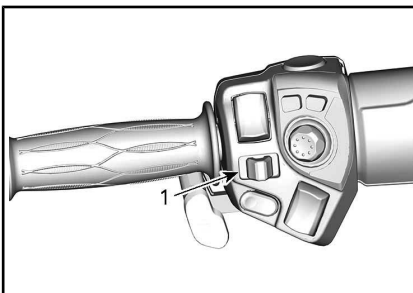
代表例

1. ハイビーム
2. ロービーム
3. バッシング

7)ウインカーボタン



ウインカーボタンは左ハンドグリップの側にあります。



代表例

1. 方向指示灯ボタン

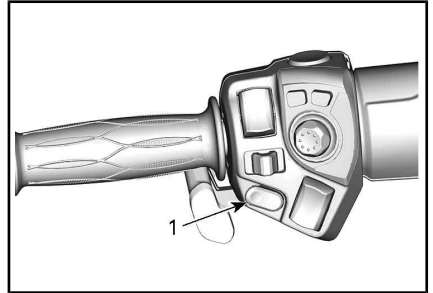
ウインカーは曲がった後は通常自動的にOFFになりますが、浅い曲がりや車線変更の後に手動でOFFにする必要がある場合があります。

方向指示灯をOFFにするには、ボタンを中に押し入れます。

車両の走行中、方向指示灯は30秒後に自動的にOFFになります。

8)クラクションボタン

クラクションボタンは左ハンドグリップの側にあります。

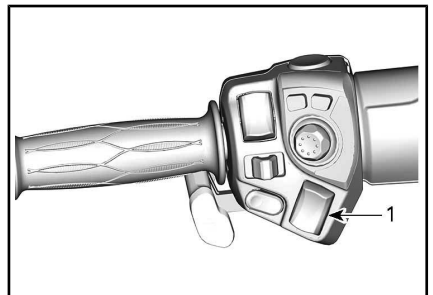


代表例

1. クラクションボタン

9)ウィンドシールド調整ボタン

ウィンドシールド調整ボタンは左ハンドグリップの側にあります。



代表例

1. ウィンドシールド調整ボタン

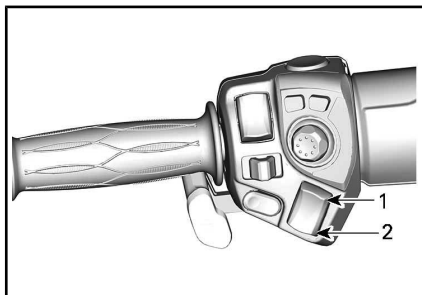
このボタンではウィンドシールドをお望みの高さまで上げ下げできます。

⚠️注意 ウィンドシールドの高さを調整する前に、ウィンドシールド付近に物や誰かの手がないか確認します。車両を損傷させたり、怪我を引き起こしかねません。

注：ウィンドシールドを調整するにはエンジンがONになっている必要があります。

ウィンドシールドを上げるには、ボタン(+サイン)を押します。お望みの高さに達した時点でボタンをリリースします。

ウィンドシールドを下げるには、ボタン(-サイン)を押します。お望みの高さに達した時点でボタンをリリースします。

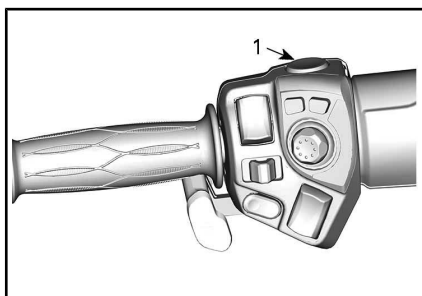


代表例

1. ウィンドシールドを上げる場合
2. ウィンドシールドを下げる場合

10)リバースボタン

リバースボタンは左ハンドルハウジングの上にあります。



代表例

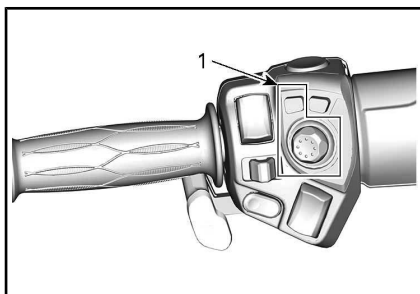
1. リバースボタン

リバースにシフトするためにリバースボタンを押し続けます。詳細は、基本的な手順のサブセクションのリバース操作を参照してください。

バックランプは車両後進時に点灯します。

11)ECC (エレクトロニック コマンドセンター)

ECCは左ハンドグリップ付近にあります。

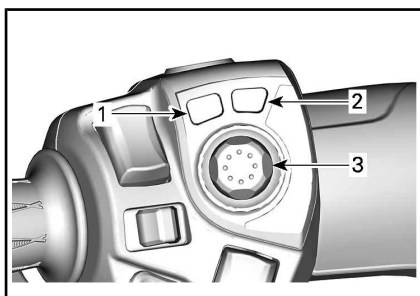


代表例

1. ECC

ECCは、多機能ゲージのさまざまな機能のコントロールを可能にする多機能スイッチです。

注：ECCへの入力は、車両電子モジュールが車両の主な機能を優先させるため、短時間だけ保留される場合があります。これは異常ではありません。



ECCおよびパーキングブレーキボタン

1. **MODEボタン**：ECOモードを起動または解除します
2. **パーキングブレーキボタン**：パーキングブレーキをかけるまたは解除します
3. **ジョイスティックボタン**：メニュー内を上/下/左/右に移動するために使用します。
軽く押し放す：機能を実行します。

警告

運転中にECCを使用すると、走行中に運転手の注意をそらしかねません。ボタンは常に注意して使用し、道路に常に目を向けてください。

オーディオコントロール

ラジオをオンにするには、ジョイスティックを押し上げます。ラジオを閉じるには、音量が最も小さい設定にしてジョイスティックを押し下げます。

ホーム画面のときにジョイスティックを押し上げるまたは下げると、オーディオの音量が上下します。

注：

オーディオの自動音量レベルコントロールを可能にするには、以下へ進みます：

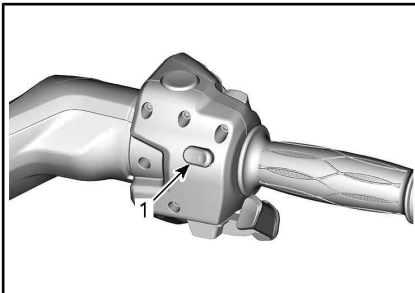
- オーディオ
- 構成
- 自動音量調節

音量をミュートにするには、ジョイスティックを1秒以上押したままにします。

ミュート状態でUPボタンを押すと、オーディオの音量を直近の設定に戻します。

12) BRP Connectボタン

BRP Connectボタンはクラッチレバーに向いている左ハンドルハウジングに位置しています。



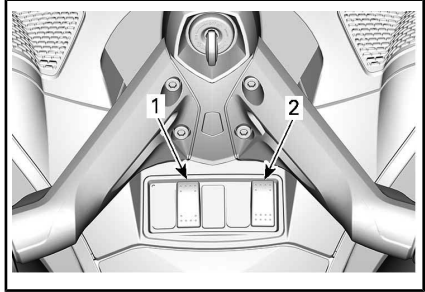
1. PTTボタン

BRP ConnectボタンはBRP Connectへのクイックアクセスのために使用されます。クリックする毎に、多機能ケーシングのアプリ表示と機能表示の間で切り替わります。

13) スイッチクラスター

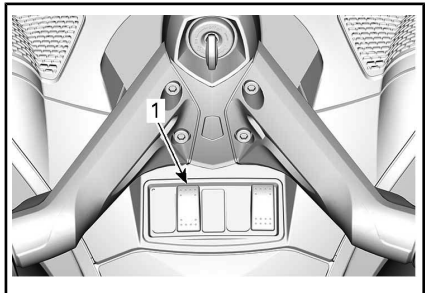
スイッチクラスターはグローブボックスの上にあります。様々な電気用品にコントロールを与えます。

注：スイッチクラスターは、エンジンが作動してバッテリー電圧が11Vdc以上のあるときにだけ操作可能です。



1. 運転手のヒーテッドグリップスイッチ
2. フォグライトスイッチ (オプションのパッケージ)

運転手のヒーテッドグリップスイッチ



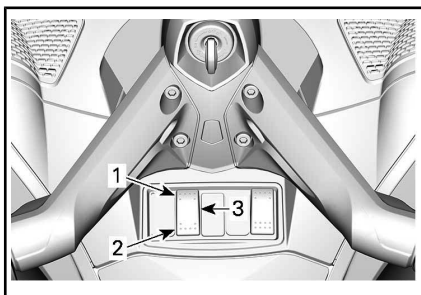
1. グリップヒータースイッチ

ヒーテッドグリップスイッチはヒーテッドグリップをONおよびOFFにしたり、加熱温度を制御するために使用します。

最小熱を設定するには、スイッチのLO強度側を押します。

最大熱を設定するには、スイッチのHI強度側を押します。

OFFを選択するには、スイッチを中央にセットします。

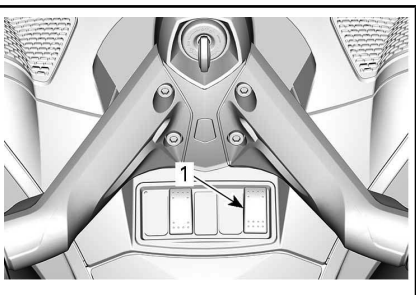


1. HI強度
2. LO強度
3. OFF (中央位置)

注：ヒートドグリップはイグニッションキーがOFFの場合、自動的にOFFになります。

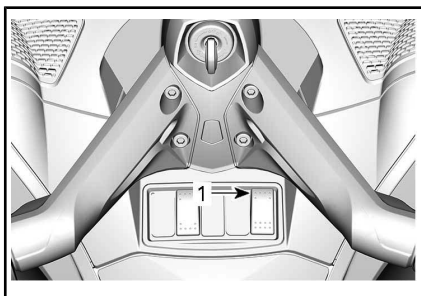
フォグライトスイッチ (オプションのパッケージ)

欧州、日本、およびオーストラリア向け以外の全モデル



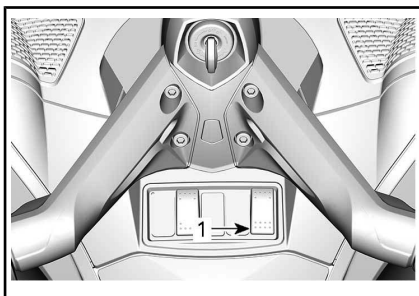
1. フォグライトスイッチ

フォグライトをONにするには、スイッチアイコンを押します。



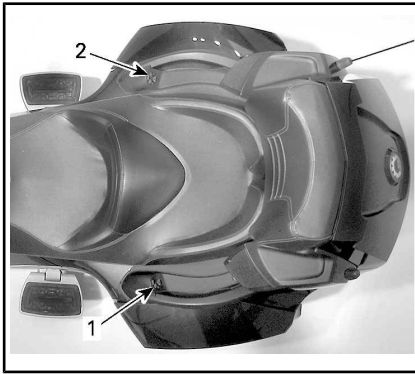
1. ここを押してONにさせます

フォグライトをOFFにするには、スイッチを反対のアイコン側まで押しします。



1. ここを押してOFFにさせます

同乗者用コントロール



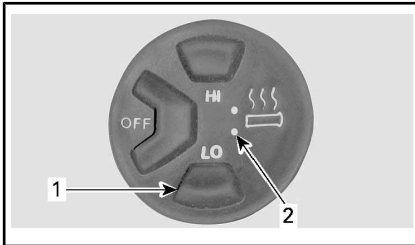
1. 同乗者用ヒートッドグリップスイッチ
2. 同乗者用オーディオコントロール (オプション)

同乗者用ヒートッドグリップスイッチ

ヒートッドグリップスイッチは左パッセンジャグリップ付近にあります。

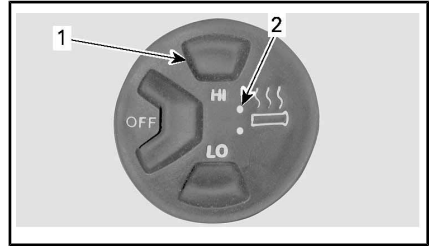
ヒートッドグリップスイッチはヒートッドグリップをONおよびOFFにしたり、加熱温度を制御するために使用します。

低温を設定するには、スイッチのLOボタンを押します。



1. LOボタン
2. LOインジケーター

高温を設定するには、スイッチのHIボタンを押します。



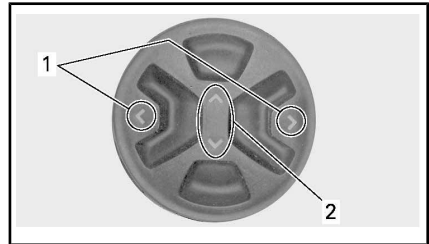
1. HIボタン (両方のライトが点灯)
2. HIインジケーター

OFFを選択するには、OFFボタンを押します。

注：ヒートッドグリップはエンジンが800RPM以下になると自動停止され、自動的に再起動しません。

同乗者用オーディオコントロール

オーディオコントロールは右パッセンジャグリップ付近にあります。



1. 左/右ボタン
2. UP/DOWNボタン

同乗者用オーディオコントロールは、上下左右に動くフロントジョイスティックと同じように機能します。このコントロールにより、クラスターがオーディオ画面になっているときに音量、曲/チャンネルを変更することができます。

ラジオ事前設定ステーションまたは iPod モバイルデジタルデバイスの曲は LEFT/RIGHT ボタンで変更できます。

オーディオ機能の詳細については、オーディオコントロールをご参照ください。

 **警告**

多機能ゲージを見ていて気が取られると、車両の運転時に気が散り、周囲を見回すことができなくなる可能性があります。常に道路状況に注意を払い、進路が開けており、障害物がないことを確認してください。さらに、運転時、道路状況の確認を維持するために、多機能ゲージに目をやることは一瞬のみにしてください。

大型パノラマ7.8インチワイドLCDディスプレイ

基本機能

LCDディスプレイ

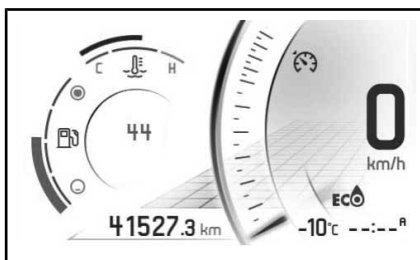
デフォルトの表示



多機能ディスプレイ



左側の表示



左側の表示には以下のものが含まれます：

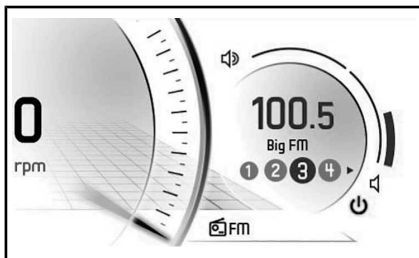
- 燃料レベルインジケータ
- スピードメーター
- トリップメーター
- クルーズコントロール
- ギヤインジケータ
- 時計
- エンジン温度
- 走行モード
- 警告のポップアップ
- 走行可能距離

トリップメーターに表示される値を選択するには、

1. 統計情報/トリップ画面にアクセスします。

2. 表示したい統計情報（合計、A、B）を選択します。
3. **ジョイスティックを上**にすると、選択された統計情報の距離の値が設定されたままで、左の表示部に示される値が変わります。

右側の表示



右側の表示には以下のものが含まれます：

- タコメーター
- 音量
- オーディオ出力インジケータ
- ラジオ局プリセット
- メニュー
 - BRP Connect
 - 電話
 - 統計
 - オーディオ
 - 設定

デジタル表示のナビゲーション



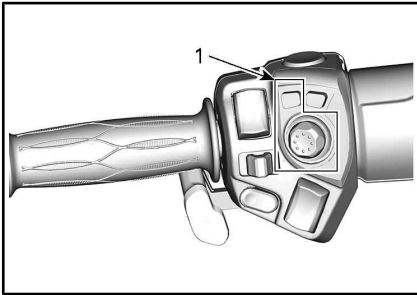
警告

多機能ゲージを見ていて気が取られると、車両の運転時に気が散り、周囲を見回すことができなくなる可能性があります。常に道路状況に注意を払い、進路が開けており、障害物がないことを確認してください。さらに、運転時、道路状況の確認を維持するために、多機能ゲージに目をやることは一瞬のみにしてください。

多機能ゲージにはアナログ式ゲージ（スピードメーターおよびタコメーター）、インジケータランプおよびデジタルスクリーン付きのインフォテインメントセンターが搭載されています。

ドライブする前にインフォテインメントセンターの様々な機能を扱って練習することが推奨されます。徐々に慣れてきて、走行中でも簡単に使用ができるようになります。

表示機能をコントロールするにはECC（エレクトロニックコマンドセンター）を使用します。二次コントロールのECC（エレクトロニックコマンドセンター）を参照してください。

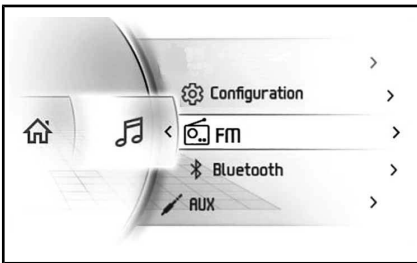


1. ECC

ジョイスティック（センターボタン）を押すと、右側スクリーンにメニュー選択が以下の順序で現れます：

- BRP Connect
- 電話
- 統計
- オーディオ
- 設定

アイコンが選択されると、その関連スクリーンが現れます。



項目が選択されると、現在値をその項目に設定します。


インジケータランプ

警告および表示ライト



警告および表示ライト	
	赤色-エンジン温度が高過ぎる。
	赤色-バッテリーレベルが低い。
	赤色-低オイルプレッシャー
	オレンジ色-低燃料レベル。
	オレンジ色-エンジンの点検
	オレンジ色-車両機能異常
	オレンジ色-ABS
	赤色-（点灯）ブレーキオイル低下
	赤色-（点滅）パーキングブレーキがかかっている、またはブレーキシステムの不具合。
	青色-ハイビーム
	緑色-ニュートラル
	緑色-フラッシャー

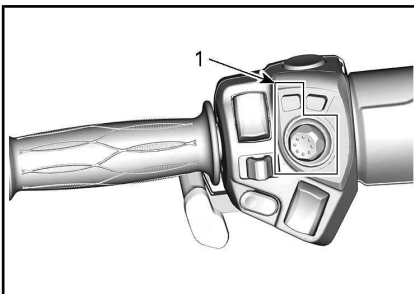
アイコンおよびインジケーター

警告および表示ライト	
	スマートフォンネットワーク接続
	Bluetoothデバイス
	スマートフォンバッテリーレベルインジケーター
	ヘルメットペアリングインジケーター
	燃料インジケーター
	温度インジケーター
	クルーズコントロールインジケーター
	スピーカーオーディオ出力
	ヘルメットオーディオ出力

設定

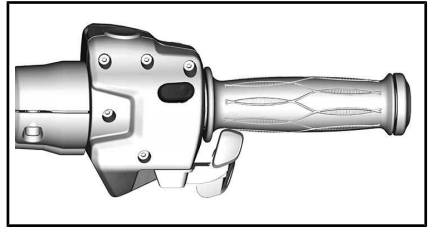
メニュースイッチ

ECCを使用して多機能ゲージのさまざまな機能をコントロールします。



1. ECC

BRP ConnectボタンはBRP Connectへのクイックアクセスのために使用します。クリックする毎に、多機能ゲージのアプリ表示と機能表示の間で切り替わります。



メニュー

BRP Connect



BRP Connectを使用するには、アプリをスマートフォンにダウンロードする必要があります。アプリはApple App StoreまたはGoogle Play Storeで検索してダウンロードできます。一部、対応していないスマートフォンもあります。

注：詳細情報については、Can-Am On-Roadのウェブサイト

(www.brpconnecttutorial.com) を参照してください。

注：スマートフォンをBluetooth経由で、**または**USBケーブルとフロントストレージコンパートメントにあるUSBポートを利用して接続します。

電話のペアリングを解除すると、クラスターからユーザーの個人情報が削除されます。

ユーザーは、スマートフォンを接続したときに個人情報（連絡先リストや通話履歴）がクラスターに転送されることに同意する必要があります。

連絡先リストや通話履歴は、クラスターに保存されたままになります。これらの情報を削除するには、スマートフォンのペアリングを解除するか、別の電話を使用して上書きする必要があります。

電話



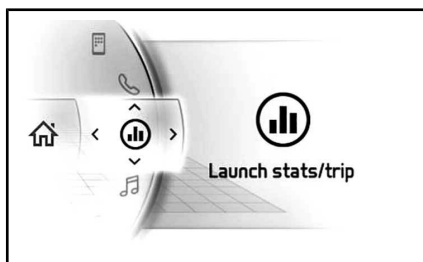
電話メニューから以下の機能にアクセスできます：

- 通話履歴
- 電話接続リスト

注：電話メニューにアクセスするには、電話とライダー用ヘルメットのペアリングを行う必要があります。

BLUETOOTHによるスマートフォンのペアリングを参照してください。

統計



統計メニューは以下を取得するために使用されます：

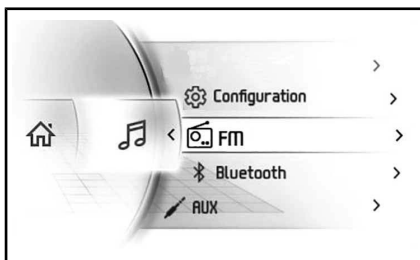
- 走行距離情報
- 走行経過時間情報
- 瞬間燃料消費
- 平均燃料消費
- 最大速度
- 平均速度

メモリには3セットの統計情報が維持されています。各統計情報のセットは別々にリセットすることができます。

ジョイスティックを**左**または**右**に動かすと、3セットの統計情報が切り替わります。

統計情報が表示されているときにジョイスティックを**下**に維持するとリセットされます。

オーディオ



オーディオメニューでできること：

- 以下の環境設定の調整：
 - 自動プリセット
 - 自動音量コントロール
 - イコライザー
 - フェード/バランス
 - オーディオ出力
- FM音源オーディオへのアクセス
- Bluetoothオーディオプレイヤーへのアクセス
- Auxオーディオプレイヤーへのアクセス

オーディオコントロール

注：ジョイスティックは、ホーム画面またはオーディオソース画面（FM、AUX、Bluetooth）になっているときに、オーディオコマンドを制御します。

ラジオをオンにするには、ジョイスティックを**押し上げます**。ラジオをオフにするには、音量が最も小さい設定（ミュート）にしてジョイスティックを**押し下げます**。

ジョイスティックを使用してオーディオの音量を操作します。音量を上げるにはジョイスティックを**押し上げます**。

オーディオをミュートにするには、ジョイスティックを1秒以上**押し下げたままにします**。ミュートのままで**押し上げると**、オーディオの音量が直近の設定に戻ります。

音声アナウンス（つまり、BRP Connectナビゲーションアプリの音声コマンド）には別の音量レベルが使用されます。音声アナウンスの間は、ボリュームバーが音声の音量を表示します。ボリュームバーは黄色になり、オーディオソース画面には**ANNOUNCEMENT**と表示されます。音声アナウンスの間は、音声の音量の調整が可能です。

FMオーディオソースが選択されているときにジョイスティックを左右に動かした場合の機能は次のとおりです。

- 軽く左に動かす：前のプリセット
- 長く左に動かす：下方向を探す
- 軽く右に動かす：次のプリセット
- 長く右に動かす：上方向を探す

Bluetoothオーディオソースが選択されているときに左右に動かした場合の機能は次のとおりです。

- 左：前の曲
- 右：次の曲

オーディオソースがAUXおよびBRP Connect (iPhoneのみ) のときは、ジョイスティックを左右に動かしても機能しません。

オーディオ構成

オーディオ構成メニューは次のとおりです。

- 自動FMプリセット
- 自動音量コントロール
- イコライザー
- フェード/バランス
- オーディオ出力

オーディオ出力選択は、希望のオーディオ出力（スピーカーまたはヘルメット）を選択するために使用します。

注：ヘルメットが選択されているときは、別の音量が用いられます。これにより、楽曲がヘルメットに送信されても、前に選択された音量が維持されます。

FMチューニングおよびプリセット画面にアクセスするには、**ジョイスティック**を1秒以上押したままにします。

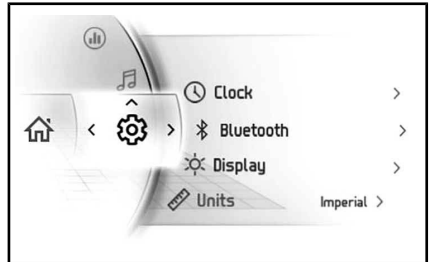
FMチューニングおよびプリセットFMチューニングおよびプリセット画面では、FM局を選択して希望のプリ

セット番号に保存することができます。

- FM局を選択して保存します。
- **ジョイスティック**を押して希望のプリセット番号を選択します。
- ジョイスティックを1秒以上**押し下げて**、選択したプリセット番号にFM局を保存します。

ジョイスティックを押して、FMチューニングおよびプリセット画面を終了します。

設定



設定メニューでできること：

- 時計の調整
- Bluetoothデバイスのペアリング
 - 電話
 - ドライバーヘッドセット
 - パッセンジャーヘッドセット
- ディスプレイ輝度の調整
- 単位の調整（英度量衡／メートル法）
- 言語設定
- バージョン確認
- 車両の故障コードの表示

Bluetoothによるスマートフォンとのペアリング

車両側での手順

1. **ジョイスティック**を軽く押してメニューにアクセスします。
2. 下にスクロールして「Settings」を選択し、**右**に押します。
3. 「Bluetooth」を選択して**右**に押します。
4. 「Phone」を選択して**右**に押します。
5. 「Add Phone」を選択して**右**に押します。

これでBluetoothが表示されるようになります。

スマートフォンでの手順

1. スマートフォンのBluetooth機能を有効にします。

詳しい手順については、スマートフォンのユーザーガイドをご参照ください。

2. 「BRP Connect」を選択します。
3. スマートフォンと車両のゲージの画面に確認番号が表示されます。これらの番号が一致していることを確認してください。
4. スマートフォン上で「Pair」を押し、車両のゲージ上で緑のチェックマークを選択します。
5. スマートフォンで連絡先とお気に入り同期を許可します。

ヘルメットのペアリング

ヘルメットとのペアリングを行うには、「Settings」ページに進み「Add helmet」を選択します。

BRP Connectアプリ

スマートフォンでのBRP Connectの設定手順に従います。

1) BRP Connectスマートフォンアプリをダウンロードする

Apple™ orの場合はApp Storeから、Androidの場合はGoogle™ Play Storeから、BRP Connectアプリをダウンロードします。

注：アプリをダウンロードするには、Apple™ iTunes™またはGoogle™ Play Storeのアカウントがなければなりません。

2) BRP Connectに対応するアプリをダウンロードする

当社のウェブサイト

(www.brpconnecttutorial.com)にアクセスして、対応するアプリを確認してください。これらのアプリを使用することで、より素晴らしいライディング体験が実現します。アプリによっては、システムと連動するために別の製品を購入したり、補助装置を使用したりしなければならない場合があります。

3) お使いの充電/データ転送ケーブルを使用してスマートフォンを接続する

スマートフォンと車両間の転送を最適化するために、スマートフォンメーカーの純正充電ケーブルの使用を推奨します。ケーブルは前面のUSBポートに接続します。

1. スマートフォン画面のロックを解除します。
2. スマートフォンの充電ケーブルを接続します。
3. 接続されると、スマートフォンの画面にチェックマークが表示されます。

4) アプリにアクセスする

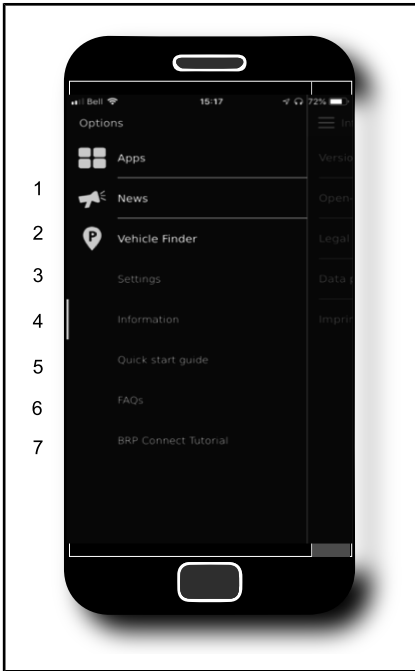
ジョイスティックを軽く押してメニューにアクセスします。

ジョイスティックを上を押して「Launch BRP Connect」を選択し、ジョイスティックを右に押します。

使用するアプリを選択し、**ジョイスティック**を押します。

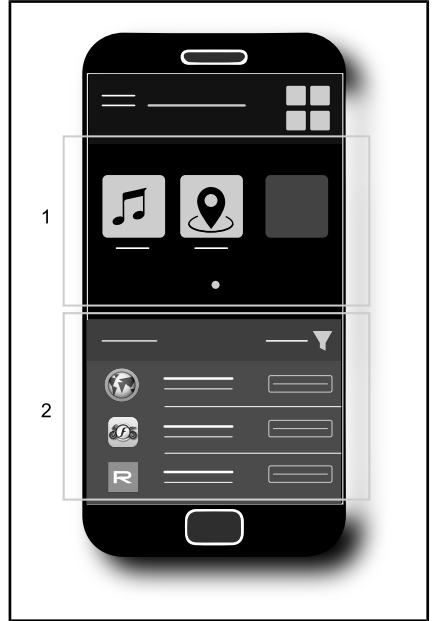
- アプリを終了するには**ジョイスティック**を長押しします。
- メインメニューに戻るには、BRP Connectボタンを押します。

BRP Connectアプリのクイックツアー



- 1) ニュース：時折BRP Connectアプリからの通信が行われることがあり、このメニューで確認することができます。
- 2) 位置情報：所有車両の位置情報（または記憶しておきたいその他の位置情報）の保存を可能にするものです。これは比較的充実した機能であり、車両を降りた場所の写真の撮影、メモ（多くある駐車場など）、保存した位置までのナビゲーションなどの機能があります。1回に保存できる場所は1つのみです。
- 3) 設定：BRP Connectの個人設定を行います。BRP Connectアプリをどこの国で使用するかや、自分が活用したい情報などを設定できます。注記：BRP Connectのアプリの変更に関する基本設定は、このメニューから変更します。
- 4) 情報：BRP Connectアプリに関する一般情報です。ステータスや現在のバージョン、すべての法的情報を見ることができます。

- 5) クイックスタートガイド：このアプリの使い方を知りたいときは、ここで確認できます。
- 6) よくある質問：このリンクは、ライダーからのよくある質問に対する答えにアクセスします。インターネット接続が必要です。
- 7) BRP接続ガイド：もっと知りたいことがあるときは、このリンクから詳細説明ビデオにアクセスします。インターネット接続が必要です。



- 1) 現在インストールされているアプリ
- 2) 利用できるアプリ

装備類

ミラー

ミラーの調整

ミラーの位置を四つの方向において調整するには、以下に表示されているミラーの箇所を押します。



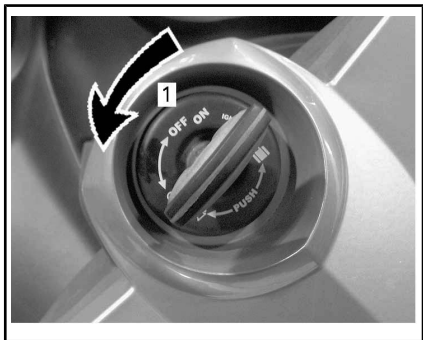
ミラー調整箇所

グローブボックス

ハンドルおよびグローブボックスのロック

ステアリング機構およびグローブボックスをロックするには：

1. キーをイグニッションスイッチに挿入します。
2. ハンドルを右または左に完全に回転させます。
3. キーを左に1/4回回してステアリングロックの位置までもっていき、キーを取り外します。



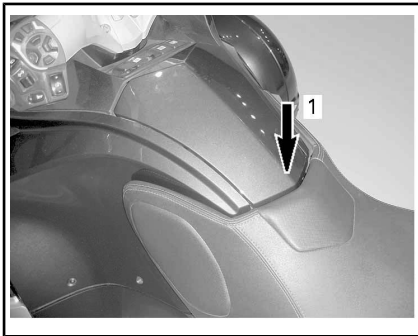
ハンドルをロックするためのキーの位置

1. キーを1/4回回す

グローブボックスの開き方

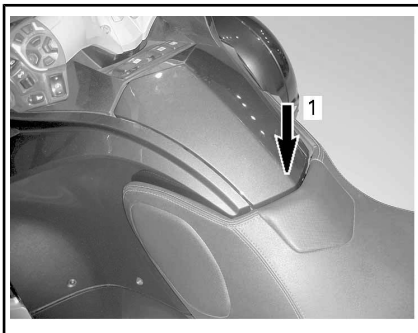
まず、グローブボックスを開けるためにステアリングがロックされていないことを確認します。

グローブボックスの下端を押してリリースします。



1. ここを押してリリースするカバーを開く。

次にカバーを閉めてグローブボックスの下端を押して掛け金をかけます。



1. 掛け金をかけるにはここを押します。使用後は必ずグローブボックスをロックしてください。

注：ステアリングをロックするとグローブボックスは自動的にロックされます。

フロントストレージコンパートメント

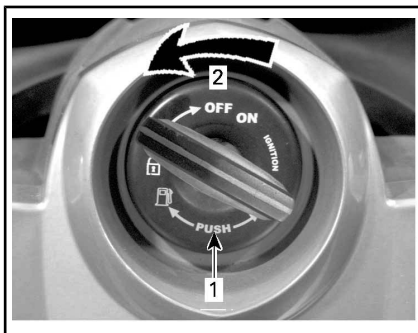
フロントストレージコンパートメントの開け方

1. キーをイグニッションスイッチに挿入します。
2. キーを**押し**て左に1/4回回してフロントストレージコンパートメントの位置までもっていき、その位置を維持しながらカバーを持ち上げます。



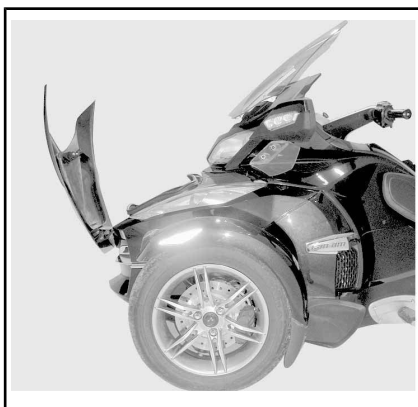
1. 背もたれアクセスカバー

注：背もたれが取り付けられていない場合、アクセスカバーの五つのタブが適切に位置付けられていることを確認します。



フロントストレージコンパートメントを開けるキーの位置

1. キーを押し
2. キーを1/4回回す



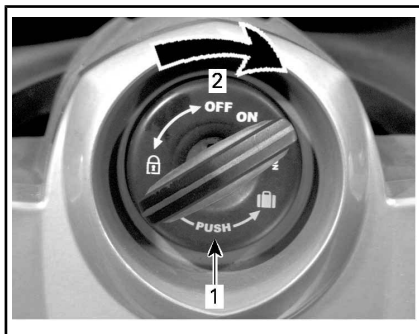
開かれた状態

シート

ドライバー席には、ドライバー席の背もたれ（オプション）を取り付けるための部品が搭載されています。

シートの開け方

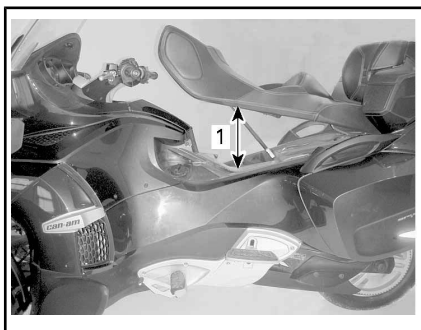
1. キーをイグニッションスイッチに挿入します。
2. キーを押し**て**右に1/4回回してシートオープン位置までもっていき、その位置を維持しながらシートを持ち上げます。



シートを開くためのキーの位置

1. キーを押し
2. キーを1/4回回す

注記 壊れる可能性があるため、シートを最大開度以上開けようとしないでください。

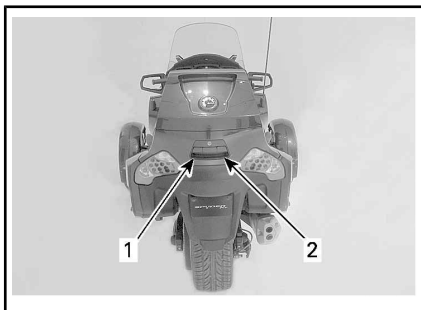


1. シートの最大開度

ストレージコンパートメント

サイドストレージコンパートメントの開き方

サイドストレージコンパートメントのラッチは車両の後部にあります。



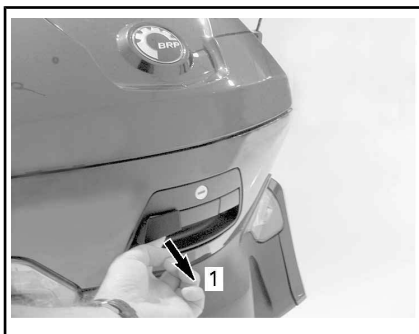
1. 左サイドストレージコンパートメントのラッチ
2. 右サイドストレージコンパートメントのラッチ

ロックされている場合、イグニッションキーを左に回してすべてのラッチを同時にアンロックします。



1. 左に回して開錠します

左サイドストレージコンパートメントのカバーを開けるには、左サイドラッチを引っ張り、右サイドカバーを開けるには右サイドラッチを引っ張ります。



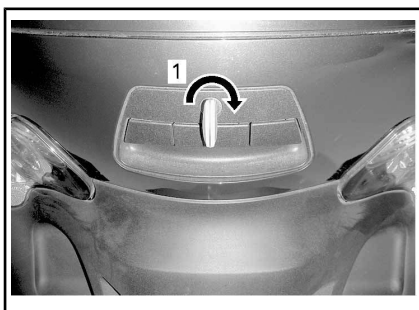
1. 左カバーの開け方

選んだストレージコンパートメントカバーが開かれます。

注：運転中に所有物などが動き回った可能性を考慮してください。カバーを開ける際に所有物を落さないように気をつけます。

使用後は必ずカバーがロックされているか確認してください。

使用後、必要に応じてロックをかけてください。キーを右に回します。



1. 右に回してロックします

注記 いかなるカバーが開いたまま車両を絶対に運転しないでください。

サイドストレージコンパートメントの閉め方

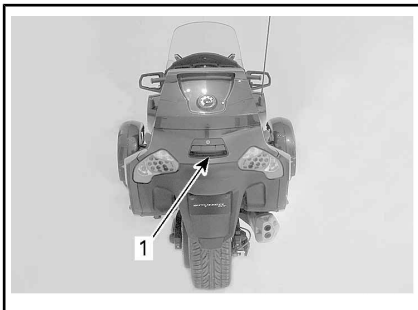
空気を逃がすためにサイドストレージコンパートメントカバーをゆっくり開けます。

カバーを閉鎖位置に持って行きます。

手をカバーの中央におき、押し込むとロックできます。

上部ストレージコンパートメントの開け方

上部ストレージコンパートメントのラッチは車両の後部にあります。



1. 上部ストレージコンパートメントのラッチ (掛け金)

ロックされている場合、イグニッションキーを左に回してすべてのラッチを同時にアンロックします。



1. 左に回して開錠します
ラッチを引っ張ります。

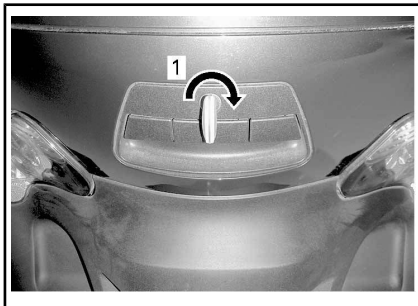


1. 上部カバーの開け方

ストレージコンパートメントカバーを開けます。

使用後は必ずカバーがロックされているか確認してください。

使用後、必要に応じてロックをかけてください。キーを右に回します。



1. 右に回してロックします

注記 カバーが開いたまま車両を絶対に運転しないでください。

上部ストレージコンパートメントの閉め方

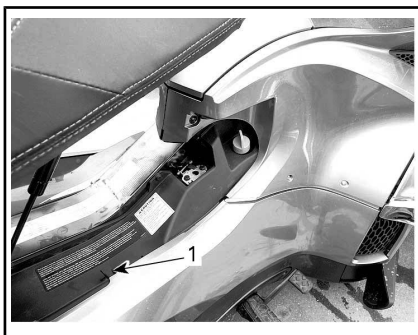
カバーを閉鎖位置に持って行きます。手をカバーの中央におき、押し込むとロックできます。

ヘルメット

ヘルメットの固定の仕方

ヘルメットを固定するためにシート下に二つのヘルメットフックがあります。

シートを開きます。



1. 右ヘルメットフック

ヘルメットのストラップバックルをフックに固定します。

ヘルメットを車両のサイドパネルにゆっくり置きます。

慎重にシートおよびラッチを閉じます。

車載工具

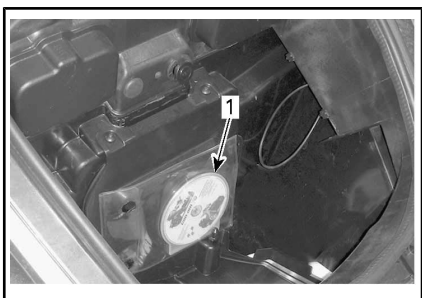
車載工具の位置

ツールキットは上部ストレージコンパートメントにあります。

車載工具には、本オペレーターズガイドに記載されている基本メンテナンスに必要な工具が含まれています。

オペレーターズガイド

オペレーターズガイドはフロントストレージコンパートメント内にあります。

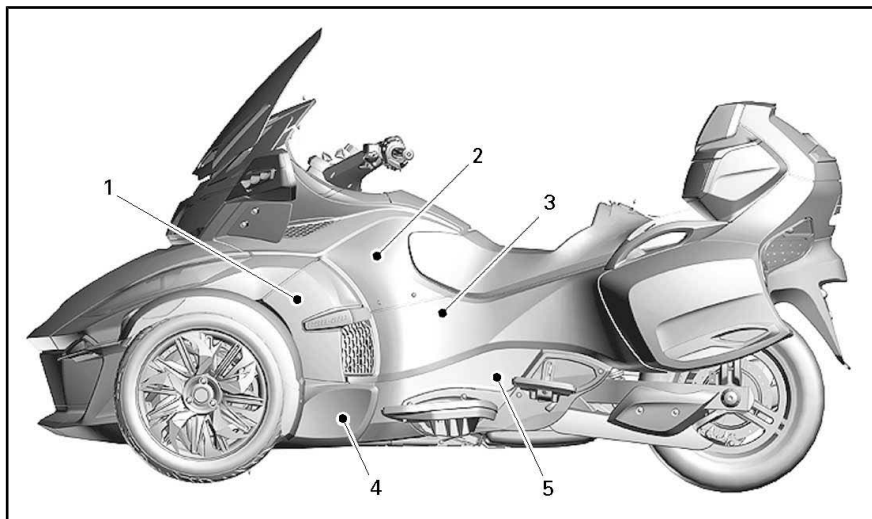


代表例

1. オペレーターズガイド

ボディパネル

メンテナンスのために車両のボディパネルを取り外すことができます。

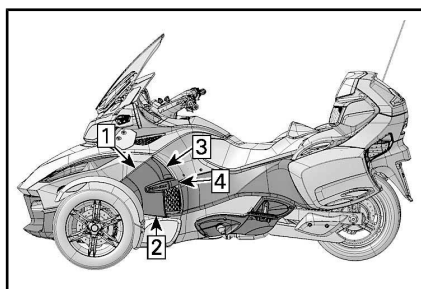


左サイドパネル

1. サイドパネル
2. 上部サイドパネル
3. リアサイドパネル
4. 下部フロントサイドパネル
5. 下部リアサイドパネル

サイドパネル

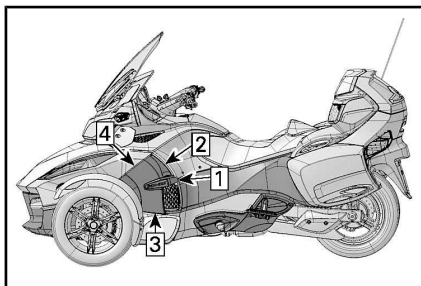
取り外し



取り外し手順

1. パネル上部の前部をグロメットから引き外します。
2. パネル底部の前部をグロメットから引き外します。
3. パネル上部の後部を外します。
4. パネルの後部をグロメットから引き外します。

取り付け



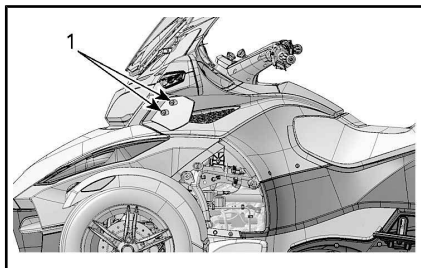
取り付け手順

取り外し順序の逆の順序でサイドパネルを再度取り付けます。

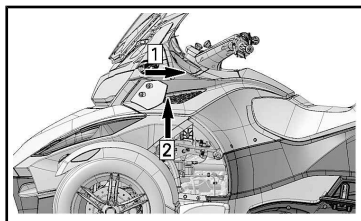
上部サイドパネル

取り外し

1. シートを開きます。
2. フロント収納ボックスを開きます。
3. サイドパネルを取り外します。
4. 下部ウィンドディフレクターから留めネジを外します。

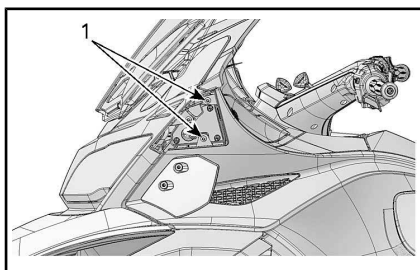


1. ウィンドディフレクターの留めネジ
5. ミラーを取り外す:
 - 5.1 車両の後部方向に目掛けてミラーの前面上部をしっかりと押しします。
 - 5.2 ミラーの最外部をしっかりと押し上げます。

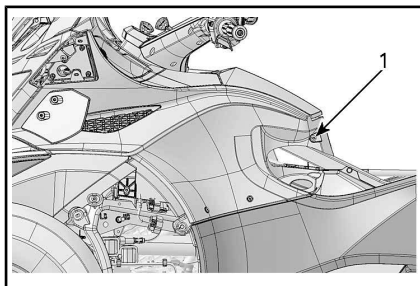


手鏡部方向に目掛けて押し
手横り上げる

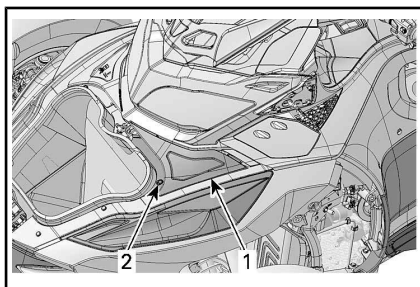
6. 上部サイドパネルから上部留めネジを外します。



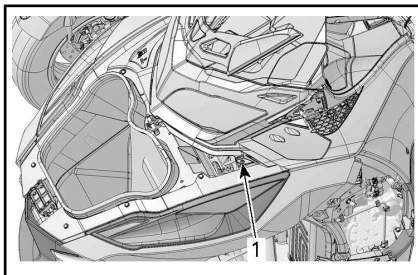
1. 上部留めネジ
7. 上部サイドパネルから後部留めネジを外します。



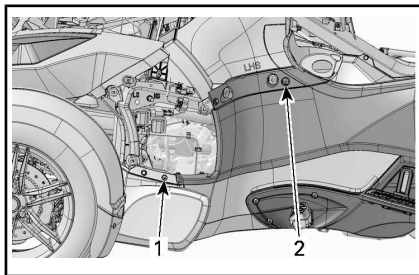
1. 後部留めネジ
8. プラスチック製リベットを取り外して左サービスカバーを取り外します。



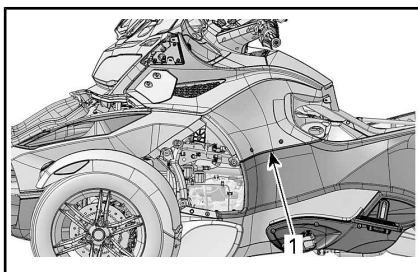
1. 左サービスカバー
2. プラスチックリベット
9. 上部サイドパネルからフロント留めネジを外します。



1. フロント留めネジ
10. 上部パネルの下部の留めネジを取り外します。
11. 上部サイドパネルを持ち上げて取り外します。



1. フロント留めネジ
2. 上部留めねじ
5. リアサイドパネルからフロントプラスチックリベットを取り外します。



1. 上部サイドパネル

注：上部サイドパネルには、取り外すことができない二つのビジュアル用ネジがあります。

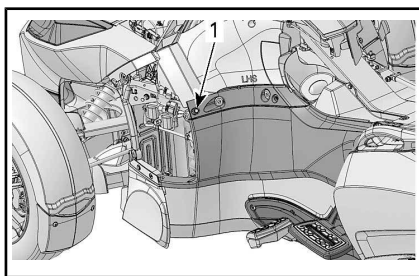
取り付け

取り外しの逆の順序で上部サイドパネルを再度取り付けます。

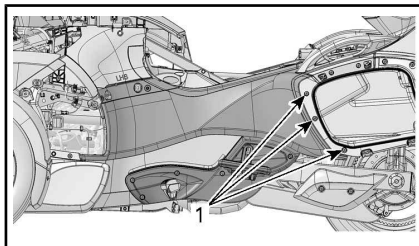
リアサイドパネル

取り外し

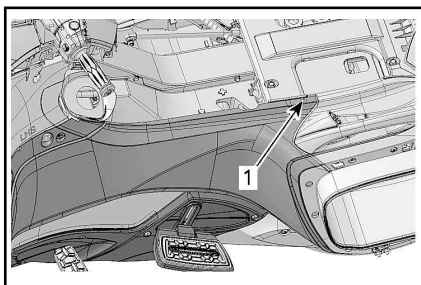
1. サイドパネルを取り外します。
2. 上部サイドパネルを取り外します。
3. リアサイドパネルからフロント留めネジを外します。
4. リアサイドパネルから上部留めネジおよびワッシャを取り外します。



1. フロントプラスチックリベット
6. サイドストレージコンパートメントカバーを開けます。
7. 後部サイドパネルから後部留めネジを外します。



1. リア取り付けスクリュー
8. リアサイドパネルから上部留めネジを外します。



1. 上部留めネジ
9. 車両からリアサイドパネルを取り外します。

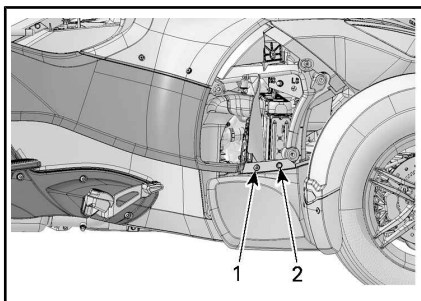
取り付け

取り外しの逆の順序でリアサイドパネルを再度取り付けます。

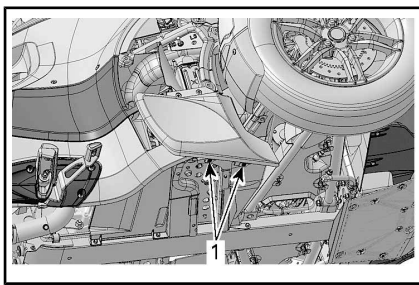
下部フロントサイドパネル

取り外し

1. サイドパネルを取り外します。
2. パネルから上部留めネジを外します。
3. パネルから上部プラスチックリベットを外します。



1. 上部留めねじ
2. 上部プラスチックリベット
4. 2つの底部プラスチックリベットをパネルから取り外します。



1. プラスチックリベット
5. 車両から下部フロントサイドパネルを取り外します。

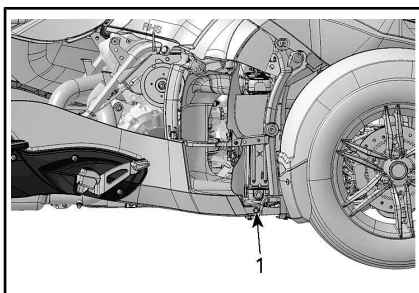
取り付け

取り外しの逆の順序で下部フロントサイドパネルを再度取り付けます。

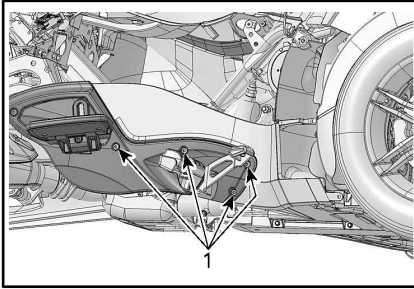
下部リアサイドパネル

右下リアサイドパネルの取り外し方

1. 中央サイドパネルを取り外します。
2. 上部サイドパネルを取り外します。
3. 右サイドパネルを取り外します。
4. 下部フロントサイドパネルを取り外します。
5. 右下リアサイドパネルから留めボルトおよびナットを外します。



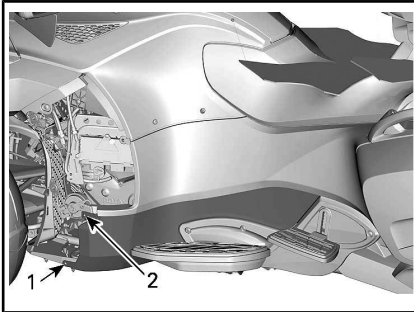
1. フロント留めナット
6. 右下リアサイドパネルから留めネジを外します。



1. 固定ねじ
7. 車両から右下リアサイドパネルを取り外します。

左下リアサイドパネルの取り外し方

1. 中央サイドパネルを取り外します。
2. 上部サイドパネルを取り外します。
3. 左サイドパネルを取り外します。
4. 下部フロントサイドパネルを取り外します。
5. 左下リアサイドパネルから下部の留めネジを外します。



1. 下部の留めネジ
2. 上部留めねじ
6. 上部留めネジを緩めます。

注：上部留めネジは下部パネルにつながったままにしておきます。

7. 下部リアサイドパネルブラケットから解除するために、パネルを前方に引っ張って車両から取り外します。

注：パネルの後部はブラケットおよびアルミ製サポートの間に挿入されず。

取り付け

取り外しの逆の順序で下部リアサイドパネルを再度取り付けます。

基本手順

同乗者用フットレストの調整の仕方

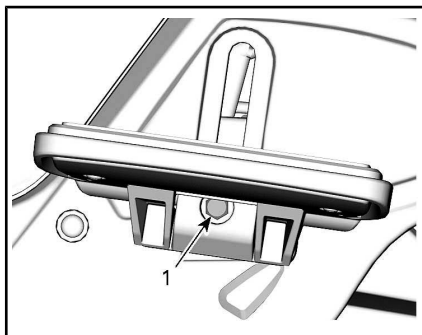
同乗者の快適さを保つために、フットレストの高さを調整することができます。

フットレストを上を持ち上げます。

ネジを緩めるためにレンチ（車載工具）で留めネジを左に回します。

注：フットレストを調整するために留めネジを完全に外さない。フットレストがスロットから外れるまでネジを緩めます。

お望みの高さにフットレストを調整します。



1. 留めねじ

次に、留めネジを時計回りに締め付けます。

フットレストを下に戻します。

エンジンの始動および停止

エンジンの始動



警告

排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充滿する有毒な一酸化炭素が含まれています。もし吸い込むと、重傷または死を招きかねません。

密封されていない場所、または換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。一般的な注意のセクションを参照してください。

注：RTモデルはブレーキペダルを踏んだままのギヤからでも始動可能です。

す。トランスミッションはエンジンが始動された時に自動的にニュートラルにシフトします。

1. ブレーキペダルを踏み込んだままにします。

2. キーをONに回します。

注記 電気システムが初期化されている際はスロットルをあげないこと。

3. ドライバー自身、同乗者および車両の準備を整えるために安全カードをよく読み、MODEボタンを押してエンジンの始動準備をします。

4. エンジンストップスイッチをRUN/ONの位置にセットします。

5. エンジンが始動するまでエンジンスタートボタンを押し続けます。スタートボタンは15秒以上押し続けしないでください。始動しない場合、スターターをクールダウンさせるために30秒待つてから再度お試しください。

注記 エンジンの始動中にスロットルをあげないこと。

6. 問題がないか表示を確認し、オイルライトが消えているか確認します。

7. パーキングブレーキをかけます。多機能ゲージのブレーキインジケータランプが消えていることを確認します。

エンジンの停止方法

1. ニュートラルにシフトします。

2. エンジンストップスイッチをOFFにします。

3. パーキングブレーキをかけます。ブレーキインジケータランプが点滅します。

4. キーをOFFになるまで回します。

注：キーがOFFの状態ではパーキングブレーキがかかっていない場合、パーキングブレーキインジケータランプが点滅し、ブザーがなります。

5. 鍵を抜く前に、パーキングブレーキが完全に作動していることを確認します。車両を前後に揺すります。

警告

必ずパーキングブレーキをかけます。車両はどのギヤに入っているかに関係なく、パーキングブレーキがかかっていないと勝手に動くことがあります。停車状態ではクラッチは必ず解除されているので、トランスミッションだけでは車両の位置をそのまま固定することはできません。

この車両にはETC (Electronic Throttle Control: 電子スロットル制御) が搭載されています。

車両を手動で押す方法

注：車両を押す前に、イグニッションキーがONの位置に入っているか確認します。

注意 斜面で車両を手動で動かすのは避けましょう。斜面で車両を手動で動かさなければならぬ場合、車両が転がり始めてしまったシナリオを想定してブレーキペダルの身近（車両の右側）で歩いてください。

エンジンを始動せずに車両を近い距離だけ動かす場合：

1. 車両に乗ったまま、ブレーキペダルを踏み続けます。
2. パーキングブレーキを外します。
3. 車両の右側に体を置き、片足をブレーキペダルに残しておきます。
4. 必要に応じてブレーキを使いながら車両を前に押します。

注意 ブレーキペダルがいつでも踏めるように、右側からしか押さないこと。熱いエキゾーストパイプには近づかないこと。車両を後方に引っ張る場合、前輪で足を踏いてしまわないように気を付けてください。

5. 車両の体勢を整え、上記のように停車させます。

後進走行

後進時の安全運転については、安全にご使用いただくためのセクションを参照してください。

ギヤを後進にする

1. エンジンが作動している状態で停車し、ブレーキを踏んだまま、1速ギヤまたはニュートラルにシフトします。
2. リバースボタンを押し続けます。
3. リバースにシフトダウンするためにギヤシフトセレクターを手前に引きます。

リバースでの運転

あなたの後ろのエリアに何も無いことを確認し、後ろを向いたままリバースします。低速で後進してください。後進で長距離を走らないでください。

リバースからシフトアウトする方法

リバースからシフトアウトするために、停車し、シフトアップセレクターを素早く押すとニュートラルにシフト、そしてより長く押すと1速ギヤにシフトします。

注：リバースから1速ギヤに入れるには、ブレーキを踏んでシフトアップします。

慣らし運転中の運転

車両には、1,000 km の慣らし期間が必要です。

最初の 300 km の間は、急ブレーキをかけないでください。

警告

新しいブレーキおよびタイヤは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキ、ステアリングおよびVSSの効率が低減される場合があるため、注意を十分に払ってください。ブレーキとタイヤをならすには、約 300 km 走行してブレーキやステアリング操作を頻繁に行う必要があります。ブレーキやステアリング操作をあまり行わなかった場合は、ブレーキとタイヤをならすためにさらに時間を掛けてください。

最初の 1,000 km :

- スロットル全開での加速は避けてください。
- 一定回転数での長時間走行は避けてください。
- のろのろ運転の際に冷却ファンが常に作動している場合、路肩に寄せてエンジンをシャットオフしてエンジンをクールダウンさせるか、速度を上げて風でエンジンをクールオフさせてください。

慣らし運転期間が過ぎた後は、メンテナンススケジュールのサブセクションのとおり点検を行ってください。

燃料

燃料に関する要件

注記 必ず新しいガソリンを使用してください。ガソリンは酸化します。酸化すると、オクタン、揮発性化合物の喪失、およびガム質やワニスの蓄積が起こり、燃料システムを損傷することがあります。

アルコール燃料の混合は、国および地域によって異なります。車両は、推奨燃料を使用して動作するように設計されていますが、次のことに注意してください。

- 国の規制によって定められた割合を超えるアルコールを含んだ燃料の使用は、推奨されていません。使用した場合、燃料システムコンポーネントに次のような問題が発生することがあります。
 - 始動および操作時の困難。
 - ゴムまたはプラスチック部品の劣化。
 - 金属部品の腐食。
 - エンジンの内部部品の損傷。
- ガソリンのアルコール含有量が国の規制を超えていると疑われる場合は、燃料漏れまたはその他の燃料システムの異常がないか頻繁に点検してください。
- アルコールを混ぜた燃料は水分を引き寄せて保持するため、燃料の相分離が生じ、エンジン性能の問題やエンジンの損傷を引き起こす可能性があります。

推奨燃料

オクタン価が91のAKI (RON+MON)/2、またはオクタン価が95のRONを含んだ

プレミアム無鉛ガソリンを使用してください。

注記 他の燃料を試さないでください。不適切な燃料を使用すると、エンジンまたは燃料システムの損傷を引き起こす場合があります。

注記 E85のラベルがある燃料ポンプからの燃料は絶対に使用しないでください。

E15のラベルの燃料の使用は、U.S.EPA (米国環境保護庁) の規制により禁止されています。

燃料補給の手順

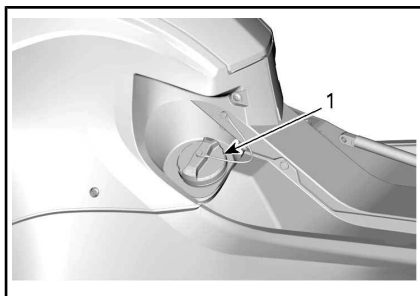


警告

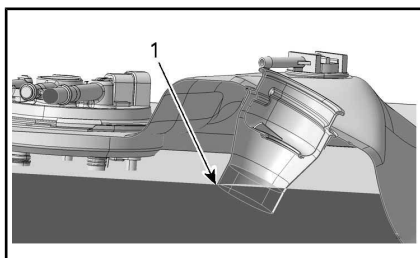
ガソリンは可燃性が極めて高く、爆発性する可能性が高いものです。火または爆発のリスクを下げるために燃料補給の手順に従ってください。一般的な注意のセクションを参照してください。

車両に燃料補給するには：

1. 燃料の補給は、炎、火の粉、煙草を吸っている人やその他の点火の原因から離れ、よく換気された屋外に停車して行ってください。
2. エンジンを停止します。
3. シートのロックを外して持ち上げます (機器のサブセクションを参照)。燃料キャップは左側にあります。



1. 燃料キャップ
4. キャップをゆっくり左に回し、取り外します。
5. 燃料レベルがフィルターチューブの高い方の点に達するまでタンクに給油します。



代表例

1. フィラーチューブの高い方の点

注：燃料タンクにぎりぎりまでガソリンを入れしないでください。温度変化で燃料が膨張する場合があるため、燃料タンクに若干の余裕を残してください。

6. こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。燃料が体にかかった場合は、石鹸と水で洗い、衣服を着替えてください。
7. 燃料キャップをかぶせ、カチッと音がするまで時計回りに完全に締め付けます。絶対に、燃料キャップが外れたまま始動したり運転したりしないでください。
8. シートを閉じます。

サスペンションの調整

ACSリアサスペンションの調整 (手動調整あり)

一般的な操作においては、リアサスペンションは加圧されています。車両の荷重が変化（同乗者が乗ったり、積荷を増やしたりなど）またはよりソフトまたはハードな設定がお望みであれば、リアサスペンションの圧力をお好みに合わせて調整することができます。

サスペンションの圧力は空気ばねを収縮または膨張させることで調整可能です。エアコンプレッサー（ガススタンドで使用可能）および圧力ゲージを使います。

サスペンションを和らげる場合、空気圧を下げ、サスペンションを固める場合、空気圧を上げます。

注：次のチャートはただのガイドラインとして参照してください。最大許容

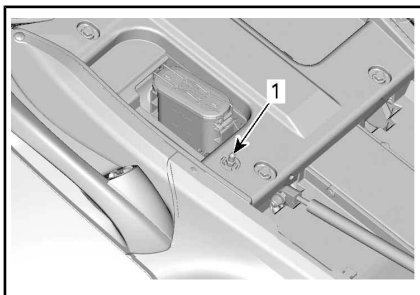
圧力を超えない限り、お好みに合わせて圧力を調整することができます。

注記 最大許容圧力を超えないこと。これはエアサスペンションを損傷しかねません。

警告						
最低圧力 70 kPa / 0.7 bar 推奨圧力を 70 kPa / 0.70 bar 以上超えないようにしてください。						
(同乗者 + 貨物) Kg						
積載量	0		45		90	
	kg	kPa/bar	kPa/bar	kPa/bar	kPa/bar	kPa/bar
70	310/3.10	380/3.80	450/4.50	480/4.80	515/5.15	515/5.15
90	345/3.45	415/4.15	480/4.80	515/5.15	550/5.50	550/5.50
115	380/3.80	450/4.50	515/5.15	550/5.50	585/5.85	585/5.85

注：圧力を調整する際は、自分の体重を車両にかけず、積荷をストレージコンパートメントに乗せないこと。

空気ばねはシート下にある、シュレーダーバルブ付きのエアホースに直接つながっています。



1. シュレーダーバルブ

空気圧を変更するには、タイヤ圧の変更と同じやり方で行います。

完了後、キャップをバルブに再度取り付けのを忘れないようにしてください。

ACSリアサスペンションの調整 (リモート調整を使用)

調整ガイドライン

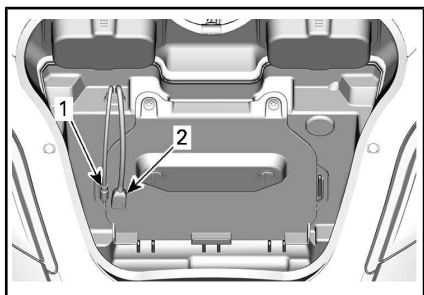
リアサスペンションは一般的な走行に対して調整されています。道路状況が変わったり、車両の荷重が変化した場合（同乗者や積荷が増えた）場合は、この設定を保つために、内蔵のコンプレッサーによって自動調整が行われません。

注：エンジンが起動中に圧力が解放されたり、空気コンプレッサーが動いて

いる音が聞こえるのは普通です。これはサスペンションが自動調整していることを意味します。

オーディオインジャックの使用

オーディオ入力ジャックがフロントストレージコンパートメント内にあります。



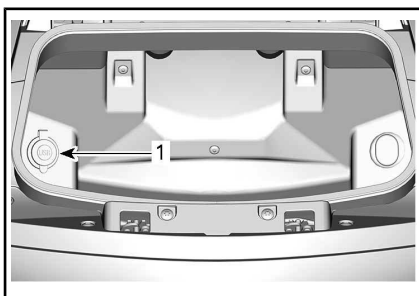
1. オーディオインジャック
2. USB ジャック

このジャックにCDプレーヤー、iPodなどの携帯デジタル機器、またはMP3プレーヤーなどのオーディオプレーヤーを接続し、オーディオシステムを使用して音楽を再生することができます。iPodのモバイルデジタル機器はECCによって部分的にコントロールすることができます。

BRP Connectのアプリを操作するには、フロントUSBポートを**使用する必要があります**。概要についてはゲージのセクションを参照してください。

注：車両のオーディオジャックにオーディオプレーヤーを接続するには、アダプター（特定のモデルにはオプション）が必要です。

上部ケース内にあるUSBポート（該当モデルのみ）は、スマートフォンの充電専用です。リアのUSBポートからはデータ転送ができません。



1. リア上部ケースのUSBポート

安全にご使用いただくために

他の車両との違いについて

このセクションでは、車両の特殊性および動作特性が説明されています。

安定性

車輪が3つある「Y」形状はモーターサイクルより低速度でのより優れた安定感が楽しめます。しかし、自動車などの車輪が4つある車両ほどは安定していません。電気車両安定システム(VSS)などの駆動支援技術は操作中の安定性を保つ補助をしますが、極端な運転の仕方(高速度で急にターンしたりなど)またはでこぼこ面や物に当たってしまうなどとして、車両がコントロールを失い、転倒または転がってしまう可能性があります。さらに、急なターン、加速、ブレーキまたはインパクトにより、運転手または同乗者が転げ落ちてしまう恐れがあります。

道路状態に対する反応

この車両は、特定の道路状況に対して他の車両とは違う反応を見せます。

- オフロード、氷または雪の中で走行しないでください。
- 水たまりや水が流れている場所での運転は避けてください。車両は車より簡単にハイドロプレーンします。水たまりがある道路で運転しなければならぬ場合は、減速してください。
- 砂利、泥および砂で覆われた道路では速度を落としてください。
- 温度が6°C未満のときに運転すると接地性が低下します。

詳細説明は、道路上の注意事項を参照してください。

ブレーキペダル

ペダル1つで3つの車輪すべてにブレーキをかけることができます。手動ブレーキがなく、前輪および後輪に別々にブレーキをかける方法はありません。

ブレーキやステアリング操作はモーターサイクルと似ています。後続車両は急停車や急な反応ができない場合があるため、後続車両に注意してください。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

車両には、車両スタビリティシステム(VSS)の一部としてアンチロックブレーキシステム(ABS)が搭載されています。より素早い急ブレーキをかけるには、ブレーキペダルを踏み続けます。ABSは車輪がロックするのを防ぎます。

このシステムは、ブレーキをロックしないようにすることで、非常ブレーキ時のステアリング制御機能を維持するのに役立ちます。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキは機械的に後輪だけにブレーキをかけ、作動するとロックした状態になります。これは駆動支援技術(ABS、電子制動力配分コントロールなど)によってコントロールされていません。

ステアリング

ダイレクトステアリング

車両のステアリング操作では、曲がる方向に必ずハンドルを切ってください。

モーターサイクル運転者—カウンターステアはモーターサイクルで行うテクニックのため、この車両ではしないでください。バイクとは異なり、この車両は曲がっているときに傾きません。モーターサイクル運転者であれば、ターンの仕方を学び直す必要があります。慣れるまですべての速度でターンの方向にハンドルを切る練習をしてください。

ターン時の遠心力

モーターサイクルとは違って、この車両はターン中に傾くことができません。曲がっているときは、遠心力によって体が車両の外側に引っ張られていく感じを受けます。

バランスを保つには、運転手および同乗者は両手でしっかりつかまり、両足をフットレストにしっかり乗せておく必要があります。


急ターン時は、上体を前に傾けて、重心をカーブの内側に置こうとすると曲がりやすくなります。

幅

この車両は通常のモーターサイクルよりも幅が広いため、下記のことを守ってください。

- 必ず前輪を走行車線内に維持してください。カーブを曲がる時や追い越し時は、前輪の位置に特に注意してください。
- レーンを共有したり複数のレーンを同時に使用したりしないこと。モーターサイクル同士でも、グループでの走行は単縦列で行ってください。
- 障害物を避けるためにより長く脱線する必要があることを考慮してください。

リバース

	リバースが選択されるとこのアイコンが点灯します
---	-------------------------

この車両は、自動車のように後進します。しかし、次のような大きな違いがあります。

- バックランプは車両後進時に点灯します。後進しようとしても、他の人がそのことに気付かない場合があることに注意してください。
- 必要であれば、視認性を改善するために同乗者に一旦降りてもらいます。
- 前部は後部より幅広いことを忘れないでください。後進の際に障害物に近づきすぎると、前輪が当たってしまうことがあります。
- 低速で後進してください。後進で長距離を走らないでください。
- 可能であれば、駐車スペースから後進しなくてもよいように駐車してください。

⚠️ 注意 後進時は必ず両足をペグに置いてください。後進中は絶対に足を地面に着けないでください。

運転免許証および国や地域の法律

この車両の運転に必要な運転免許書の要件は国や地域によって異なります。現地の法律によっては、モーターサイクルの運転許可証、3輪車両の運転許可証、または標準の自動車運転免許証だけを必要とする場合があります。

車両を公道で運転する前に、必要な免許証について国や地域の関連機関にお問い合わせください。

駆動支援技術

車両スタビリティシステム (VSS)

この車両には車両安定システム (VSS) が搭載されています。

このシステムは車両の方向をコントロールし、特定の状況において転倒や横転の危険を減らします。

VSSは下記のもので構成されています。

- **アンチロックブレーキングシステム (ABS)**：非常ブレーキ時にブレーキをロックしないようにすることで、ステアリング制御機能を維持するのに役立ちます。
- **電子制動力配分コントロール (EBD)** システム：3つの車輪のすべてのブレーキにおけるバランスを自動的に調整します。ABSによって、EBDは方向制御を補助し、その時点での牽引力によってブレーキ力を最大限に活かします。
- **トラクションコントロールシステム (TCS)**：激しいスロットルにより後輪が滑ってしまうことを防ぐ補助をします。TCSは、ハンドルバーを切った場合（直線コースから外れた場合）または車速が 50 km/h を超えた場合により、リアホイールのスピンを抑えます。スロットルを放したとき（減速したとき）、TCSは後輪がロックされてしまうのを防ぎます。
- **スタビリティコントロールシステム (SCS)** は後輪の動力を制限し、個々の車輪にブレーキをかけるように設計されており、車両のコントロールを失ったり、転倒を防ぎます。

注：ゲージに表示されるVSSライトは、VSSが介入するとONになり、VSS介入から2秒間ONになり続けます。

制限

VSSはすべての状況においてコントロールを維持することはできません。

駆動伝達が悪い道路面

道路面でのタイヤのグリップは最大制動効率を制限します。ABSおよびEBDを利用しても、トラクションの低い路面で運転したり、タイヤの推奨圧力を維持していなかったり、トレッドの状態が悪くなっていれば、停止距離は長くなります。

道路面でのタイヤが駆動伝達を失ってしまうと、VSSを用いても車両のコントロールを失いかねません。

舗装路面の一部でも氷、雪または泥に覆われている場合、VSSを用いても車両のコントロールを維持できる駆動伝達はありません。雪、氷または泥がある道路では運転しないでください。

注：6 ÅC 未満の温度では、車両のタイヤのグリップが低下し始めます。

他のオンロード車両と同様に、この車両は水上ではハイドロプレーンします（水に覆われた道路面ですべての駆動伝達を失ってしまう）。道路上の大きな水たまりや水の流れなど、水たまりに向かって早く走行しすぎると、車両は駆動伝達を失いスピニングアウトしてしまい、VSSを用いてもコントロールを維持することはできません。大きな水溜りや水流を避け、大雨の場合は速度を落すか路肩に停車してください。水溜りの上を走行する必要がある場合、水溜りに到達する前にできるだけ速度を避けます。

泥、砂、砂利または水に覆われている舗装では駆動伝達が悪い場合、速度を落します。この車両はオフロード用ではありません。車両は必ず適切な道路で使用してください。車両をその他の地面で使用しないでください。

タイヤ

車両のVSSは、特定のサイズ、材料およびトレッドパターンのタイヤに対して最適な性能を発揮するために較正されています。BRPによって認定されていないタイヤと交換してしまうと、VSSの効果が無くなってしまいます。

認定Can-Am On-Roadディーラーのみで販売されているBRPの推奨タイヤだけを使用してください。

特に緩いまたは濡れた表面では、駆動伝達を維持するために適切なタイヤの空気圧およびトレッドの管理が重要です。

急ターン

VSSはステアリング入力を制御または制限しません。急ターンを制御することはできません。ハンドルを大きく、急速に回すと車両がコントロールを失い、スピン、転倒または転がってしまう可能性があります。

スピードの出しすぎ

VSSは、SCSがカーブを曲がる時に介入する場合を除き、車両速度を制御することはありません。VSSは車両があまりにも早くターンすることを制御することはできません。特定の状況において走行速度が速すぎると、VSSを用いてもコントロールを失うことがあります。

過積載

絶対に規定値を超えて積載しないでください。

車両許容積載重量
224 kg

ダイナミックパワーステアリング (DPS)

ダイナミックパワーステアリング(DPS)は、電気モーターを使ってドライバーが必要とするステアリング入力量の最適化を図り、コンピューター制御された可変パワーアシストを提供します。

ステアリングアシストの度合いはハンドルの力(ステアリングトルク)、ステアリングアングルおよび車両速度に依存します。

車両がリバースギヤに入っている状態では、車両速度が速くなるにつれパワーステアリングアシストは低下します。

道路上のリスクの把握

この3輪トライクを運転する前に、安全カードと製品上のすべての警告ラベルをお読みください。

衝突による負傷や死亡事故のリスクを考慮し、こうしたリスクを軽減する方法を考え、リスクを選び取るうとしていないかどうかを確認してください。

リスクにはいくつかの要因があります。特定の要因はある程度コントロールすることは可能ですが、他の車両の運転の仕方などの要因は自分の力ではどうすることもできません。

以下はリスクに影響を及ぼすいくつかの要因の一覧です。

車両の種類

車両には様々な種類があり、大きさ、視認性、操縦性、および保護機能が異なります。

この車両は小型で操作しやすいものです。操縦性により、交通事故が避けやすくなります。しかし、小型車両は他のドライバーからは見づらく、他のドライバーから衝突される可能性が増加します。ある状況では、この車両はバイクよりも衝突に巻き込まれる可能性が低くなっています。例えば、低速度の走行中に転倒する可能性はより低くなっています。しかし、他の状況においては、衝突する可能性が高くなります。例えば、車両の幅が広いため、バイクとは異なり幅の狭い道を通ることはできません。

乗用車やトラックでは、車両の構造によって衝突事故やその他の道路上の危険から身が守られます。さらに、同乗者はシートベルトを着用することでさらに身を守ることができます。この車両は乗用車の運転よりもリスクが高く、負傷するリスクはバイクを運転するときのリスクと同じであることを念頭に置いてください。

バイクの走行と同じく、ヘルメットや保護具を着用することで負傷するリスクを減らすことができます。

ドライバーの技術および判断力

各ドライバーは道路上のリスクに対応するように気を配ることが重要です。良い技術を取得したドライバーは車両をより効率よくコントロールすることができます。この車両を運転するときには、バイク、乗用車、ATV、スノーモ

ビルなどの車両の運転経験に頼らないでください。この車両の特殊性について理解してください。このオペレーターズガイドを読み、安全講習ビデオを以下のサイトでご覧ください：
<https://can-am.brp.com/spyder/owners/safety/safety-information.html>
さらに利用できるならば、トレーニングコースを受講してください。コントロールに慣れ、実践練習を正確にこなせるようになってから実際の道路で運転してください。

公共の場で運転し始めたばかりのドライバーは、より簡単な道路状況（交通量が少ない、低速度、好天、同乗者が乗っていない状態）に始めは挑戦し、技術が磨かれていく毎に徐々により難しいチャレンジに挑戦してください。自分の運転レベルでは難しすぎる状態、または乗り越えられないようなリスクがある状態を避けるように先読みして運転してください。

熟練したドライバーでさえ衝突することはあります。例えば、極端な操縦や技を披露したりすると衝突のリスクが上がります。賢いドライバーは安全性を高めてリスクを最小限に抑えるために適切な判断を下します。道路上の注意事項に記載の安全運転に関する記述を参照してください。

ライダーの状態

ドライバーは酔っていないく、警戒態勢であり、体が運転できる状態である必要があります。薬物やアルコールを摂取した場合は、絶対にこの車両を使用しないでください。酔っている、疲れている、または正常に機能できない場合、衝突のリスクが高まります。

薬物、疲労、投薬、体調不良、眠気および感情的になることはすべて安全運転の阻害要因です。バイクの運転と同じく、この車両の運転は簡単ではありません。乗用車を操縦するよりも、体調や精神の状態が重要になります。一番安全な心構えは、集中力を保ち、完全に酔いがさめた状態でも絶対に運転しないことです。血中アルコール濃度が法定上限を超えなくても、アルコール摂取により判断力と運動力が低下します。

車両を運転するには、すべてのコントロールが操作でき、ハンドルを完全に切ったり、乗り降りしたり、周囲を注意深く監視できる体調であることが必要です。

同乗者も高い集中力を持ち、酔いが完全に醒め、姿勢を維持し、カーブ、でこぼこの道路、加速および停止の際にしっかりと握ったり対応できる体調であることが必要です。

車両の状態

車両をよい状態に保ってください。

使用前の点検および定期的メンテナンスを行ってください。車両を始動した時に多機能ゲージに表示されるメッセージに注目し、運転する前に問題に対処してください。

多機能ゲージを使用する際は常に最大の注意を払ってください。走行中にディスプレイを長く見つめることは衝突の危険性をかなり高めます。

道路状況および天候

渋滞、視認性が悪い、または駆動伝達の悪い道路面ではリスクが高まります。ご自身の運転レベル、および挑戦したいリスク程度に見合った経路をお選びください。

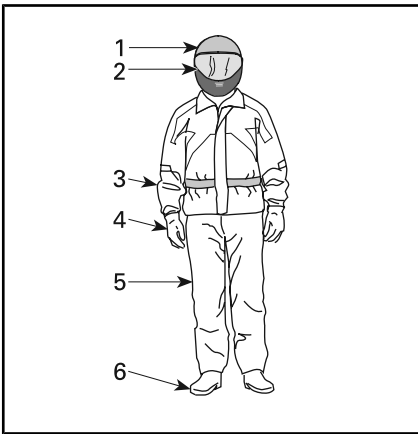
走行時の衣類・装備類

体が露出した状態になるこの3輪車両を運転するときは、バイクと同じ保護具が必要になります。低速度ではモーターサイクルより安定感のあるこの車両でも、車両から転がり落ちてしまう場合があります。

このセクションの内容は、Motorcycle Safety Foundation (MSF) によって提供されているバイク運転者のための手引き書に基づいています。

衝突の際にオートバイに乗るためのふさわしい服装をしていると怪我を防いだり、または軽減することができます。さらに状況に合った服装をしていると快適になり、気象要素から身が守られます。

ライダーおよび同乗者に推奨される基本装備には、ブーツ、長いパンツ、ジャケット、およびグローブが含まれ、何よりも適切に目を保護する適切なヘルメットが推奨されます。



走行時の衣類・装備類

1. 使用が認められたヘルメット
2. 保護めがねおよび顔用保護具
3. 長袖のジャケット
4. グローブ
5. 長いパンツ
6. ブーツ

ドライバーおよび同乗者ともに、適切な保護具を着用することで衝突時の負傷の程度を軽減することができます。

ヘルメット

ヘルメットは頭および脳をけがから守ります。ヘルメットはさらに同乗者の顔をドライバーのヘルメットの後部への衝撃から守ります。最高のヘルメッ

トを使ってめがねを100%防止できるわけではありませんが、統計によると、ヘルメットの使用は脳損傷のリスクを大幅に減少します。そのため、走行中は必ず安全運転を心がけて、ヘルメットを着用してください。

ヘルメットの選び方

使用されるヘルメットはお住まいの州、行政区または国の標準を満たす必要があります。

顔を完全に覆ったヘルメットは顔と頭全体を守るため、衝撃に対する最大の保護を提供します。さらに異物、石、虫などから身を守ってくれます。

スリークオーター型ヘルメットまたはオープンフェイスヘルメットもかなりの保護力があります。同じ基本的な材料から製造されていますが、顔を完全に覆ったヘルメットの顔および顎の保護は損なわれます。オープンフェイスヘルメットを着用する場合、取り付け可能なフェイスシールドまたはゴーグルの使用を推奨します。

注：普通の眼鏡またはサングラスは、モーターサイクル運転者には十分な目の保護具ではありません。それらは、割れたり外れたりするため、目を風や空気中の異物から保護しません。

色付きのフェイスシールド、ゴーグルまたは眼鏡は昼間中にしか使用しないでください。夜や照明が十分ではない場所で使用しないでください。色を見分ける能力が損なわれる場合は、使用しないでください。

走行時のその他の衣類・装備類

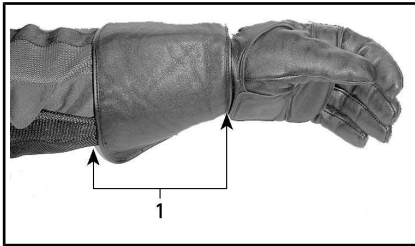
靴

必ずつま先が保護された靴を履いてください。上部な丈の長いブーツは道路から舞い上がる石や熱いエキゾーストパイプによる火傷などの運転中の様々な危険から身を守ってくれます。

ギャシフトレバー、ブレーキペダルまたはその他の部品に絡まってしまう長い靴紐は避けてください。ゴム製の靴底およびローヒールの靴は足をフットレストに固定するのに適しています。

グローブ

頑丈なグローブは手を風、太陽、熱、寒さおよび飛んでくる異物から守ります。手にぴったり合うグローブはハンドルのグリップ感を向上させ、手を疲れにくくさせます。ハードプロテクションなモーターサイクル用グローブは転倒の際に手を保護します。モーターサイクル用グローブの外部の縫い目は手への刺激を抑え、曲がった形状はハンドグリップでの自然なグリップを実現します。グローブが分厚すぎる場合、コントロールしづらくなります。ガントレットは冷たい空気が袖に浸入するのを防ぎ、手首を保護します。



1. グローブ用ガントレット

ジャケット、パンツおよびライディングスーツ

ジャケット、長いパンツまたはカバールのライディングスーツを着用してください。防風、防水、保温などの機能を備えた保護具は快適さを提供し、疎ましい環境からの影響を低減します。衝突事故の場合、頑丈な素材でできた高質の保護具は損傷を防いだり、軽減します。いくつかのギヤには、衝突における損傷のリスクをさらに軽減させるパディングやハードアーマーが仕込まれています。パンツの着用も熱い部品による火傷から身を守ります。

一般にモーターサイクル用の保護具は最適なフィットと保護の組合せを提供します。これらの衣服は運転中の座った姿勢に合ったデザインがされています。袖などの丈が長く、肩の部分の幅がより広がっています。ライディングスーツはワンピースまたはツーピースのものを選ぶことができます。

革は防風性など耐久性が強く、傷害に対して保護効果を発揮するため、よい選択肢です。合成繊維のその他の耐摩耗性保護具もよい選択肢です。動く部

品に絡まってしまうかねないスカーフやゆったりとした、長い衣服は着用しないでください。

フラップやファスナーは風をシャットアウトします。チャック式のジャケットはボタンやスナップ付きのジャケットより防風性が強くなります。ジャケットのジッパーを覆うフラップは防風性を更に強めます。袖口およびウエスト部分がぴったり合うジャケットは、風の浸入を防ぐために推奨されます。より大きい、緩い襟は走行中にはためため、肌を刺激したり目障りになる可能性があります。

涼しい天候では、低体温にならないように気をつけてください。低体温では、体の温度が低くなりすぎると集中力の低下、体の遅い反応、そしてスムーズで適格な筋肉の動きの損失を招きかねません。涼しい天候では、防風ジャケットおよび絶縁的衣服などの適切な保護具が不可欠です。適度な温度でも、走行中に発生する風によってとても寒くなります。

涼しい天候に適切な保護具は停止中だと暑く感じるはずですが、後で脱げるように重ね着してください。防風のアウターを保護具の上に重ね着することで冷たい空気が皮膚に届くのを防ぐことができます。

装備はライダーをより目立たせる効力もあります。明るい色を着るのは賢い選択です。薄暗いジャケットの場合、安価な反射ベストを上から着ることも可能です。常に余分な反射テープの付いた衣服を着るのは良い事故予防策です。

雨具

雨天時に運転する必要がある場合、レインスーツまたは防水ライディングスーツの使用を推奨します。長時間の走行では、雨具を持参するよう推奨します。雨から守られたライダーは、濡れて寒いドライバーより心地よく、より集中して運転することができます。

ワンピースやツーピースから選ぶことができ、特にモーターサイクル用の衣服が最適です。目につきやすいオレンジ色や黄色は良い選択肢です。ウエスト部分、パンツおよび丈がゴム製である物を探してください。丈の高い襟にジッパーが付いていて幅広いフラップがその部分を覆い隠すジャケットが最適です。レインスーツをお選びになる

場合、防水グローブおよびフットウェアも考慮してください。

雨天の場合、運転しないことが最良の選択肢です。雨天の際に運転する場合、道路上に水が溜まり始めた時は停車する必要があることがあります。

聴覚保護具

走行中に長い間、風およびモーター音に晒されていると永久的な難聴を引き起こす可能性があります。耳栓など、正しく着用された聴覚保護具は難聴の防止に役立ちます。聴覚保護具を使用する場合は、使用する前に地域の法令をお確かめください。

必要とされる運転技術および実践演習

この車両を公共の場で運転する前に、道路上のリスクを抑える運転技術および対策を学ぶ必要があります。

バイクやその他の自動車の運転経験がある場合は、他の車両と比べてこの車両の操作性やパフォーマンスがどのように異なるのかについて特に注目してください。

以下は車両の基本操作を学ぶための実践演習です。次の実践演習に進む前に各練習を上手にこなせるまで行ってください。トレーラーを牽引する場合、トレーラーを付けたまますべてのエクササイズを行ってください。

このセクションには次の練習が含まれています。

1. エンジンの回転数を上げたり、エンジンストップウォッチの使用
2. 始動、停止および基本的な取り扱い
3. 作動中のエンジンストップ
4. 基本ターン
5. 急停止
6. スラローム
7. シフティング
8. 急カーブ
9. リバースでの運転。

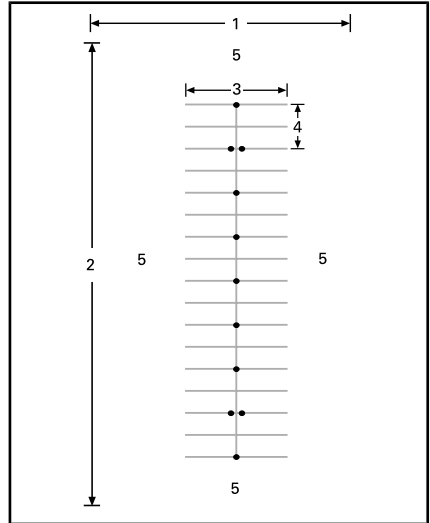
練習場の選択

これらの練習は、交通がない、長さ76 m - 30 m 以上の舗装面で行ってください。障害物（電柱、カーブなど）がない、閉鎖されている地面にマーキングがされている駐車場は練習に最適です。駐車されていた車によって残されたオイルに注意してください。学校、教会、コミュニティーセンターやショッピングセンターなど、営業時間外の駐車場を探してください。私有地の不法侵入は避けてください。

適切な場所を見つけた後、その土地の所有者から使用許可を得てください。電柱や安全地帯などの障害物がある場合、以下の図に示されている道筋が障害物によって干渉されないように注意してください。

練習を設定する際、駐車場レイアウトを把握してから始めてください。3 m の幅を持つ駐車場スペースがレイアウトに示されていますが、スペースの大きさは場合に応じて異なる場合があります。選定した駐車場に線が引かれていない場合、または図の寸法よりはるかに大きいまたは小さい駐車場である

場合は、以下の寸法を参照してください。巻き尺、チョーク、または水や砂が含まれている容器またはパイロンなどを使ってマーキングしてください。



通常の駐車場

1. 30 m 以上
2. 75 m 以上
3. 12 m
4. 6 m
5. 空地

閉鎖された場所でも、万が一、他の車が入ってこないか注意してください。練習を行う前に前方、左右および後方を確認してください。また、子供や動物に注意してください。

運転の準備

車両のすべての操縦系統の位置および操作方法を把握してください。

走行前点検を行ってください。走行前の点検のセクションを参照してください。

エンジンを始動および停止させるには、基本手順のエンジンの始動および停止に記載されている指示に必ず従ってください。

運転の姿勢

よい姿勢を取るとよりスムーズに運転ができます。操縦系統をスムーズに操作するには、両手と両足を必ず適切に配置してください。通常、手首は腕に対して真直ぐにします（これにより、

お望みのスロットルの位置をより簡単に適用できます)。腕はリラックスして曲がった状態であるべきです。姿勢を伸ばし、頭と目を上に向けます。両足を操縦システムの近くのペグに配置します。

運転の適切な姿勢を取っていない場合、近距離でも車両を運転しないでください。



代表例 — 運転の姿勢

練習の実施

1) エンジンのふかし、エンジンストップスイッチの使用について

練習の目的

- ねじれスロットルの操作に慣れること。
- 様々なRPMのエンジン音に慣れること。これによってエンジン音に応じていつシフトアップおよびシフトダウンすべきなのか把握できます。
- エンジンストップスイッチの使用に慣れること。

指示

- 車両をニュートラルに入れ、パーキングブレーキをかけ、右足をブレーキペダルに配置します。多機能ゲージを確認してニュートラルに入っているか確認してください。-1速ギヤに入っている場合は、スロットルを開くとSpyderは前進し始めます。

- タコメーターを見ながらスロットルを数回加え（手首を下げて回します）、RPMが4,000を超えない程度まで上げます。3,000 RPM 前後を維持するようにスロットルを優しくかつ円滑に開けたり閉じたりする練習をします。トランスミッションがニュートラルに入っている限り、電源は後輪に行き渡りません。
- エンジンストップスイッチを使って車両のすべての電源を止めます。手をハンドグリップに乗せたまま右手の親指でスイッチを押します。

練習のヒント

- エンジンストップスイッチを見ないまま押す練習をしましょう。

2) 始動、停止および基本的な取り扱い

練習の目的

- スロットルのコントロールおよび車両の動かし方を学ぶこと。
- 低速での減速およびブレーキに慣れること。

指示

これらの練習を行う際にコントロールを失っていると感じた場合、加速を止めるためにスロットルを閉じ、必要に応じてブレーキをかけて減速してください。さらにエンジンストップスイッチを使って電源を完全に切ることもできます。

2a) スロットルを開けた直前に放す

指示

最初は、スロットルを少しの間使用し、放して惰行運転します。

- エンジンを始動し、パーキングブレーキをかけます。
- ブレーキペダルを踏んだまま、ギヤセレクターを前方に押し、トランスミッションを1速ギヤにシフトさせます。
- ブレーキを放します。
- 車両が少しずつ前進し始めるまでスロットルをゆっくり開けます。動き始めた直後、スロットルを話して惰行運転し、ブレーキを踏んで停車します。直線コースの終点にたどり着くまで繰り返します。

- 直線コースの終点でUターンするには、停車し、ハンドルを右に完全に切り、スロットルを多少開けて放して、惰行運転でターンします。完全にターンするにはスロットルを一回以上開ける必要がある場合があります。反対方向の直線コースに並んだ時に停止します。
- スロットルを開けて放すのに慣れるまで、この部分を練習し続けてください。

2b) スロットルを回しホールドし、12mごとに放して停車する
 次はスロットルをもう少し長くホールドし、12mごとに（2個目のパイロンごとに、または4本目のラインごとに）停車します。

- この場合も、車両が少しずつ前進し始めるまでスロットルをゆっくり開けます。今回はこの時点までスロットルをホールドします。
- 停止地点が近づいてきたら、スロットルを放してブレーキをかけ停車します。
- 以前と同様に直線コースの終点でUターンしますが、今回はターン時にスロットルを放す必要はありません。ターンする際に安定したスロットルの位置を維持することに焦点を当ててください。反対方向の直線コースに並んだ時に停止します。

2c) スロットルをホールドし、放して終点で停車

次に、直線コース全体を走行し、終了地点でしか停止しないでください。スロットルは適度に開けておきます。

3) 作動中のエンジンストップ

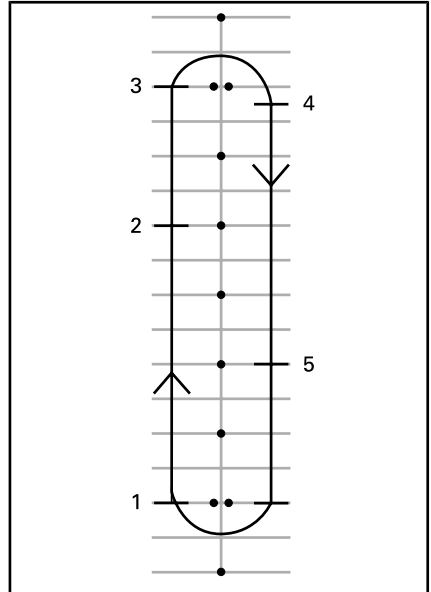
練習の目的

- 走行中にエンジンストップスイッチを使うことを練習し、後に使う場合に車両がどのように反応するか知っておきましょう。

指示

- 8 km/h の速度で直線コースを途中まで走行したとき、エンジンストップスイッチをOFFにして、惰走して停止します。
- エンジンを再起動させ、この練習を繰り返します。加速して（最高20 km/h）から、エンジンストップスイッチを使用してください。

注：ブレーキペダルが踏まれていないと車両のギヤに入れることができません。



1. 開始時点
 2. エンジンストップスイッチを押す
 3. 直線コースの終わりまで行って停止し、以前と同じようにUターンします
 4. 停止
 5. エンジンストップスイッチを押す
- エンジンを再起動させ、次の練習に移ります。

4) 基本ターン

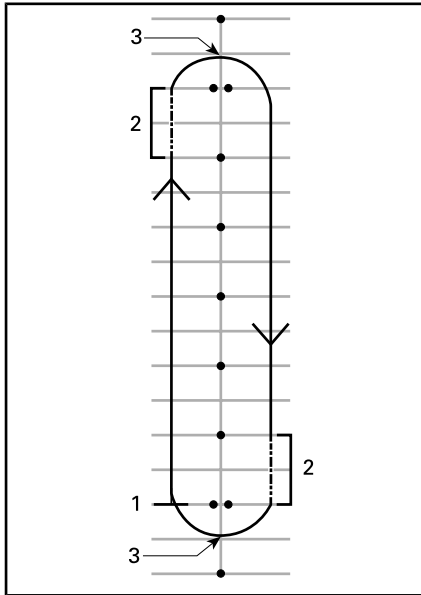
練習の目的

- 制御性のあるターンを行うことに慣れましょう。

指示

この練習は前述のものと同様ですが、今回はターン毎に停車するのではなく、低速度でターンをします。

- 直線を運転します。直線コースの終わりに幅広くターンするために、パイロンから少し離れて運転します。
- カーブに近づいたら、スロットルを放し、必要に応じてブレーキをかけて、速度を8km/h以下に落とします。
- 低速度を維持するためにスロットルをホールドします。
- カーブの方向に注目します。
- カーブの方向にハンドルを切り、ハンドグリップの内側を引っ張り、外側を押し出します。この間、スロットルを空けないように気をつけます。
- より簡単にハンドルを切るには、カーブおよび正面に対して体を寄せます。
- ターン後はハンドルを元通りにし、直線コースを進みます。



1. 開始時点
2. 半クラッチ
3. 頂点

注：バイク運転経験者への注意 - この車両でのターンやカーブの走行は、バイクの場合のそれとは異なります。この車両はターン時に傾かないため、姿勢を保つには、ターンの内側に重心を移動させなければならない場合があります。モーターサイクルよりもハンドルをより強く切る必要があります。ターン中の停車については、モーターサイクルよりも簡単です。

練習のヒント

- 一つの方向へのターンに慣れたら、今度は逆コースを走ります。左に曲がる時は、意図したよりもスロットルを開けないよう注意します。
- ターンの途中で停止してみて、カーブやターン時にブレーキをかける感覚を体験しましょう。



代表例 — ターン時の姿勢

5) 急停止

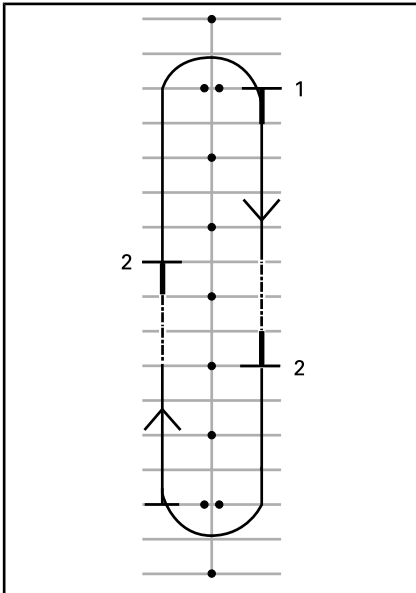
練習の目的

- 車両のブレーキ能力に慣れること。
- ブレーキの最大力を発揮させる方法を学ぶこと。

指示

この練習は前述のものと同じですが、今回はブレーキをより強く踏み、最終的にはできるだけ強くブレーキを踏める段階に達するまで練習します。アンチロックブレーキシステム (ABS) は最大制動力がかかっている場合に車輪がロックされるのを防ぎ、ステアリングコントロールを維持するのに役立ちます。素早く停車するには、必ずスロットルを完全に放してください。スロットルを開けたまま同時にブレーキをかけた場合、停止距離は長くなります。

- 直線コースの一方の端からスタートし、8 km/h まで加速します。直線コースを走行している途中でスロットルを完全に放し、ブレーキを素早くかけます。ABSによって車輪ロックが防止されるため、絶対にポンピングブレーキを行わないでください。
- 頭と目を上に向け、ハンドルを真直ぐの状態に維持し、完全に停車するまでブレーキを放さないでください。
- これを繰り返します。次はより早く走行し、ブレーキをより強く踏みます。



1. 開始時点
2. 停止

練習のヒント

- ブレーキを強く踏む前にミラーを確認する練習をしましょう。

6) スラローム

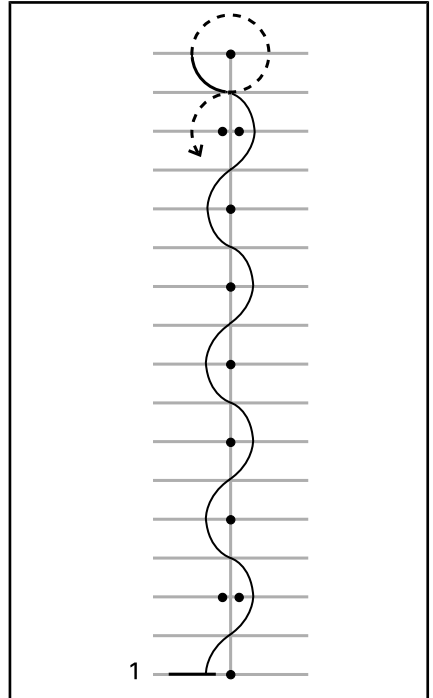
練習の目的

- 車両の扱いおよび姿勢に関する体験をすること。

指示

6 m

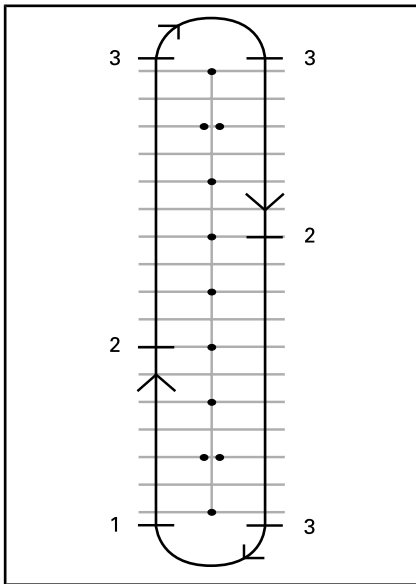
1. 他のすべての駐車位置の各パイロンまたは交差点の間をスラロームします。方向変更に慣れるまで、最初は低速で練習します。
2. ターンをする度に体をターンの方向に傾け、グリップを引っ張ったり押ししたりしながら進みたい方向にハンドルを切ります。



1. 開始時点

12 m スラローム

慣れてきたら、2個目のパイロンまたは4つ目のパーキングスペースを通過して 12 m のスラロームに挑戦してください。



1. 開始時点
2. 25 km/h で2速ギヤに変速
3. 停止

7c) 十分なスペースがある場合、走行中に1速ギヤにシフトダウンする練習

直線コースで：

- スロットルを放さないでギヤセレクターを手前に引っ張ります。
- スロットルなしでシフトダウンするとエンジンブレーキの感触がよりリアルに伝わります。

7d) 他のギヤ

スペースが十分である場合、より高いギヤにシフトアップしたり、低いギヤにシフトダウンしてみることもできます。同じ過程を踏み、ギヤは一つずつシフトアップまたはシフトダウンしてください。

注：シフトダウン中にもう少しスロットルを開けることで、エンジンを吹き上げさせて車両速度と同等のレベルまでより素早く上昇させることでシフトダウンをよりスムーズにさせることができます。シフトダウン中にスロットルを開けないと、エンジンブレーキによって車両の速度が落ちます。これを

利用して減速することもできますが、VSSはエンジンブレーキを制御しないことを考慮してください。高速度であまりにも低いギヤに変速してしまった場合は、後輪が滑ってしまうことがあり、特にカーブなどでは車両のコントロールを失い、車両がスピニングアウト、転倒または転がってしまう可能性があります。

8) 急ターン

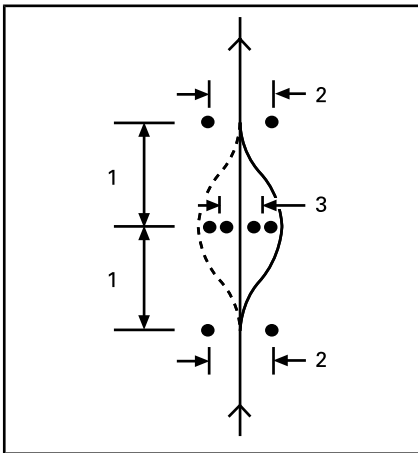
練習の目的

- 極端な操縦での車両の扱いに慣れること。
- ブレーキおよび急ターンの様々なバリエーションを試すこと。

指示

この練習を行うには、コースを再配置する必要があります。以下の図に示されている通りにパイロンを配置します。この練習には、固定された、または固い、重い物を使用しないでください。

- 約 8 km/h の速度で2個のパイロン間を走行し、最後までその速度を維持します。
- 一連のパイロンの周りを走行してみます。
- 二重パイロンの2つ目のセットからコースを出ます。
- この練習は数回行い、両方向での急ターンに挑戦してください。



1. 6 m
2. 3 m
3. 2.5 m

練習のヒント

- 初速を徐々に上げてよいでしょう（ただし13 km/h～19 km/h以下の速度に抑え、いくつかのバリエーションを試します）。例えば、コース直前の速度を調整したり、急ターン時にブレーキをかけたたりなど。
- 助手に手伝ってもらうことで、どの方向にターンするか、またはどこまで停車させるかなど指示してもらい、よりダイナミックな練習となります。助手には安全な距離を取ってもらいます（練習場より多少離れた位置など）。パイロンの第一セットの直前で助手はどの方向にターンするか、または停車すべきかなど、手信号で指示してもらいます。
- 急ターンをする前にミラーや死角を確認する練習をしましょう。

9) リバースでの運転

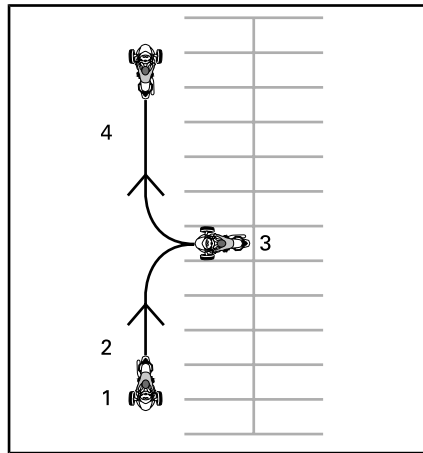
練習の目的

- リバースでの旋回半径および車両の取り扱いに慣れること。

指示

- リバースにシフトします。基本手順を参照してください。

- 背後に障害物がないか確認します。後退中も背後を見続けます。後退させながら前輪で物に当たらないように注意します。通常の動作と同様に、スロットルを放してブレーキをかけて減速し、停車します。
- 数フィートずつ後退し、間に停止させます。
- 低速で後進してください。後進で長距離を走らないでください。
- 後退に慣れたら、以下の図のようにパーキングスペースに後退させてください。



1. 開始時点
2. リバース
3. 停止
4. 前進

高度運転技術の取得

基本運転技術をマスターした後は、より高度な技術の取得を開始することができます。まず、次のセクションに記載の道路上の注意事項を確認してください。次に、リスクが比較的低い場所を見つけて練習を開始します。

以下のようなよりリスクが低い条件で運転し始めます。

- 短距離
- 好天
- 交通が少ない場所
- 昼間
- 低速度
- 同乗者なし。

上達してきたら徐々によりリスクの高い状況で練習してください。

道路上の注意事項

このセクションは道路上のリスクを軽減するための方法について説明します。これらの多くの方法はバイクのものと似ています。

このセクションの内容は、Motorcycle Safety Foundation (MSF) によって提供されているバイク運転者のための手引き書に基づいています。しかし、バイクとは手順が異なるため、熟練したモーターサイクル運転者でもこのセクションをお読みください。

練習の下準備

練習に出かける前に必ず天候を確認します。いかなる天候に備えるために適切なギヤを持ってきます。

自分の技術に見合った経路および運転状況を選択します。

車両には容量26 Lの燃料タンクが装備されています。燃料低下インジケータライトが点滅し始めたら、燃料タンクの供給をできるだけ早く行ってください。特に人けの少ない場所では、ガソリンスタンドなどの場所を事前に確認します。

安全運転

モーターサイクルと同じく、安全運転は衝突事故を防ぎます。常警戒する必要があります。背後も含めて、周囲への注意を怠らないでください。必ず潜在的な危険性がないか確認し、先読みし、問題を回避するために必要な距離と時間を計算します。他の運転者が常に交通規則を守るだろうと決め付けないでください。

車間距離

最適な運転状況では、前の車両とは2秒間の車間距離を必ず取ってください。これは、道路上の固定物と比較して前の車両の位置に最低でも2秒後に通過することを意味します。

制動距離が長くなる状況、または視認性が悪い場合、より安全な対策を取るためにより長い車間距離を取ってください。例えば、滑りやすい路面、下丘、または車両の重量がより重たい場合は、制動距離がそれだけ長くなりますし、霧、カーブまたは夜間では視認性が制限されます。

前方を見渡す

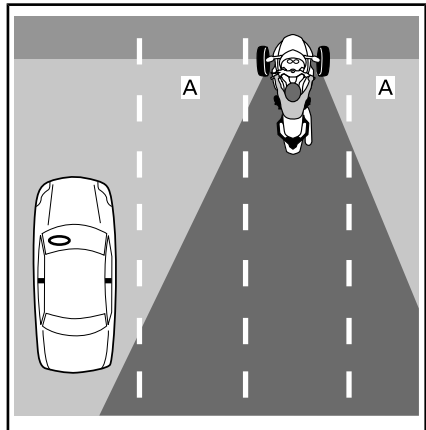
隣の車両と適切な車間距離を保つことに加えて、前方を見渡して通り道を事前に考慮しておきます。

最低でも4秒後の通り道を計算しておきます。道路上にある物体や他の車両など、自分の通り道に危険性がないか気を配ります。

予想した通り道で潜在的に危険な状況が起こる前にそれを見越すために、12秒先の距離も見通しておきます。例えば、他の車両が現れる可能性のある交差点や、歩行者が横断する可能性のある箇所などを識別します。もし危険な状況に遭遇した場合、瞬時に回避できる準備をしておきます。

背後および両側の確認

すべての方向から他の車両や危険が迫ってきます。周囲を常に見渡します。背後になにかがあるか常にミラーを確認します。さらに死角を監視するために常にヘッドチェック（振り返って確認する）を行います。



A. ドライバーの死角

ブレーキをかける際は後続車両に注意してください。後続車両は、この車両のように素早く停止できない場合があります。

視線を動かす

周囲を把握するには、視線を一つの方向に集中してはいけません。常に視線を動かし、道路、道路標示、機器および他の車両に注意します。すべての方向において、近くと遠くを見ます。

トラブルを予想する

潜在的な危険性に気が付いた時は、回避方法を検討します。これには速度や車線での位置を調整したり、車線変更する必要がある場合があります。なにかが通り道に侵入してきた場合は、急ターンやブレーキなどの回避行動を瞬時に取る準備をしておきます。問題に対応できるように、十分な距離をとり、十分に反応できる時間を常に確保しておきます。

視認性を高める

ドライバーにはモーターサイクルなど小さい車両をあまり注目しない性質があります。そのため、他のドライバーに気付かれやすくすることも視認性を高める方法の1つです。

他のドライバーに気付かれやすくする方法

照明およびリフレクター

車両のヘッドライト、走行用ライトおよびテールライトが適切に作動することを確認してください。使用されている車両のフェンダー、両側および後部にはリフレクターが付いています。すべてのリフレクターが清浄であり、壊れていたり欠損していないことを確認します。

昼と夜の両方で使用可能なときはハイビームを使います。夜に他のドライバーの目をくらますのを避けるために、または霧で光が反射しすぎている場合にロービームを使います。

方向指示灯

方向指示灯を使って他のドライバーに自らの意図を知らせます。この車両には自動キャンセル式の方向指示灯が付いていますが、短いカーブではキャンセルしないことがあります。操作完了後に方向指示灯がオフになっていることを確認します。操作完了後に作動している他のドライバーを混乱させます。

できれば、減速する前や交差点にたどり着く前にブレーキライトを点滅させ、後方のドライバーに警告します。

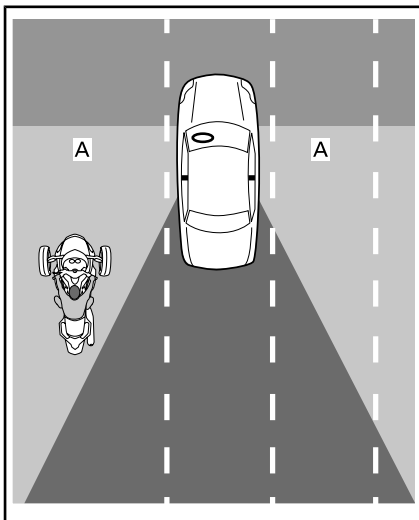
必要に応じてハザードランプを使って他のドライバーから見えやすくします。

さらにクラクションの使用を試みて、他のドライバーに自らの居場所を伝えることもできます。

他のドライバーがあなたのライト、方向指示灯またはクラクションの音に気づいたと決め付けないでください。

死角

他の車両の死角に運転するのは避けましょう。前方に走っているドライバーがミラーからあなたを見えやすいように自分の位置を設定します。トラックまたはバスを追跡している状況などの特定の場合は、前方の車両との間の車間距離を多めにとりましょう。



A. 他の車両の死角

時刻と天気

夜、夜明けや夕暮れなどの照明が薄い場合、および雨または霧などの悪い天候の場合は、他のドライバーから見えにくい場合があります。夜明け、夕暮れまたは非常に明るい日光からのまぶしい光によって、他のドライバーから見えにくくなります。

衣服

明るい色または蛍光衣類は視認性を高めます。

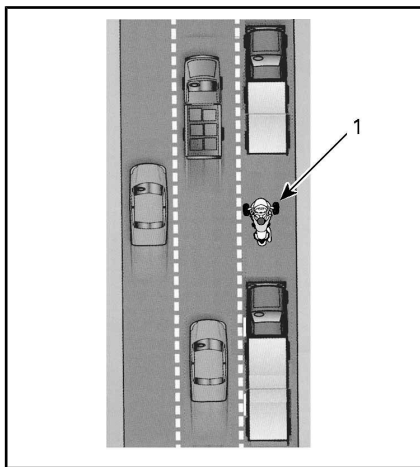
他のドライバーから見えていても気をつけましょう

他のドライバーがあなたの存在に気づいていても、衝突のリスクを作るような運転の仕方をする可能性があります。防衛運転をし、他のドライバーが安全運転をすると決め付けないことです。

車線の位置

通常は、車両を車線の中央に位置付けます。このポジションは前輪を車線内に留めます。これは他の車線にいる車両との車間距離をとり、大型車両からの風の影響を低減し、車線変更した車両から衝突されるリスクも軽減します。このポジションは車線の中央の滑りやすい箇所から前輪を遠ざけ、ブレーキおよびステアリング能力を維持します。この車両のシートは車両の真ん中に位置しており、乗用車と視線が異なるため、乗用車の運転に慣れている方は注意してください。

危険を避けるために車線の左側または右側に移動したり、他の車両やカーブから距離を置きます。さらにより良い眺めを得るため、または他のドライバーの視線を得るために車線の左側または右側に移動することもできます。この車両の中央にあるシートと幅によって、車線の端にいても周りの交通が見えづらい場合があります。幅が広い、または背が高い車に対してより多く車間距離をとる必要があることがあります。周りの交通を把握するために車輪を車線の外にはみ出すのは避けましょう。前方のドライバーから見える車間距離をとるには、あなたが相手のミラーを見る距離でなければなりません。大型車両によって追跡されている場合は、車線の左側にいないと通行車両があなたを識別できない可能性があります。



1. 車線の左側にある車両

この車両はバイクよりも幅が広いいため、車線内では限られた位置にしか動かせません。車線の左または右側で走行する場合は、前輪が車線内に維持されていることを確認してください。

多車線の道路では、車の流れにのったあなたの速度に見合った車線を選び、視認性を重視し、回避行動用（他の車線または路肩に急ターン）の通り道を考えておきます。

一般的な運転状況

交差点

路地や私道をつなげる小さい交差点など、交差点には横断歩道があるため、更なるリスクがあります。常に全方向の交通に注意してください。背後、前方および左右を監視します。

交差点で停止する場合は、次の角を曲がる場合でも、車線の真ん中で停車します。これにより他のドライバーから見えやすくなり、あなたの周りを運転しようとする行為を妨げます。背後から迫る車両に気を付けてください。迫ってくる車両に対してブレーキライトを点滅させます。1速ギヤにいれ、必要であれば衝突を避けるための回避準備をしておきます。

車線変更および追い越し

この車両はバイクよりも幅が広いいため、他の車両を追い越すには車線の幅をより必要とすることを考慮してください。この車両は乗用車より見えにくいいため、十分余裕を持って方向指示灯を作動させ、ミラーおよび死角を確認することが特に重要です。車線変更後に方向指示灯をオフにするのを忘れないようにします。車線変更だけではハンドルが十分に切られず、方向指示灯が自動的にキャンセルされません。

2車線（スプリットレーン）の間車線の上を絶対に走行しないでください。車両の幅が広すぎます。

路肩に沿って他の車両を絶対に追い越そうとしないでください。車輪が一つでも道路からはみ出た場合、コントロールを失いかねません。

ターン

ターンの時は減速し、周りをよく見てきちんとステアリングを制御することを忘れないでください。

- **減速：** ターンする前に、スロットルを放し、ブレーキを使ったり低速にシフトダウンすることで必要に応じて速度を落します。維持できる範囲の速度でターンを開始します。

この車両は、バイクよりもターン時のブレーキ効率が優れています。しかし、ターンしたりカーブを曲がっているときにブレーキをかけるのではなく、その前に減速することが重要です。ブレーキとターンの両方には駆動伝達が必要です。ブレーキに駆動伝達を使えば使うほど、同時にターンするだけの駆動伝達が無くなります。

ターンやカーブの曲がり方が早すぎると、前輪の内側が舗装から浮き上がり、VSSがエンジンの出力を制御し始める音が聞こえる場合があります。VSSIはコントロールの維持に役立ちますが、ターンが早すぎるとスピンしたり転がり落ちてしまう可能性があります。

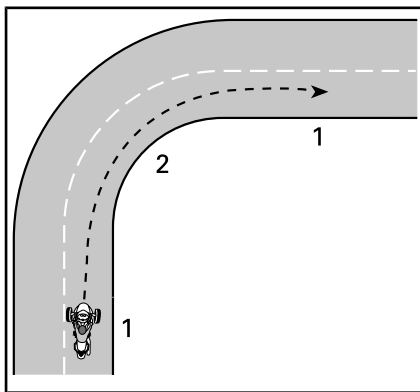
- **周りをよく見る：** ターンの全過程において周囲に注目し、視線を動かします。表面特性、カーブのきつさ、全体の交通状況など、カーブの状況をできるだけ早く把握します。こうすることで、速度や位置に関して判断する時間を確保できます。時には、ターンの方向に頭を傾けることで全体の把握がより可能となります。

- **ステアリング：** ハンドルを切ってターンの方向に車両を操縦します。この車両はバイクとは異なるため、カウンターステアができません。ターンによる横力を経験するため、この間に姿勢を保つにはターンの内側に重心を移行させる必要がある可能性があります。モーターサイクルよりもハンドルをより強く切る必要があります。

カーブ

この車両は乗用車より幅が小さいため、カーブでの通り道を正すために車線内を左右に動き回ることでもできます。ただ、この車両はモーターサイクルより幅が大きいため、左右の動きは限られます。前輪が車線からはみ出ないことが重要です。

通常のカーブでは、アウト、イン、アウトの通り道がベストです。



通常のカーブの通り道

1. ショルダー
2. イン (内側)

坂

傾斜に適切なギヤを選択します。低速ギヤは、坂を登る時に十分な動力を維持することができます。ダウンヒルの場合、低速ギヤに入れるとエンジンブレーキが速度のコントロールに役立ちます。

SE6モデルは停車時に、どのギヤに入っているかに関係なく、転がり落ちてしまう可能性があります。SE6モデルは停車状態でクラッチが必ず解除されているので、トランスミッションだけでは車両の位置をそのまま固定することはできません。傾斜地で停車しているときは、ブレーキペダルを踏み込んだままにします。傾斜地で始動するには、ブレーキペダルを踏んだ状態でスロットルを開きます。クラッチが作動したと感じたら (約 1,500 RPM)、ブレーキペダルを放します。

夜間の運転

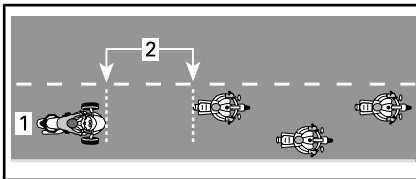
他のドライバーからの注目を引くためにライトや方向指示灯を使う他にも、夜間の視認性も考慮してください。適切な時にハイビームを使用します。スピードの出しすぎに注意しましょう (スピードを出しすぎて、停止距離までよく見えない状態)。他の車両のヘッドライトを利用して前方を見渡すこともできます。

夜間には着色のバイザーまたはレンズを使用せず、バイザーに傷や汚れがないように特に気をつけます。

グループでの走行

グループでの走行は単縦列でのみ行ってください。モーターサイクルとも車線を絶対に共用しないこと。

モーターサイクルと走っている際は、前方のモーターサイクルが同じ車線の隅にいる場合でも、適切な車間距離をとります。カーブでは、モーターサイクルの通り道を辿らないでください。モーターサイクルではカーブの際に車線の端の方に寄ることができですが、それと同じ操作をこの車両で行うと、前輪が車線からはみ出ます。モーターサイクルはこの車両よりも速くカーブを曲がることができます。モーターサイクルの速度に合わせないでください。



グループ走行のポジション

1. 車線の中央
2. 2秒後の距離

特にカーブが多い場合は、ライダーはモーターサイクル運転者よりも早く疲れる場合があります。モーターサイクルに追いつこうとして体力の限界を超えようとしないでください。疲れたら停車して休んでください。

道路状況および危険性

氷、雪および泥

凍結した道路、雪道、または泥の上では走らないでください。VSSを用いても、これらの滑りやすい表面ではコントロールを維持する駆動伝達がありません。この車両は、滑りやすい路面では自動車よりもスピンしやすく、制御不能になる場合があります。

砂利、土および砂

砂利、土または砂で覆われた道路では、余分に注意し、特にカーブでは速度を落とします。これらの表面は舗装道路のような駆動伝達がないため、VSSを用いてもコントロールを失ってしまいます。

湿潤路面および水溜り

通常は、舗装上に水溜りがない限り（水が流れているなど）、湿ったり濡れた舗装ではコントロールを維持できるだけの駆動伝達がありません。他の車両と同じように、この車両で道路上の水溜りの上を高速で通過するとハイドロプレーニング現象が発生しますが、他の乗用車やモーターサイクルと比べても、より低速でこの現象が発生します。ハイドロプレーンはより深い水溜りの上で起こりやすいです。深さを確認するには、他の車両が通った時の水の動きに注意してください。

ハイドロプレーンが起きた場合は、一つ以上の車両が水上に浮き上がり、道路との接触を失います。これが後輪に起きた場合は、後輪が横にずれているように感じるかもしれません。ハイドロプレーンした車輪は車両をコントロールするために必要な駆動伝達を提供しません。コントロールを失ってスピンアウトしてしまい、VSSでもコントロールを維持することはできません。

大きな水溜りや水流を避け、大雨の場合は速度を落とすか路肩に停車してください。水溜りの上を走行する必要がある場合、水溜りに到達する前にできるだけ速度を下げます。

水の上を通った後は、ブレーキの動作を確認します。必要であればブレーキを数回かけ、摩擦によりブレーキパッドを乾燥させます。

適切にメンテナンスされたタイヤはハイドロプレーンのリスクを抑えます。必ず以下の推奨されるタイヤの空気圧を維持してください。

メンテナンス手順のセクションのタイヤ空気圧を参照してください。

注：左右のタイヤの圧力差が 3.4 kPa を超えないようにしてください。

ハイドロプレーンのリスクを最小限に抑えるために、最後のトレッドウェアインジケーターが見える場合は、タイヤをすぐに交換してください。

雨が降り出した最初の数分間は油や汚れが水と結合するため、車線の中央は特に滑りやすくなります。雨水が多い場合は、摩耗した舗装に蓄積されることがあります。これらの駆動伝達が少ない箇所は避けます。できれば前輪を駆動伝達が一番良い箇所に留めておきます。

オフロードでの使用

オフロードではこの車両を使用しないでください。車両はオフロードの駆動伝達が少ない、でこぼこの粗面には耐えられません。簡単に動けなくなったり、コントロールを失ったり、あるいは転倒してしまいます。さらに、特定の地域ではオフロードで使用する事は違法である場合があります。

障害物、穴やでこぼこ面

できれば障害物、穴やでこぼこ面の upper を走らないでください。もし避けられない場合は、そこに到達するまえにできるだけ減速し、ブレーキを放しながら進みます。より幅広い障害物やでこぼこ面に対しては、できればストレートにアプローチし、両方の前輪が同時に直面するようにします。両方の前輪で障害物、でこぼこ面や穴の上を走行する場合は、ライダーはペグの上に少し立ち上がり、足を使って衝撃を和らげるような姿勢をとります。車輪が障害物にぶつかるかもしれないことを想定して準備しておきます。より幅が狭い障害物、でこぼこ面や穴に対しては、後輪で乗り上げる方がよいです。前輪で乗り上げる場合は、ハンドルをしっかりと握り、スロットルを誤って開けてしまわないようにし、必要であれば軌跡を調整する準備を整えておきます。

かなり大規模の障害物、でこぼこ面または穴に直面してしまった場合、衝撃によって車両が跳ね上がって乗り手に車両部分が当たってしまい、ライダーが車両から放り出されたり、コントロールを失ったり、スピンや転倒してしまう場合があります。

車両を回避するために完全に停止できない場合は、急ターンして回避してください。必要であれば急ターンとブレーキを同時にすることもできます。

鹿などの大型動物が道路上にいる場合は、その箇所に到達する前に停車し、動物がいなくなるまで待ちます。犬が追いかけてきた場合は、犬が近づくにつれて減速し、犬と直面する直前に加速して回避することが推奨されます。

道路上での緊急事態

走行中に車両の異常や予期しない出来事が起こりえます。よくメンテされた車両は異常のリスクを軽減させますが、その緊急事態に備えておくことが推奨されます。

- オペレーターズガイドおよび工具キットを必ず車両の中に入れておきます。走行中の問題に関する技術的ガイドラインについては、*道路側での修理*を参照してください。
- 道路の上で停車する場合は、次の注意事項に従ってください。
 - 道路に舗装された路肩がある場合は、高速から降りるシグナルを出し、交通速度に近い速度で車線からでて、完全に停車するまで減速します。
 - 路肩が舗装されていない場合は、右折のシグナルをだし、安全な速度まで減速してから舗装道路を走ります。
 - 注目度を高めるためにハザード警告灯ライトをONにします。
- 携帯やその他の通信機器を持っている場合、長距離の旅にだる前に完全に充電させてください。
- 衝突事故に巻き込まれた場合、BRPは再度使用する前に車両をお近くのCan-Am On-Roadのディーラーに搬入し（*車両の移送*を参照）、安全点検を依頼するよう強く推奨します。
- BRPの事故インシデントレポートに記入します。

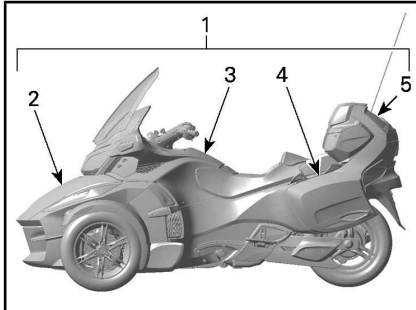
タイヤの故障

タイヤが故障したり急にパンクした場合は、ハンドルをしっかりと握り、徐々に低速し、安全な場所に慎重に進み、停車します。急ブレーキをかけたリ、シフトダウンや急なハンドルの扱いは避けてください。前輪が故障した場合、車両は故障したタイヤの方向に引っ張られる可能性が高いため、車両のコントロールを維持するにはハンドルをしっかりと握る必要があります。タイヤ修理の指示については、*道路側での修理*のセクションをご参照ください。

同乗者や積荷を乗せる、またはトレーラーの牽引

重量制限

ライダーおよび積荷の重量制限を超えないでください。



1. 224 kg
2. 16 kg
3. 2 kg
4. 7 kg (各側)
5. 9 kg

重量制限	
車両積載重量制限 (ドライバー、同乗者、 カーゴおよび追加されたア クセサリーも含みます)	224 kg
フロントストレージコン パートメント	16 kg
グローブボックス	2 kg
サイドストレージコンパー トメント (各側)	6.8 kg
上部ストレージコンパート メント	9 kg

超過重量は：

- 加速、ブレーキおよびターンの効
率を妨げます。
- VSSの効率を妨げます。
- 重すぎたり、重量が後部に集中し
ている場合、反転のリスクが高ま
ります。
- 地上高を減少させ、高さが低い障
害物やでこぼこ面に直撃するリス
クが高まります。
- タイヤの故障のリスクを高めます。

超過重量で運転する場合

同乗者や重い荷物を乗せることは、車
両がより重くなってしまい、重量配分
が不均一になってしまうため、車両の
動きが左右されてしまいます。

1. より素早く加速できなくなってい
ます。他の車両を追い越す場
合はより時間と車間距離を必要と
します。
2. より素早く停止できなくなってい
ます。前方車両との間の車間
距離を最低でも3秒間まで引き伸ば
します。理想的な運転状況でない
場合は（視界不良、コンディショ
ンの悪い路面など）、より長い車
間距離をとります。
3. よりシャープなターンや、高速で
のターンを行うことはできなくな
ります。ターンの前は通常異常に
低速し、急ターンを避けます。
4. この車両はより不安定になる場合
があります。後部に片寄った重量
配分（同乗者の乗せた場合など）
で極端な操縦をした場合は、転倒
や転がり落ちるリスクが高まりま
す。

同乗者を乗せた運転

この車両はドライバーの後ろに同乗者
が一人乗れるように設計されていま
す。複数の同乗者を絶対に乗せないで
ください。

あらゆる場面で一人で走行し、車両を
適切に操縦できるまで、同乗者を乗せ
ないでください。

同乗者は酔いが完全に醒め、集中でき
る状態にあり、適切にフットレストや
グリップを使い、バランスを保ち、極
端な操縦時にしっかりつかまり、ドラ
イバーの気をそらさないことが必要で
す。

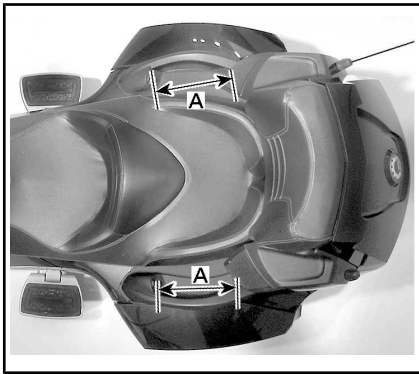
同乗者はドライバーの指示に従い、
オーディオコントロールを使用する必
要があります。

同乗者も適切な保護具を着用してい
る必要があります。同乗者は特にヘル
メットなど、ドライバーに推奨される
すべての保護具を着用する必要があります。
フルフェイスヘルメットの使用
を推奨します。これは、急停車時に、
同乗者の顔がドライバーのヘルメット
の後部に当たる恐れがあるためです。

同乗者の姿勢が整うまでブレーキをかけておき、トランスミッションをニュートラルに入れておきます。

運転し始める前に同乗者に乗り方を教えます。同乗者に次のルールに従ってもらう。

1. 適切な姿勢を保つこと。常に同乗者用の取っ手につかまり、足を同乗者用のフットレストに乗せておくこと。同乗者用のフットレストの高さは調整可能です。同乗者用フットレストの調整の仕方を参照してください。横方向の過度の力にドライバーが耐えられない場合があるため、同乗者はオペレーターにつかまらないようにしてください。各操作ごとにグリップの握り方を変えてみると、より効果的な場合があります。(ターンでは片手をグリップの正面に、もう一方の片手を反対側のグリップの裏面を握ったり、その他の状況においては両手をさらに前方または後方に位置付けるなど)



- A. 同乗者用ハンドルを握る位置
2. エキゾーストパイプ、後輪およびドライブベルトに近づかないでください。
3. ターンの時にバランスを保つ時以外は、後ろに振り向いたり傾いたりしないでください。予期しない操作の時は、通常の姿勢をとっていない同乗者は転がり落ちてしまう確率がより高くなります。
4. 先方をしっかり把握し、今後の道路状況に対応します。遠心力に抵抗するために必要に応じてカーブの方向に体を傾けます。

障害物、穴またはでこぼこ面上を走る場合は、肘をロックしないまま席から多少立ち上がります。

特に経験のない同乗者を乗せている場合、急な加速、ブレーキおよびターンは避けてください。予期しない急な操作は同乗者が転がり落ちてしまう要因となります。

荷物を乗せる場所

次のコンパートメントに荷物を乗せることができます。車両にBRPの承認されたアクセサリが搭載されている場合を除いて、他の箇所には荷物を乗せないでください。

次のコンパートメントに燃料などの可燃性のものを絶対に積まないでください。

各コンパートメントの積載重量制限を必ず守ってください。このセクションの重量制限を参照してください。

グローブボックス

グローブボックスは小さい私物の保管に最適です。

運転中に(通行料金など)瞬時に必要な物を保管するのにとても便利です。

フロントストレージコンパートメント

フロントストレージコンパートメントは非常に広く、ヘルメット二つや他の物が保管できます。フロントストレージコンパートメントには本オペレーターズガイドを保管する指定箇所が設けられています。

運転する前にコンパートメントカバーのラッチが固定されていることを確認してください。

サイドストレージコンパートメント

サイドストレージコンパートメントはヘルメットまたはその他の軽い物を保管する場所です。



運転する前にストレージコンパートメントカバーのラッチが固定されていることを確認してください。

上部ストレージコンパートメント

上部ストレージコンパートメントはヘルメットまたはその他の軽い物を保管する場所です。



代表例

運転する前にストレージコンパートメントカバーのラッチが固定されていることを確認してください。

トレーラーの牽引

RTシリーズの車両は任意のBRPのトレーラー（任意のBRPヒッチ付き）が牽引できるように設計されています。

この車両のVSS（車両安定システム）は、適切な車両安定コントロールを維持しながらBRPトレーラーが牽引できるようにプログラムされています。

この車両用に特別に設計されたBRPのトレーラー、またはBRPにより承認されている同等品だけを使用してください。これは、通常操作時に車両とトレーラーの安定を確保し、車両安定シ

ステムに支障がでないようにするために重要なことです。

注記 推奨されない配線ハーネスの使用は車両電気システムの故障につながる恐れがあります。

警告

その他のトレーラーの使用は車両の損傷、または車両安定システムの適切な操作に支障がでてしまいます。トレーラーの牽引時にクルーズコントロールを使用することは推奨されません。

トレーラーの牽引は重量の大きさと異なる重量配分によって車両の扱い方が変わってしまいます。

- 他の車両を追い越す場合はより時間と車間距離を必要とします。
- ブレーキに対してより長い距離をとってください。
- 前方の車両との車間距離はより長めにとってください。
- ターンの前は減速し、通常以上に徐行し、急ターンは避けてください。
- 過度の操縦では、転倒や転がり落ちるリスクが高まります。

他の車両に追い越されたり横切られた時に発生する横風と乱気流によってステアリングが影響され、トレーラーが揺れることがあります。この効果を最小限に抑えるために、一定の速度で運転し、急に曲がったりブレーキを調整したりしないでください。

カーブを曲がる前に減速します。コーナリングの時は、より大きな半径をとってターンしてください。トレーラーを付けてターンする場合は、より大きなスペースを必要とします。

トレーラーを付けたまま後退しなくてはならない状況を防ぐために、先読みしながら運転してください。

後退する時は、必ずゆっくりと後退してください。できるだけ他の人に誘導してもらおうにしましょう。まず空地で練習してみてください。必要とされる運転技術および実践演習をご参照ください。

できれば、急ターン、捻じ曲がり、ターンや急ブレーキを避けてください。これはトレーラーが折れ曲がったり、転倒してしまう恐れがあります。

空のトレーラーはより簡単にバランスが崩れます。加速する場合は、過度のエンジン負荷を避けるためより高いRPMでシフトすることが一般的です。

注記 後輪をスピニングすることは避けてください。石や砂利がトレーラーにかかってしまい、損傷させてしまう恐れがあります。

坂の特長

できれば上り坂を登っている最中に停止するのは避けてください。

停止状態から坂を登るには、エンストを防ぐためにクラッチ滑りがより必要となります。

坂を登る際は、速度変化を最小限に抑えるためのエンジンの十分な動力を確保するためにシフトダウンをより頻繁に行う必要があります。

下り坂の場合は、ブレーキを常に踏むよりも一回以上ギヤをシフトダウンさせ、エンジンブレーキを利用して減速します。減速または停車させるにはより長くかかります。

積載重量制限

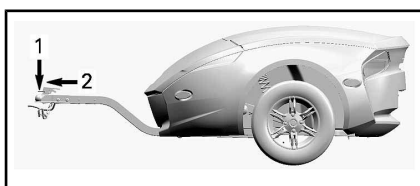
警告

転倒のリスクが高まるため、トレーラカバーに荷物を絶対に乗せないでください。すべての荷物はトレーラー内に保管します。

積載重量制限は適切な牽引機器で確認する必要があります。

牽引仕様	
トレーラーの接合部への最大重量	18 kg
最大牽引重量（トレーラーおよびカーゴ）	182 kg

注：トレーラーに積載できる荷物の最大重量については、CAN-AM FREEDOM トレーラーのオペレーターズガイドを参照してください。



1. 18 kg
2. 182 kg

トレーラーに荷物が積み込まれた場合は、接合部に負担がかかります。車両に接合されていない状態で接合部にかかる重量を測定するにははかりを使用することもできます。荷物を乗せた後トレーラーにまだ余裕がある場合は、トレーラーの前部に荷物を積み始め、接合部の重量限度に達した場合は、残りの荷物をトレーラーの後部に積みまします。トレーラーの重量配分は接合部にかかる重量に影響します。接合部にかかる重量の仕様を充たすために、トレーラー内の重量を再配分します。接合部に重量がかかりすぎると、ステアリング制御が低減されます。接合部に重量がかからなすぎると、トレーラーが不安定になり、揺れてしまいます。

警告

最大牽引重量を超えてしまうと、車両のハンドリングおよび効率に深刻な影響を及ぼします。トレーラーを牽引していることにより、車両のハンドリング、安定性、加速および制動距離に影響を受けます。正しい積載および重量配分が重要です。過積載や不適切な牽引、不適切な方法での荷物の運搬は絶対にしないでください。車両を操作する前に荷物がトレーラーに適切に配布され、安全に固定されていることを必ず確認してください。より高い重心からの影響を低減させるために、できるだけ積荷を必ず固定します。ここに記載されている推奨事項に従わないと、車両のハンドリングが影響され、車両のコントロールを失いかねません。

注記 最大牽引重量を超えてしまうと車両やトレーラーを損傷しかねません。車両を損傷しかねない、鋭角の重い部品を運ぶのは避けてください。トレーラーが牽引されている際に荷物が動かないように配置してください。

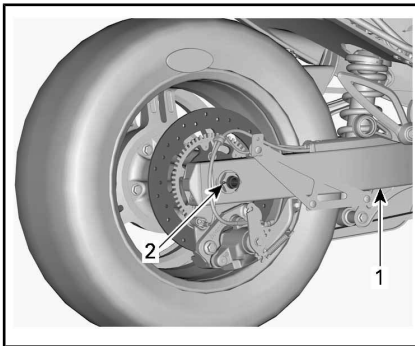
ヒッチ

BRP製のヒッチまたはBRPに承認された同等品のみ使用してください。BRPヒッチは車両のスイングアームに適切に適合し、車軸にしっかりボルトで固定します。

注記 推奨されていないヒッチを使うと、リアスイングアームの故障につながりかねません。

警告

車両からヒッチを取り外した後は、必ず車軸ナットを固定するために新しいコッターピンを取り付けます。



より分かりやすい説明のため、車軸キャップおよびマフラーは省略されています

1. スイングアーム
2. 新しいコッターピンはここに取り付けます

安全ケーブル

トレーラーを牽引する場合は必ず安全ケーブルを使用します。トレーラーおよびヒッチに固定し、接合部の下を通るようにします。トレーラーがコーナーを曲がれるようにケーブルがある程度たるむようにします。トレーラーと車両が直線で結ばれている時は、チェーンが地面に接触しないようにします。

自己テスト

以下の質問は、本ガイドで習った情報の復習です。これにはすべての情報は含まれませんが、車両および操作に関する一般的な理解を得ているか知ることができます。

質問ページの次のページの答えを参照してください。

質問

1. 急停止する場合は、ブレーキペダルを踏んでパーキングブレーキを作動させます。

○ x

2. 走行前の点検は一週間に一回は行うべきだ。

○ x

3. VSSはどの天候でも車両を使用できるようにする。

○ x

4. タイヤを交換する場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーから入手したBRP認定のタイヤのみ使用するべきだ。

○ x

5. 同乗者が集中でき、完全に酔いが醒めている状態であることが重要だ。

○ x

6. 傷害の危険を低減させる保護具を六つ挙げてください。

1)

2)

3)

4)

5)

6)

7. 保護具は、傷害を防ぎ軽減させ、快適さを保ち、気象要素からみを守るために欠かせません。

○ x

8. 以下のなかで車両をコントロールしないものを挙げてください。

a. ハンドル

b. ねじれスロットル

c. フロントブレーキレバー

9. 視認性を高めるために昼間でもロービームのライトをONにし続けるべきだ。

○ x

10. 通常は、車両を車線の中央に位置付けるべきだ。
○ x
11. 通常のモーターサイクルとは異なり、ブレーキをかけながらターンすることを習慣にするべきだ。
○ x
12. 通常の状況では、車間距離は最低_____であるべきだ。
a. 1秒
b. 2秒
c. 3秒
13. 承認された容器に入っているも、ガソリンなどの引火性液体をストレージコンパートメントに入れて運搬しないでください。
○ x
14. 他のドライバーから注目を得る5つの方法を挙げてください。
1)

2)

3)

4)

5)

15. 駆動伝達が良好ではない道路面でブレーキをかける場合は、車両のコントロールを維持するためにポンピングブレーキを行うべきだ。
○ x
16. 車両の最大積載量には、ドライバー、同乗者、荷物、およびすべてのアクセサリが含まれる。
○ x
17. 最大牽引重量が 180 kg を超えない限り、車両は安全にトレーラーを牽引することができる。
○ x
18. 同乗者はドライバーにしがみつくべきだ。
○ x

19. この車両の運転は乗用車の運転と同じくらい安全だ。

x

20. ABSは車輪をロックさせないでブレーキペダルを強く踏めるようにさせる。

x

解答

1. x

急停止するには、ブレーキペダルのみ踏みます。

2. x

乗る前に必ず走行前の点検を行うべきです。

3. x

ハイドロブレーンを起こすほど氷、雪、泥または水が道路を覆っている場合は、VSSを用いてもコントロールを維持することはできません。

4. ○

5. ○

6. 1) ヘルメット

2) 保護めがねおよび顔用保護具

3) 長袖のジャケット

4) グローブ

5) 長いパンツ

6) できれば丈が長い、つま先を覆っているフットウェア

7. ○

8. c. フロントブレーキレバー

車両にはフロントブレーキレバーはありません。

9. x

昼間中はハイビームを使用するべきです。

10. ○

11. x

必要であればブレーキとターンを同時に行うこともできますが、通常はターンの前にブレーキをかけることが推奨されます。

12. b. 2秒

通常の状況では、車間距離は2秒以上とるべきです。

13. ○

14. 1) ライトおよびリフレクターが掃除されてあることを確認します。

2) 可能な限りハイビームを使います。

3) 方向指示灯を使います。

4) 減速する前にブレーキライトを点滅させます。

5) 必要に応じてハザードランプを使います。

6) クラクションを鳴らして他のドライバーに自らの存在を知らせます。

7) 死角の中で運転するのは避けます。

8) 明るい色および蛍光衣類を着用します。

15. x

ポンピングブレーキではなく、ブレーキペダルを踏み続けるべきです。車両には、車輪のロックを防ぐABSが搭載されています。

16. ○

17. ○

すべての推奨事項が厳密に従われている限り、トレーラーを牽引することは可能です。

18. x

同乗者は必ず同乗者用グリップにつかまるべきです。

19. x

乗用車およびトラックでは、車の構造が身を守ります。さらに、同乗者はシートベルトを着用することでさらに身を守ることができます。この車両は乗用車の運転よりさらにリスクが高く、損傷のリスクはモーターサイクルのリスクと類似していると考えてください。

20. ○

車両の安全情報

この車両には、重要な安全情報が記載されているハンガタグおよびラベルが付属しています。

この車両に乗る人は必ずこの情報をよく読み理解した上で乗ってください。

ハンガタグ

▲ **警告。** 運転、整備、同乗者の擁護を行うなかで、本車両は米国カリフォルニア州政府が規制する、発がん性や先天性障害または生殖毒性を引き起こすことが知られている排気ガスに含まれる化学物質に運転者をさらす危険性があります。

そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドルリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。

詳細は下記ホームページをご確認ください。

www.P65Warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle



704906973

▲ WARNING

This Can-Am On-Road is a different type of vehicle - it requires special skills and knowledge. Learn how this product is different.

Read the operator's guide and watch the safety video using the QR code link or visit Can-Am On-Road web site.
Complete a training course (if available), **practice**, become proficient with the controls, and get a proper licence.
Refer to the Safety Card before riding.



Always wear a helmet and riding gear.

With this type of vehicle, riders are exposed to more road risks than in a car. Even skilled operators can be struck by other vehicles or lose control. This vehicle will not protect you in a crash.

Handling limits and road conditions

The Vehicle Stability System (VSS) cannot stop you from losing control, flipping over, or falling off if you exceed this vehicle's limits. Know the limits for different road conditions. Do not ride on ice, snow, or off road. Avoid puddles and running water. This type of vehicle can hydroplane on water and slip on gravel, dirt and sand covered roads. If you must go through these road conditions, slow down.

This hangtag may only be removed by the customer.

704907713



▲ 警告

この Can-Am On-Road は特殊なタイプの車両です。特別なスキルと知識が必要になります。この製品の特殊性について理解してください。

オペレーターズガイドを読み、QR コードリンクからまたは Can-Am On-Road のウェブサイトにて安全講習ビデオをご覧ください。
トレーニングコース（用意されている場合）を受講し、運転の練習を行って習熟したうえで、該当の免許を取得してください。
乗車する前に安全カードを参照してください。



必ずヘルメットとライディングギアを着用してください。このタイプの車両では、ライダーは自動車の運転者より高い道路上のリスクに曝されます。熟練した運転者であっても、他の車両に衝突されたり制御できない状態に陥る場合があります。この車両は、衝突事故において運転者を保護しません。

運転の限界と道路条件

車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定システム (VSS) は制御不能、転倒、あるいは転落を防止することができません。さまざまな路面状態での車両の限界について理解してください。氷上、雪上、オフロードで運転しないでください。水たまりや水が流れている場所での運転は避けてください。このタイプの車両では、水上でハイドロプレーニング現象が生じたり、砂利、泥、砂で覆われた路面上でスリップすることがあります。このような路面を走行しなければならない場合、速度を落としてください。

このハンガタグは、車両の所有者によってのみ取り外すことができます。

704907713

安全カード

安全カードは多機能ゲージの上部にあります。乗る前にそれを引き出して内容を確認し、読み終わったしっかりと元に戻してください。

重要情報を確認するために、そして新しいドライバーや同乗者に車両の乗り方を教える時に安全カードをご参照ください。これには頻繁に参照される情報も記載されています。

注：このオペレーターズガイドに使用されている以下の図は参考までです。使用されているモデルは異なる場合があります。

警告


この **Can-Am On-Road** は特殊なタイプの車両です。特別なスキルと知識が必要になります。この製品の特殊性について理解してください。オペレーターズガイドを読み、QRコードリンクからまたは **Can-Am On-Road** のウェブサイトにて安全講習ビデオをご覧ください。トレーニングコース（用意されている場合）を受講し、運転の練習を行って習熟したうえで、該当の免許を取得してください。

車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定システム (VSS) は制御不能、転倒、あるいは転落を防止することはできません。氷上、雪上、オフロードで運転しないで下さい。水たまりや水が流れている場所での運転は避けてください。このタイプの車両では、水上でハイドロプレーニング現象が生じたり、砂利、汚れおよび砂などに置かれた路面ではスリッパする可能性があります。このような路面を走行しなければならない場合、速度を落とすしてください。ヘルメットとライティングギアを着用してください。このタイプの車両では、ライダーは自動車の運転者より高い道路上のリスクに曝されます。熟練した運転者であっても、他の車両に衝突されたり制御できない状態に陥る場合があります。この車両は、衝突事故において運転者を保護しません。

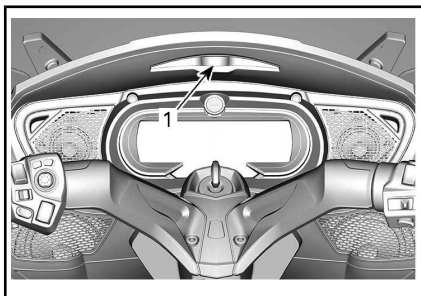
同乗者にお伝えください。

- 必ずクリップを持ち、足をベグの上の置いてください。
- 道路を注意して見てください。カーブの方向に体を傾け、道路の隆起部ではしっかりとまわってください。常に以下のことを心がけてください。
- フットペダルを使ってブレーキをかけてください。
- 曲がる方向にハンドルを切ってください（逆ハンドルを切らないでください）。
- すべての車輪を車線内に維持して、必ず1つの車線内を走行してください。
- 車列の間をすり抜けて走行しないでください。
- 走行前点検を行ってください。

スターターを有効にするにはモードボタンを押しってください。
特許情報： www.brp.com/en/about-brp/patents.html




安全カード



1. 安全カードタブの場所



代表例 - 安全カードが引っ張られている状態


警告ラベル（欧州向け以外の全モデル）

これらのラベルは、運転者、同乗者（2UP）または周囲の人々の安全のために車両に貼付されています。


以下のラベルは車両に付いているため、車両の一部として扱ってください。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに無料で交換できます。認定Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

注：このガイドおよび製品に何らかの矛盾がある場合、製品の警告ラベルがこのガイドのラベルよりも優先されます。

ラベル1



**TIRE AND LOADING INFORMATION /
タイヤと積載量の情報**




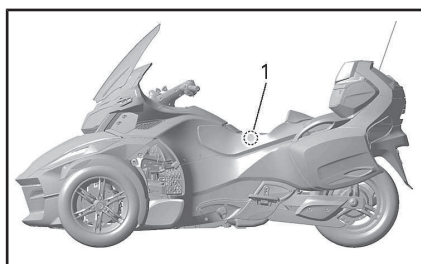
SEATING CAPACITY / 乗車定員	TOTAL 合計	2	FRONT フロント	1	REAR リア	1
----------------------------	-------------	---	---------------	---	------------	---

RT 7627_JA

The combined weight of occupants and cargo should never exceed 224 kg or 494 lb
乗員と荷物を足し合わせた重量が次の重量を超えないようにしてください。224 kg または 494 lb

TIRE / タイヤ	SIZE / サイズ	COLD TIRE PRESSURE / 冷間時のタイヤ空気圧	RIM SIZE / リムサイズ
FRONT/フロント	MC165/55R15 55H	152 kPa / 22 psi	15 x 5 in
REAR/リア	MC225/50R15 76H	207 kPa / 30 psi	15 x 7 in
SPARE / スペア	NONE / なし	NONE / なし	NONE / なし





1. ラベル1の位置

ラベル2

通知

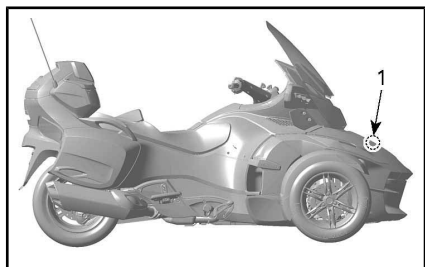
-マット仕上げ塗料は、その外観を維持するために特別な注意が必要です。オペレーターズガイドをご参照下さい。

-PVDクロームホイールは水と中性洗剤で洗ってください。磨いたり、酸性または研磨剤を含むクロームクリーナーを使用しないでください。

-フロントガラスの損傷を防ぐためアルカリまたは酸洗浄剤、ガソリンまたは溶剤でフロントガラスを清掃しないでください。オペレーターズガイドをご参照下さい。

704904936A

フロントストレージカバーの下にあります



1. ラベル2の位置

ラベル3

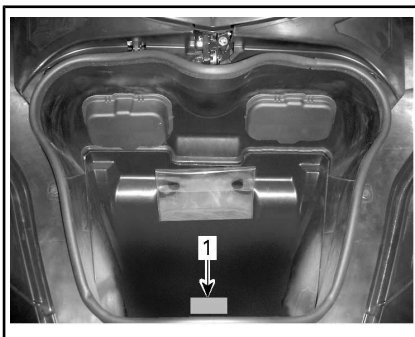
警告

積載重量制限を超えないでください

16 kg

積載重量制限

5121A



代表例

1. ラベル3はフロントストレージコンパートメント内にあります

ラベル4

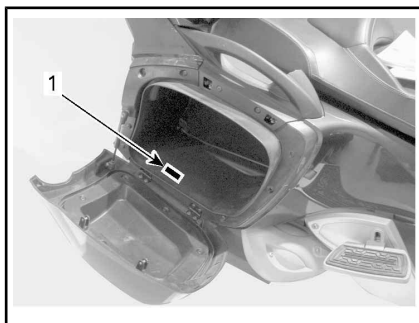
警告

積載重量制限を超えないでください

6.8 kg

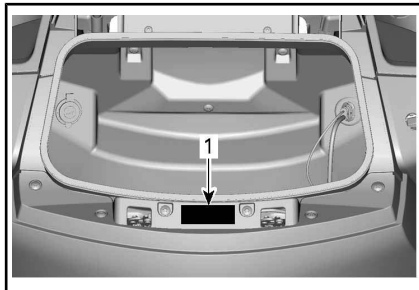
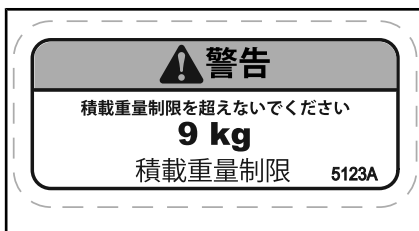
積載重量制限

5122A



1. ラベル4はサイドストレージコンパートメント内にあります

ラベル5



1. ラベル5は上部ストレージコンパートメント内にあります

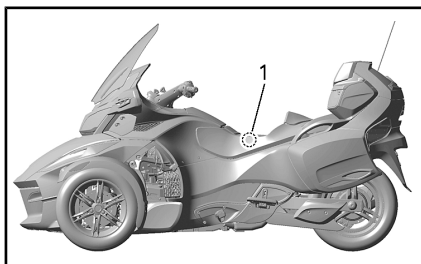
ラベル6

▲ 注意

エンジンルーム内のエンジンオイル、および一部の部品が高温になっている場合があります。
直接触れると皮膚に火傷を負う可能性があります。

エンジンオイルレベルのチェック：

- エンジンが動作温度であることを確認します。
- 手順については、オペレーターズガイドを参照してください。
- 15 km 以上走行します。
- その後、Can-Am Spyder を水平面上に駐車してください。
- 10分間はアイドリングさせます。
- エンジンを止めます。
- エンジン停止後 2 分以内に測定してください。
- オイルレベルを確認する前に、オイルゲージを完全にねじ込んでください。
- XPS 合成ブレンドオイルのサマーグレードまたは同等のオートバイ用オイルを使用してください。

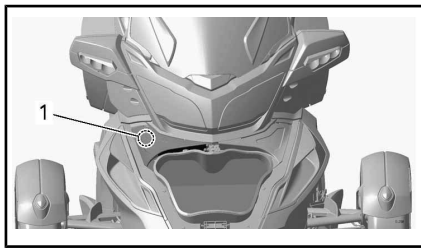


1. ラベル6は席の下にあります

ラベル7



クーラントリザーバキャップ

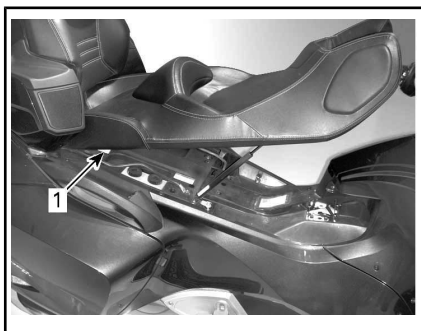


1. ラベル7はサービスカバーの下にあります

ラベル8

▲ 警告

除去する前に、燃料タンクキャップをきれいにしてください。
密閉容器に入っている DOT4 のブレーキ液のみを使用してください。

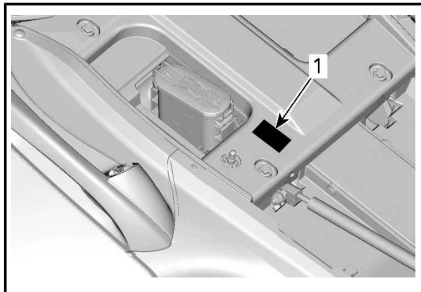


代表例

1. ラベル8は席の下にあります

ラベル9

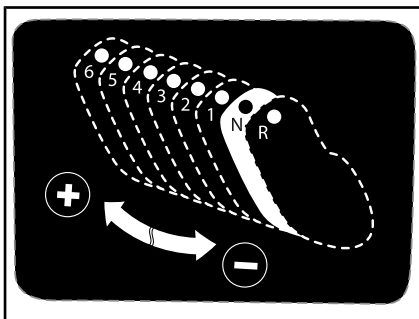
		<div style="text-align: center;"> 警告 最低圧力 70 kPa / 0.7 bar 推奨圧力を 70 kPa / 0.70 bar 以上超えないようにしてください。 (同乗者 + 貨物) Kg </div>				
積載量		0	45	70	90	115
座席数	Kg	kPa/bar	kPa/bar	kPa/bar	kPa/bar	kPa/bar
	70	310/3.10	380/3.80	450/4.50	480/4.80	515/5.15
	90	345/3.45	415/4.15	480/4.80	515/5.15	550/5.50
	115	380/3.80	450/4.50	515/5.15	550/5.50	585/5.85



代表例

1. ラベル9は席の下にあります

ラベル10



日本向けモデルのみ - ディーラーが取り付け


安全ラベル（欧州モデル）

これらのラベルは、オペレーター、同乗者（2つまで）または周囲の人々の安全性のために船体に貼付されています。


以下のラベルは車両に付いているため、車両の一部として扱ってください。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに無料で交換できます。認定Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

注：このガイドおよび製品に何らかの矛盾がある場合、製品の警告ラベルがこのガイドのラベルよりも優先されます。

ラベル1



TIRE AND LOADING INFORMATION /
タイヤと積載量の情報




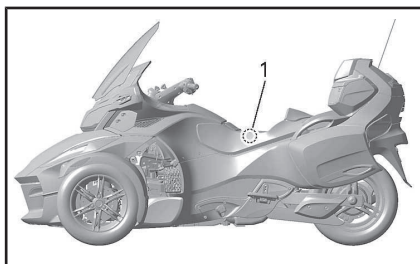
SEATING CAPACITY / 乗車定員	TOTAL 合計	2	FRONT フロント	1	REAR リア	1
----------------------------	-------------	---	---------------	---	------------	---

RT 7627_JA

The combined weight of occupants and cargo should never exceed 224 kg or 494 lb
乗員と荷物を足し合わせた重量が次の重量を超えないようにしてください。224 kg または 494 lb

TIRE / タイヤ	SIZE / サイズ	COLD TIRE PRESSURE / 冷間時のタイヤ空気圧	RIM SIZE / リムサイズ
FRONT/フロント	MC165/55R15 55H	152 kPa / 22 psi	15 x 5 in
REAR/リア	MC225/50R15 76H	207 kPa / 30 psi	15 x 7 in
SPARE / スペア	NONE / なし	NONE / なし	NONE / なし





1. ラベル1の位置

ラベル2

通知

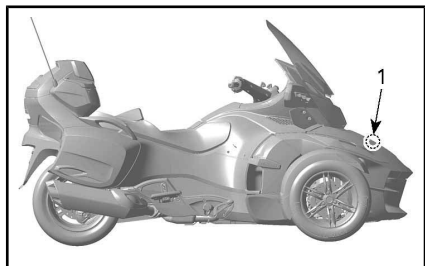
-マット仕上げ塗料は、その外観を維持するために特別な注意が必要です。オペレーターズガイドをご参照下さい。

-PVDクロームホイールは水と中性洗剤で洗ってください。磨いたり、酸性または研磨剤を含むクロームクリーナーを使用しないでください。

-フロントガラスの損傷を防ぐためアルカリまたは酸洗浄剤、ガソリンまたは溶剤でフロントガラスを清掃しないでください。オペレーターズガイドをご参照下さい。

704904936A

フロントストレージカバーの下にあります



1. ラベル2の位置

ラベル3

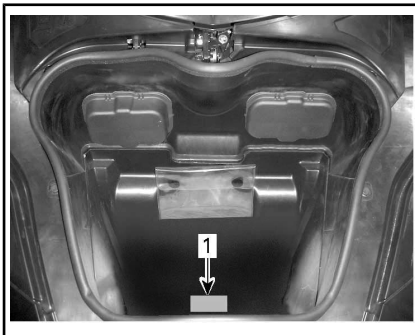
警告

積載重量制限を超えないでください

16 kg

積載重量制限

5121A



代表例

1. ラベル3はフロントストレージコンパートメント内にあります

ラベル4

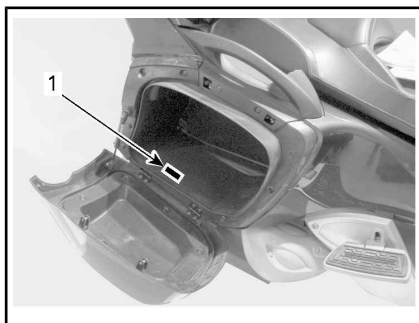
警告

積載重量制限を超えないでください

6.8 kg

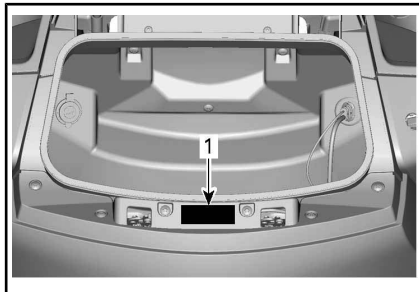
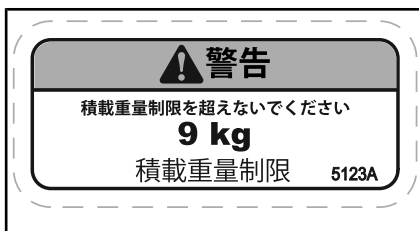
積載重量制限

5122A



1. ラベル4はサイドストレージコンパートメント内にあります

ラベル5



1. ラベル5は上部ストレージコンパートメント内にあります

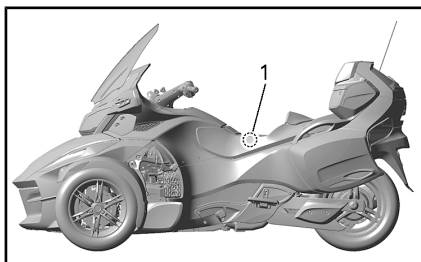
ラベル6

▲ 注意

エンジンルーム内のエンジンオイル、および一部の部品が高温になっている場合があります。
直接触れると皮膚に火傷を負う可能性があります。

エンジンオイルレベルのチェック：

- エンジンが動作温度であることを確認します。
- 手順については、オペレーターズガイドを参照してください。
- 15 km 以上走行します。
- その後、Can-Am Spyder を水平面上に駐車してください。
- 10分間はアイドリングさせます。
- エンジンを止めます。
- エンジン停止後 2 分以内に測定してください。
- オイルレベルを確認する前に、オイルゲージを完全にねじ込んでください。
- XPS 合成ブレンドオイルのサマーグレードまたは同等のオートバイ用オイルを使用してください。

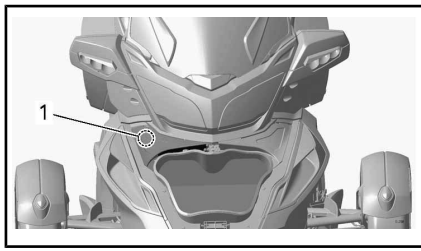


1. ラベル6は席の下にあります

ラベル7



クーラントリザーバキャップ



1. ラベル7はサービスカバーの下にあります

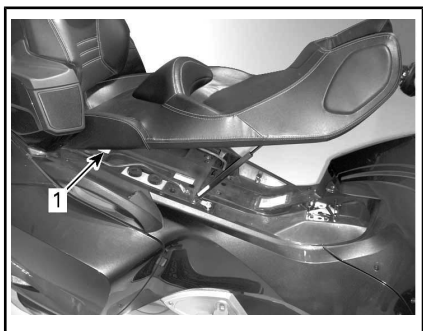
ラベル8

▲ 警告

除去する前に、燃料タンクキャップをきれいにしてください。
密閉容器に入っている DOT4 のブレーキ液のみを使用してください。

704904924

704903119

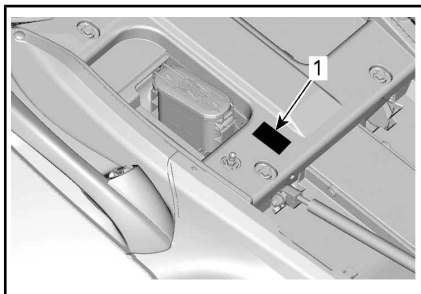


代表例

1. ラベル8は席の下にあります

ラベル9

		<div style="text-align: center;"> 警告 最低圧力 70 kPa / 0.7 bar 推奨圧力を 70 kPa / 0.70 bar 以上超えないようにしてください。 (同乗者 + 貨物) Kg </div>				
積載量		0	45	70	90	115
座席数	Kg	kPa/bar	kPa/bar	kPa/bar	kPa/bar	kPa/bar
	70	310/3.10	380/3.80	450/4.50	480/4.80	515/5.15
	90	345/3.45	415/4.15	480/4.80	515/5.15	550/5.50
	115	380/3.80	450/4.50	515/5.15	550/5.50	585/5.85



代表例

1. ラベル9は席の下にあります

安全面での欠陥の報告

あなたの安全はBombardier Recreational Products Inc. (BRP)にとって非常に重要です。質問がありましたら、即時にBRPの顧客サービスまでお問い合わせください。

米国では、衝突、傷害または死亡を招きかねない車両の欠陥を発見した場合は、直ちに高速道路交通安全事業団 (NHTSA、「National Highway Traffic Safety Administration」) および Bombardier Recreational Products Inc. にご連絡ください。

NHTSAは他のドライバーから似たような苦情を受け取った場合、調査を開始する場合があります。特定の車両に安全面における欠陥を見つけた場合は、製品回収と救済キャンペーンを実施する場合があります。ただ、NHTSAはあなたと、あなたのディーラーまたは Bombardier Recreational Products Inc. の間に生じた個人的な問題に関わることはできません。

NHTSAの連絡先	
	888-327-4236
	1 800-424-9153
	米国運輸省道路交通安全局 1200 New Jersey Avenue, SE Washington, DC 20590
	www.safercar.gov

**このページは
意図的に空白になっています**

走行前の点検


走行前のチェックリスト

車両の「12ヶ月安全点検」を受けていただくことをお勧めします。詳細については最寄りのBRP On-Roadディーラーまでご連絡ください。可能な限り、BRP On-Road正規ディーラーでシーズン前点検を受けていただくようお願いいたします。ディーラー定期的に保守を受けていただければ、安全に関するサービスキャンペーンなどをいち早くお伝えすることができます。安全に関するサービスキャンペーンのお知らせが届いた場合は、できるだけ早くBRP On-Road正規ディーラーにお問い合わせいただくようお願いいたします。

⚠ 警告

毎回乗車前に、操作中に発生する可能性がある問題を検出するために日常点検を実施します。日常点検により、問題になる前に摩耗や劣化を監視できます。発見した問題に対処して、故障や事故のリスクを低減します。必要に応じて認定Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

車両始動前の点検内容

品目	手順	
タイヤ	損傷がないか点検。タイヤの空気圧およびトレッドの消耗を点検。メンテナンスの手順を参照してください。	
車輪およびラグナット	損傷がないか点検。手で各前輪のラグナットをひねって緩くないか確認します。後輪車軸ナットが適切な場所にあるか確認します。	
ドライブベルト	ほつれ、切り傷、刺し傷および歯が失われていない確認。アラインメントを確認。詳細については、メンテナンスの手順を参照してください。	
漏れ	車両の下に漏れがないか確認。	
ストレージコンパートメントカバーおよびグローブボックス	これらのコンポーネントのすべての掛け金を引っ張り、しっかりかかっているか確認します。	
ACSリアサスペンション (手動調整あり)	タイヤ圧を確認する。基本手順を参照してください。	
シート	シートのラッチが正しくかかっていることを確認します。	
ミラー	清掃および調整：（機器のサブセクションのミラーを参照してください。）	

品目	手順	<input checked="" type="checkbox"/>
ブレーキペダル	押してしっかり抵抗力があるか確認します。リリースするとペダルが完全に戻らなければなりません。	
スロットルハンドル	数回ひねります。自由に動き、リリース後にアイドルリングポジションに戻ることを確認。	
ギヤシフトセレクター	ギヤシフトセレクターが両方向に対して正常に操作でき、リリース後に中央に戻るか確認します。	
同乗者用フットレストの高さの調整	同乗者がフットレストの高さに満足していることを確認します。必要に応じて調整してください。	
重量	車両総重量（ドライバー、同乗者、荷物および付属のアクセサリーを含む）が技術仕様のセクションに示されている推奨荷重を超えていないことを確認します。	
トレーラー	トレーラーを牽引する場合は、荷物が適切に積まれて固定され、カバーの掛け金がかかっていて、トレーラーおよび安全ケーブルが車両のヒッチに適切にかかっていて、トレーラーのすべてのライトが作動し、リフレクターが掃除されていることを確認します。トレーラーのタイヤの状態および空気圧を確認します。	
ラジエーターファングリル	グリルに蓄積された破片を取り除きます。高圧洗浄器はラジエーターフィンを損傷してしまいかねないため、使用しないでください。圧縮空気のみで掃除します。	

イグニッションキーをONにする

品目	手順	<input checked="" type="checkbox"/>
多機能ゲージ	ゲージ、インジケーター、メッセージおよび燃料レベルを確認します。	
ライト	ヘッドライト、テールライト、ブレーキライト、ウインカーおよびハザード警告ライトの操作を確認します。	
クラクション	作動を点検	
ステアリング	エンジンをスタートし、ステアリングが自由に動くか確認します。	
エンジンストップスイッチ	エンジンストップスイッチが正常であるか確認します。	
パーキングブレーキ	エンジンをスタートし、パーキングブレーキをリリースし、多機能ゲージでブレーキインジケーターランプがオフになっていることを確認します。	
ブレーキ	ゆっくり近距離を運転し、ブレーキをかけてテストします。	
安全カード	必ず安全カードを元の位置に固定してください。	

メンテナンス

メンテナンスのスケジュール

メンテナンスは、車両を安全な運転状態に保つために非常に重要です。

適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

定期的な点検を実施し、メンテナンスのスケジュールを守ってください。**スケジュールどおりにメンテナンスを行っていても、始業点検は必要です。**

最初のメンテナンスの手順として故障コードを確認することは良い習慣であり、強く推奨します。



メンテナンスのスケジュールや手順に従って適切に車両を維持しないと、安全な作動を損ねます。

EPA規制 - カナダおよび米国向け車両

修理工場、または所有者任意の個人が、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理を実施できます。これらの手順には、BRPまたは認定Can-Am On-Roadディーラーによるサービスやコンポーネントは必要ありません。

認定Can-Am On-Roadディーラーは、車両のサービスに関する高度な知識とツールを有していますが、排出ガス関連保証は、認定Can-Am On-RoadディーラーまたはBRPと取引のある工場の使用を条件としていません。

適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

排出ガス関連保証の請求では、BRPは排出ガス関連部品の診断と修理を認定Can-Am On-Roadディーラーに制限しています。詳細は、保証のセクションに記載された米国EPA排出ガス性能保証を参照してください。

本書の給油セクションに記載されている燃料に関する要件の指示に従ってください。エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンが広く販売されている場合でも、米国 EPA はエタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンの使用を禁止しています。これは、この車両にも適用されています。このエンジンに、エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンを使用すると、排出ガス制御システムを損傷する恐れがあります。

最初の点検 - 5,000 km
走行前の点検に記載されているすべての項目を実施してください。
エンジンオイルおよびオイルフィルターを交換します。
ブレーキオイルレベルを点検します。
リバース機構の作動を確認します。
エンジンクーラントレベルを点検します。
コントロールのスイッチおよび同乗者用のスイッチの動作を確認します。
ドライブベルトの状態および張力を点検します。（認定Can-Am On-Roadディーラーが行います）
後輪車軸ナットの締め付けトルクを点検します。（認定Can-Am On-Roadディーラーが行います）
ブレーキパッドおよびディスクの状態を目視により点検します。
同乗者用グリップの緩みを点検します。
フットレストの緩みを確認します。
車体パネルの緩みを点検します。
収納エリアのラッチ、ヒンジおよびキーバレルの機能を点検します。
1,500 km ごと
オイルレベルを点検します。
15,000 km ごとまたは1年ごと（のいずれか早い方）
走行前の点検に記載されているすべての項目を実施してください。
エンジンオイルおよびオイルフィルターを交換します。
ブレーキオイルレベルを点検します。2年毎に交換します。
ブレーキホースを確認します。
リバース機構の作動を確認します。
ラジエータ、ホースおよびウォーターポンプを点検します。
エンジンクーラントレベルを点検します。
冷却システムの圧力テストを行います。
コントロールのスイッチおよび同乗者用のスイッチの動作を確認します。
燃料ホース、燃料気化線およびキャニスターの状態を確認します。

15,000 km ごとまたは1年ごと（のいずれか早い方）
バッテリー接続の締め具合を点検します。
ドライブベルトの状態および張力を点検します。（認定Can-Am On-Roadディーラーが行います）
エキゾーストパイプ、締め付けリング、つなぎ目およびガスケットの状態を確認し、締め付けます。
異常がないか、ステアリングを点検します。
タイロッドの状態を点検。
漏れやその他の損傷がないか緩衝器を点検します。
後輪車軸ナットの締め付けトルクを点検します。（認定Can-Am On-Roadディーラーが行います）
ボールジョイント状態を点検します。
前輪および後輪のベアリング状態を点検します。
ブレーキパッドおよびディスクの状態を点検します。
同乗者用グリップの緩みを点検します。
フットレストの緩みを確認します。
車体パネルの緩みを点検します。
収納エリアのラッチ、ヒンジおよびキーバレルの機能を点検します。

30,000 km ごと
エアフィルターおよびエアフィルターハウジングを取り換えます。

45,000 km ごと
油圧制御モジュール（HCM）のオイルフィルターを取り替えます。
キャニスターのプレフィルターを交換します。
燃料フィルターを交換します（または5年ごと）
エンジンクーラントを交換します（または5年ごとに）。
スパークプラグを交換します。
フロントサスペンションアームのラバーブッシュを点検します。

初期点検

最初の 5,000 km 走行後に、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店または担当整備士による車両の点検を受けるよう推奨します。このメンテナンスは非常に重要であり、怠ってはなりません。

注：この初期点検は車両のオーナーの費用負担で行われるものです。

初期点検を行った認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、または担当整備士に署名してもらうことを推奨します。

点検日

認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、または担当整備士の署名

認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、または担当整備士の名前

メンテナンスの手順

このセクションでは、基本的なメンテナンスの手順を説明します。

メンテナンス手順には複雑なものもあるため、優れた機械技術が必要になります。

いくつかの手順は、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店または担当整備士が実施しなければなりません。

機械技術に自信がない場合は、認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店または担当整備士に遠慮なくご相談ください。

警告

メンテナンスを行う場合は、まずエンジンを止めて、以下のメンテナンス手順に従ってください。適切なメンテナンス手順を守らないと、高温の部品、稼働部分、電気的、化学的あるいはその他の危険により負傷する恐れがあります。

エンジンオイル

推奨エンジンオイル

同等のオイルがSE6モデルのエンジン、ギヤボックス、クラッチおよび油圧制御モジュール (HCM) に使用されています。

Rotax®エンジンは、XPS™ オイルを使用して開発と検証が行われました。

BRPでは、XPSエンジンオイルまたは同等の使用を常に推奨しています。

注記 推奨エンジンオイルには何も添加しないでください。

エンジンに適していないオイルの使用や添加剤を加えたことを原因とする損傷については、BRPの限定保証の対象にならない場合があります。

北欧諸国

XPS™ 推奨エンジンオイル

4T 5W40合成ブレンドオイル (EUR)
(P/N 779290)

推奨されるXPSエンジンオイルが入手できない場合

次の潤滑油業界仕様を満足するかそれを超える5W40 4ストローク用SAE合成エンジンオイルを使用します：

APIサービス分類SJ、SL、SM、またはSN

オイルの容器に貼付されているAPIサービスラベルの分類を必ず確認し、上記のいずれかの分類が含まれていることを確認します。

その他のすべての国

XPS™ 推奨エンジンオイル

4T 5W40合成ブレンドオイル (P/N
779133)

推奨されるXPSエンジンオイルが入手できない場合

次の潤滑油業界仕様を満足するかそれを超える5W40 4ストローク用SAE合成エンジンオイルを使用します：

APIサービス分類SJ、SL、SM、またはSN

オイルの容器に貼付されているAPIサービスラベルの分類を必ず確認し、上記のいずれかの分類が含まれていることを確認します。

エンジンオイルレベルの確認

注記 オイルレベルが不適切なまま使用を続けると、エンジンに重大な損傷を与える可能性があります。この手順に従って、エンジンオイルレベルを正確に読み取ってください。

エンジンオイルのレベルを検証するには、エンジンは通常の運転温度でなければなりません。

注記 冷たいエンジンでオイルのレベルを調整すると過剰に補給してしまいます。

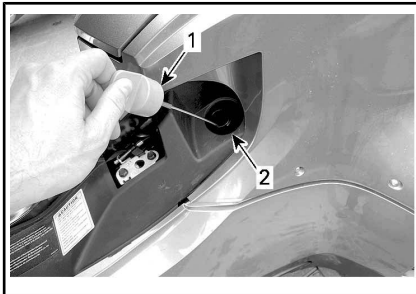
1. 15 km 以上走行します。
2. 車両を平面に駐車して、パーキングブレーキをかけます。
3. エンジンを10分間（少なくとも20秒）アイドリングさせます。

警告

排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充満する有毒な一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込むと、重大な怪我や死亡事故の原因になることがあります。密封されていない、換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。

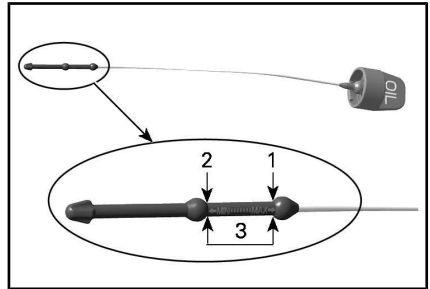
注記 冷たいエンジンでオイルのレベルを調整すると過剰に補給してしまいます。

4. エンジンを止めます。
- 注：エンジンオイルのレベルの検証は、エンジンを停止してから2分以内に行ってください。
5. シートを開きます。機器のセクションのシートの開け方を参照してください。
 6. オイルレベルゲージを取り外して引き抜きます。



1. オイルレベルゲージ
2. オイル注入パイプ
7. レベルゲージを拭き取ります。
8. オイルレベルゲージを再度挿入し、完全にねじ込みます。
9. オイルレベルゲージを再度緩めて取り外します。

10. オイルレベルゲージでエンジンオイルレベルを確認します。オイルレベルが、上側のマークまたはその付近まで達していなければなりません。



1. 最大
2. MIN
3. 動作範囲、0.5 L

下部マーク (MIN) と上部マーク (MAX) の間のオイルレベル：

1. オイルを追加しない。
2. オイルレベルゲージを適切に挿入して締め付けます。
3. シートを閉じます。

MIN マークより下のオイルレベルの調整：

1. 推奨オイル約 500 ml を補充します。

注：MINマークとMAXマークの間のオイルの量は、500 ml です。

2. エンジンを再始動し、10分ほどアイドルさせます。

警告

排気ガスには、密閉された場所または換気の悪いエリアで迅速に充満する有毒な一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込むと、重大な怪我や死亡事故の原因になることがあります。密封されていない、換気の良い場所でのみエンジンを始動してください。

注記 冷たいエンジンでオイルのレベルを調整すると過剰に補給してしまいます。

3. エンジンを停止します。

注：エンジンオイルのレベルの検証は、エンジンを停止してから2分以内に行ってください。

4. オイルのレベルを再点検します。
5. 上記ステップを繰り返して、オイルレベルがディップスティックの下部マークと上部マークの間に来るようにします。**入れ過ぎないでください。**
6. オイルレベルゲージを適切に挿入して締め付けます。
7. シートを閉じます。

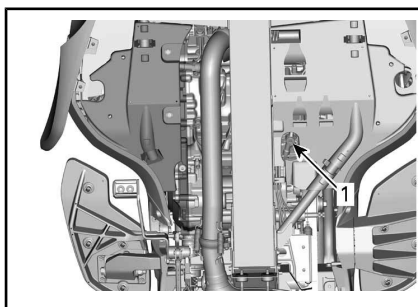
エンジンオイルとフィルターの変換

1. エンジン交換の前に、車両が平面上にあることを確認します。

注記 エンジンオイルおよびエンジンオイルフィルターは同時に取り換えなければなりません。オイル交換はエンジンが温まっている状態で行う必要があります。

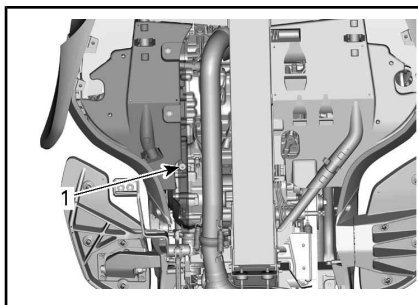
注意 エンジンオイルはとても熱くなります。

2. 次の右側ボディパネルを取り外し、ボディをご参照ください。
 - 中央サイドパネル
 - 上部サイドパネル
 - 音響パネル。
3. オイルサンプカバー下のドレンプラグの周辺を清掃します。
4. オイルサンプカバー下に適切なドレインパンを配置します。
5. ドレンプラグを取り外し、シーリングワッシャーとO-リングを処分します。



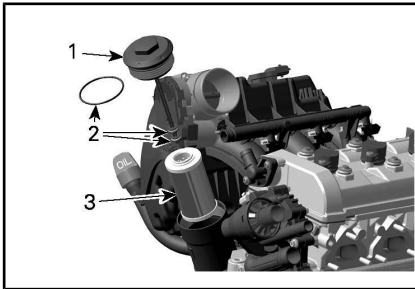
代表例

1. エンジンオイルドレンプラグ
6. レベルゲージを取り外してください。
7. オイルが完全に排出されるまで待ちます。
8. クラッチカバーの磁気ドレンプラグの周辺を清掃します。
9. クラッチカバー下に適切なドレインパンを配置します。
10. 磁気オイルドレンプラグを取り外し、シーリングリングを処分します。



代表例

1. クラッチカバー磁気ドレンプラグ
11. オイルフィルターカバーを取り外し、そのO-リングを廃棄します。
12. オイルフィルターを取り外し、廃棄します。



1. オイルフィルターカバー
2. Oリング
3. オイルフィルター
13. クラッチカバーからオイルが完全にドレーンされるまで待ちます。
14. オイルフィルターキャビティに汚れや汚染物がないか点検し、清掃します。
15. ドレーンプラグのマグネットを清掃します。
16. **新しい**シーリングワッシャおよびOリングを使い、両方のドレーンプラグを取り付けます。

注記 ドレーンプラグのシーリングワッシャおよびOリングは絶対に再使用しないでください。必ず新しいものと交換します。

17. 仕様通りにドレーンプラグを締め付ける。

締め付けトルク	
ドレーンプラグ (オイルサンプカバー)	28 N·m ± 2 N·m

締め付けトルク	
磁石付きドレーンプラグ (クラッチカバー)	20 N·m ± 1 N·m

18. **新しい**エンジンオイルフィルターを挿入します。
19. **新品の** Oリングをオイルフィルターカバーに取り付けます。
20. オイルフィルターカバーを取り付け、規定通りに締め付けます。

締め付けトルク	
オイルフィルター カバー	25 N·m ± 3 N·m

21. 以下の量の推奨されるオイルをオイルタンクに入れます。

オイル量		
モデル	作業内容	量
SE6	エンジンオイルとエンジンオイルフィルターの交換	5.2 L
	エンジンオイル、エンジンオイルフィルター、HCMサーフェスフィルター交換	5.4 L

22. オイルレベルゲージを再度挿入し、完全にねじ込みます。
23. エンジンオイルのレベルを点検します。このセクションのエンジンオイルレベルの確認を参照してください。

注記 エンジン始動から5秒以内に油圧警告灯が消えることを確認。油圧警告灯が5秒以上にわたって点灯する場合、エンジンを停止してオイルレベルを再点検します。

24. エンジンオイルフィルターカバー、磁石付きドレーンプラグ (クラッチカバー) およびドレーンプラグ (オイルサンプカバー) が漏れていないか確認します。
25. エンジンを止めます。

注：オイルレベルゲージは、オイル温度が 80 ° C ~ 95 ° C のときに正確なレベルを示します。

注：オイルレベルがオイルレベルゲージのMINマークとMAXマークの間にある場合、オイル量は0.5 Lです。

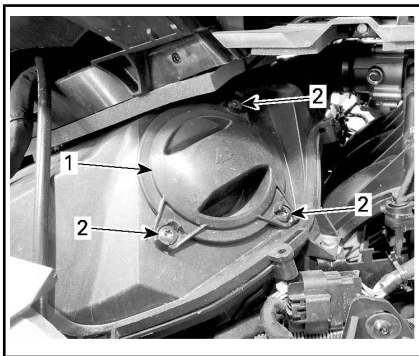
- 直ちにオイルレベルを確認し、必要であれば調整します。このセクションのエンジンオイルレベルの確認を参照してください。
- 取り外したすべてのボディパネルを再度取り付けます。
- 現地の環境規制に基づいて使用済みオイルを処分してください。

エアフィルター

エアフィルターの取り外し

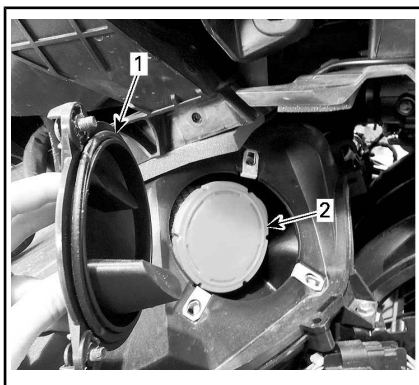
- エアフィルターにアクセスするには次のボディパネルを取り外します。機器のサブセクションのボディパネルを参照してください。
 - 左サイドパネル。
 - 左上部サイドパネル

エアフィルターのカバーから3つのネジを外します。



- カバー
- スクリュー

エアフィルターカバーおよびフィルターを取り外します。



- カバー
- フィルター

エアフィルターの点検

エアフィルターの清潔さおよび損傷を確認します。

注記 ペーパーフィルターに圧縮エアを吹きつけることは推奨されていません。これは紙繊維を傷つけ、ほこりの多い環境ではろ過能力が低下してしまいます。

注記 ペーパーフィルターを洗浄液で洗浄しないでください。

注記 エアインテークサイレンサーを点検し、エンジンエアインレット（エアフィルターの奥）のきれいな側に吹き込まれたり落ちたりしないように気をつけながら、埃や異物を取り除きます。

注記 エアインテークサイレンサーのきれいな側の内側に落ちた、または移動した埃や異物を取り除いてください。埃を中に押し入れるのではなく引き出すように、清掃します。

メンテナンススケジュールと個々の使用状況（特に埃っぽい環境など）により、必要な場合はエアフィルターを交換します。

エアフィルターの取り付け

エアフィルターをかかると位置に慎重に取り付けます。

注：エアフィルターは正しい位置に取り付けなければなりません。エアフィルターを挿入する前に、インテークホースのシート/容器が変形していないことを確認してください。

エアフィルターカバーを適切な位置に配置し、すべてのネジで固定します。

締め付けトルク	
エアフィルターカバーのネジ	3 N·m ± 0.5 N·m

取り外した順序の逆で部品を再度取り付けます。

エンジンクーラント

推奨エンジンクーラント

注記 内燃機関であるアルミニウムエンジン専用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を必ず使用してください。

不凍液の劣化を防ぐため、いつも同じブランドおよびグレードの不凍液を使ってください。クーリングシステムを完全に洗浄して入れ替える場合を除いて、ブランドまたはグレードの異なる不凍液を混ぜないでください。

北欧諸国

XPS™ の推奨クーラント	
ロングライフプレミッククーラント (EUR) (P/N 779223)	
推奨のXPS用クーラントが入手できない場合	
内燃アルミニウムエンジン専用の低ケイ酸塩タイプのロングライフエチレングリコールプリミッククーラント (50%-50%) を使用してください。	

その他のすべての国

XPS™ の推奨クーラント	
ロングライフプレミッククーラント (P/N 779150)	
推奨のXPS用クーラントが入手できない場合	
内燃アルミニウムエンジン専用の低ケイ酸塩タイプのロングライフエチレングリコールプリミッククーラント (50%-50%) を使用してください。	

エンジン冷却液レベルの検証

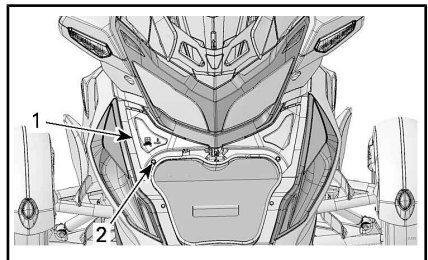


警告

リザーバーを開ける時は、クーラントが非常に熱く、エンジンが熱いと噴出すことがあります。火傷を防ぐには、エンジンの温度が低い時にクーラントのレベルを確認します。

エンジンが冷たい状態で、次のようにクーラントのレベルを確認します。

1. 車両をしっかりと平面上に停車します。
2. フロント収納スペースカバーを開きます。
3. 右サービスカバーからプラスチックリベットを取り外します。



1. 右サービスカバー
2. プラスチックリベット
4. フロントのダッシュボードから上部タブを解除するために、凹部を利用してサービスカバーを下に押し下げます。



5. 後部タブを引き抜きます。
6. サービスカバーを持ち上げて取り外します。

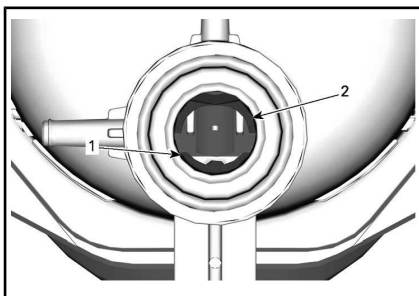
注記 フロントストレージスイッチを損傷しないよう注意してください。

7. 右側のクーラントレベルを確認します。クーラントはCOLDレベルのマーキングより多少上にある必要があります。

注：エンジンが熱い場合は、クーラントはHOTレベルのマーキングより下にある必要があります。



1. クーラントリザーバキャップ
8. 必要であれば、リザーバー内のCOLDレベルのマーキングより少し上になるまでクーラントを継ぎ足します。こぼさないように、じょうごを使ってください。**入れ過ぎないでください。**
9. クーラントがチューブに現れ始めたら、クーラントの継ぎ足しを止めます。



1. COLDクーラントレベルの基準線
2. HOTクーラントレベルの基準線
10. サービスカバーを再度取り付けます。

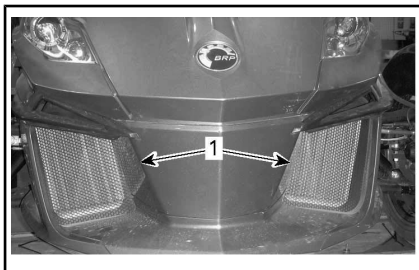
注：頻繁にクーラントの補充が必要な場合は、クーラントシステムが漏れているか、エンジンに問題があることを示しています。認定Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

ラジエーターファン

ラジエーターファンの清掃

グリルに蓄積された破片を取り除きます。

注：高圧洗浄器はラジエーターフィンに損傷してしまいかねないため、使用しないでください。後方からの圧縮空気（後部から前部に向けて空気を吹き付け）のみで清掃してください。



1. ラジエーターファングリル

注：エンジンが起動したまま車両が停車されているか低速で動いている時は、ラジエーターファンは空気を車両の前部に押し流します。車両がより早

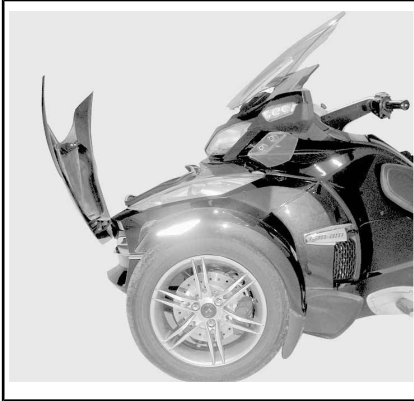
い速度で走行している場合は、ファンは空気を車両の後部に押し流します。

バッテリー

バッテリーの位置

バッテリーはフロントストレージコンパートメント内にあります。

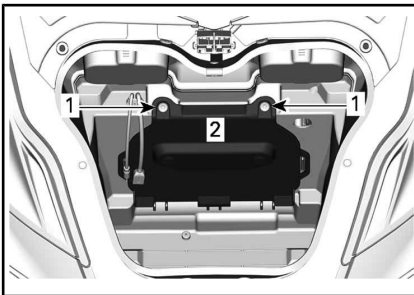
バッテリーにアクセスするには、フロントストレージコンパートメントを開けます。



フロントストレージコンパートメントが開いた状態

アクセスカバーを開けます。

ネジを緩めてバッテリーアクセスパネルを開けます。



1. ねじ
2. バッテリーアクセスパネル

バッテリーの充電

車両には完全に密封されている、メンテナンスフリーのバッテリーが搭載されています。電解液のレベルを調整するために水を足す必要はありません。車両が一ヶ月以上乗られてい

ない場合は、バッテリーを充電する必要があります。可能性がある場合があります。

バッテリーを交換する場合は、必ずCan-Am On-Roadのディーラーにお求めください。

警告

従来の鉛蓄電池型電池は使用しないでください。従来の鉛蓄電池型電池では、バッテリー出口から酸が漏れ出す可能性があります。バッテリーのケースが割れたり損傷していたりすると、重傷の火傷を起こしかねない酸が漏れ出すことがあります。

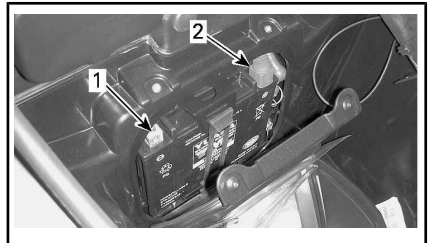
バッテリーは車両に取り付けられたまま充電することもできます。

注記 バッテリーチャージャーに付属された指示に従ってください。不適切な充電はバッテリーを損傷してしまう恐れがあります。

バッテリーを充電するには、以下の手順を踏んでください。

1. フロントストレージコンパートメントを開けます。
2. バッテリーアクセスパネルを取り外します。
3. まず、赤色 (+) ケーブルを該当する端子に接続します。
4. 黒色 (-) ケーブルを該当する端子に接続します。

注記 車両の電気系統の損傷を防ぐために、必ず赤色 (+) ケーブルを最初に接続します。



1. 黒色 (+) 端子
2. 赤色 (+) 端子
5. バッテリーチャージャーを始動させます。充電時間は充電率によります。

バッテリーが充電されたら：

6. 最初に黒色 (-) ケーブルを外します。

7. そして赤色 (+) ケーブルを外します。

注記 車両の電気系統の損傷を防ぐために、必ず黒色 (-) ケーブルを最初に外します。

8. バッテリーのアクセスパネルおよびフロントストレージコンパートメントを閉じます。

標準のバッテリーチャージャーを使用することもできます。推奨される充電率は2Aです。バッテリーが上がってしまった場合は、車のバッテリーでジャンプスターさせることができます（道路わきでの修理セクションをご参照ください）。

自宅での充電においては、「細流」充電器を使ってバッテリーをより遅く充電させることも可能です。この種類のチャージャーはバッテリーを損傷させないで長時間接続させることができます。チャージャーの説明書に推奨されている充電時間に必ず従ってください。

ドライブベルト

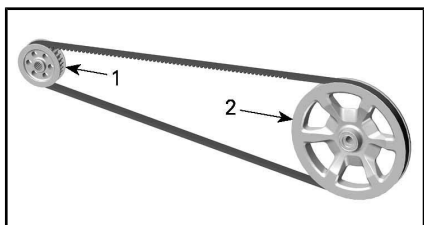
毎回乗る前にベルトのアラインメントおよび状態を目視点検してください。

ベルトのアラインメントおよび偏向調整は、必ずメンテナンススケジュールに従ってCan-Am On-Roadの認定ディーラーに実施してもらってください。

駆動ベルトのアラインメント

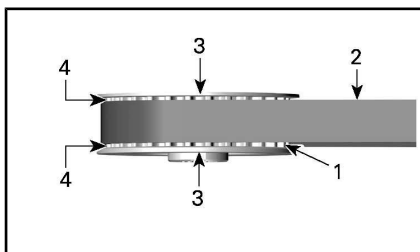
ベルトがスプロケットの外側をはみ出している場合は、できるだけ早くCan-Am On-Roadの認定ディーラーにベルト位置を正しく直してもらってください。

注：ベルトはフロントスプロケットのフランジに接触しないこと。



代表例

1. フロントスプロケット
2. リアスプロケット

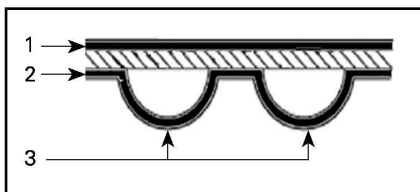


代表例 - フロントスプロケット

1. フロントスプロケットの歯
2. ベルト
3. スプロケットフランジ
4. フランジとベルト間の隙間

駆動ベルトの摩耗



車両をニュートラルにいれ、エンジンOFFの状態、スペースが十分にある平らな表面で駆動ベルトを点検します。一ベルトの全長を確認するには車両を前後に転がす必要があります。









駆動ベルトの表面

1. 外面
2. 歯側表面
3. 歯

次の状態がないか点検します。

摩耗状態	必要な対策
良好 	なし
細長い亀裂 	状態を監視する

摩耗状態	必要な対策
軽い切れ端 	状態を監視する
開かれた亀裂 	ベルトを交換する
フックの摩耗 	ベルトを交換する
歯が欠けている 	ベルトを交換する
ベルトの織物が擦り切れていて、内部のコンポーネントを露出している 	ベルトを交換する
石による損傷 	ベルトを交換する

注：細長い割れ目はベルトの交換を必要としないが、密接に監視する必要があります—開いた割れ目または歯の欠損を招きかねないため、ベルトの交換を必要とします。ベルト中央の損傷はやがてベルトの交換を必要としますが、割れ目がベルトの端まで行き渡ってしまった場合、ベルト不良は差し迫ります。

ドライブベルトを交換する場合、スプロケットも交換し、新しいドライブベルトの寿命を延ばします。

駆動ベルトの張力

走行中、ベルトから振動を感じたり音が聞こえたり、またはベルトのスプロケット歯が飛んでいる場合は、Can-Am On-Roadの認定ディーラーによりできるだけ早くベルトの張力を調整してもらってください。慣らし運転期間中（最初の1,000km）は特に注意を払ってください。

ホイールおよびタイヤ



警告

推奨されていない種類のタイヤ、損傷したり磨り減っているタイヤ、最低トレッドウエアインジケータより幅が低いタイヤ、または適切に膨らまされていないタイヤの使用は、コントロールを失う恐れがあります。

新しいタイヤは慣らし運転が完了するまで最大効率に達しません。ブレーキ、ステアリングおよびVSSの効率が低減される場合があるため、注意を余分に払ってください。タイヤを慣らすには、約 300 km 走行し、頻繁にブレーキを使用してください。ブレーキをそれほど使わない場合、タイヤの慣らし運転時間を多めに見積もってください。

タイヤはこの車両のために特別に設計されています。認定Can-Am On-Roadディーラーのみで販売されているBRPの推奨ラジアルタイヤだけを使用してください。

リアタイヤを取り外したり交換した後は、次の行動を取ります。

- リアスプロケットベアリングを確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。
- 後輪車軸受を確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。
- 後輪車軸のベアリングシールを交換して潤滑します。
- 後輪車軸のOリングを交換して潤滑します。
- 後輪車軸の耐摩耗性スリーブを確認し、掃除します。損傷または破損している場合は、交換します。

後輪を取り外したり交換した後は、次の行動を取ります。

- 後輪のナットを交換します。
- 後輪車軸のベアリングシールを交換して潤滑します。
- 後輪車軸のOリングを交換して潤滑します。
- ゴムダンパの状態を確認します。損傷または破損している場合は、交換します。

タイヤ空気圧

タイヤの最適な性能や摩耗特性を得るために、推奨されている冷間時の膨張圧を用いてください。過小または過剰な膨張は、トレッドの不均一な摩耗パターンを生じさせます。

推奨タイヤ圧は、右側サービスカバーの内側にあるタイヤラベルにあります。

天候による温度変化が生じると、膨張圧も変化します。6°Cの気温低下は、7 kPaの膨張圧低下に相当します。タイヤ圧は頻繁に確認し、適切な圧力になるよう調整してください。

注：左右のタイヤの圧力差が3.4 kPaを超えないようにしてください。

タイヤの損傷

次の損傷がないかすべてのタイヤを点検します。

- タイヤの切り傷、切り込みおよび亀裂。
- タイヤの側面またはトレッドのこぼこまたは膨らみ。
- タイヤの側面またはトレッドに釘やその他の異物が刺さっている。
- 合わないリム、または不良タイヤバルブによる空気漏れ（シューという音）。

上記のいずれかが発生した場合は、Can-Am On-Roadの認定ディーラーでできるだけ早くタイヤを修理または交換してもらってください。

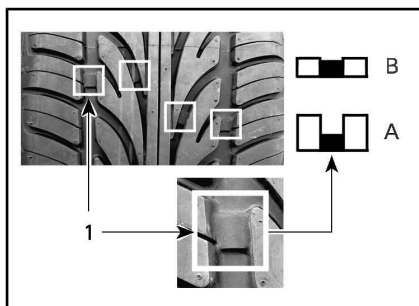
タイヤのトレッドの摩耗

トレッド摩耗インジケーター（以下の図の1に示されている通り、トレッドのベースに成形されている硬いゴムバー）を使ってタイヤ溝の最小深さを確認します。タイヤトレッドの次の3つの位置で点検します。

- 外縁

- 中央
- 内側エッジ

トレッド摩耗インジケーターは最小タイヤ溝深さに達したトレッドに現れます。トレッドにトレッド摩耗インジケーターが最低でも1つ現れている場合、タイヤをできる限り早くCan-Am On-Roadの認定ディーラーに交換してもらってください。



タイヤのトレッドの摩耗

1. トレッド摩耗制限インジケーター
- A. 適切な溝深さ
- B. 最小タイヤ溝深さ。タイヤを交換します。

車両の運転の仕方および道路状況によって、タイヤは一樣でない摩耗をしていることは一般的にあります。車両がスムーズまたは積極的に運転されたかによって、フロントホイールの外縁および内縁、そしてリアホイールの中央スレッドは不規則に摩耗します。

タイヤのローテーション

トレッドの深さが4 mmに達したとき、フロントタイヤのローテーションを行ってください。これはタイヤの寿命を最大限に引き伸ばします。

警告

タイヤは一方方向にのみ回転するように設計されています。左右の前輪を入れ替えないでください。タイヤのローテーションを行うには、タイヤを車輪から取り外す必要があります。タイヤが間違った側に取り付けられると、静止摩擦が減り、コントロールを失う危険があります。

⚠注意 車輪およびブレーキキャリアの間に指が挟まれる恐れがあるため、車輪のスピン中は前輪スポークを手で持たないでください。

タイヤ登録用紙

タイヤがリコールされた場合は、氏名と住所を登録されたお客様にしかご連絡をさしあげることができません。車両メーカーとして、BRPは車両識別番号(VIN) (車両の識別を参照) に関連するタイヤ識別番号(TIN)、および現在の所有者の情報の記録を保管しています。

車両のタイヤを交換する場合は、「タイヤ登録用紙」にご記入いただき、タイヤメーカーのお客様サービスグループに提出する必要があります。「タイヤ登録用紙」は認定Can-Am On-Roadディーラーでお求めいただけます。

ブレーキ

⚠警告

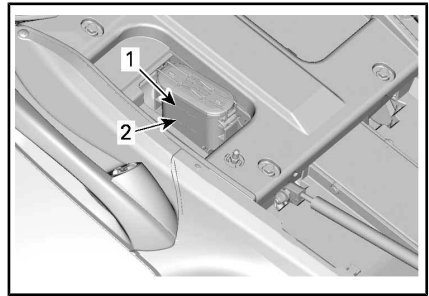
新しいブレーキは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキの効率が最適でない場合があるため、十分注意してください。タイヤを慣らすには、約300km走行し、頻繁にブレーキを使用してください。ブレーキをそれほど使わない場合、タイヤの慣らし運転時間を多めに見積もってください。

ブレーキオイルレベルの確認

密閉容器に入っているDOT 4ブレーキオイルのみを使用してください。

次のようにブレーキオイルのレベルを点検します。

1. 車両をしっかりと平面上に停車します。
2. 席のラッチを外し、持ち上げます (シートの開け方を参照)。
3. シートの裏付近にある両方のレザバーのブレーキ液レベルを確認します。両方がMIN.マーク以上のレベルに達している必要があります。

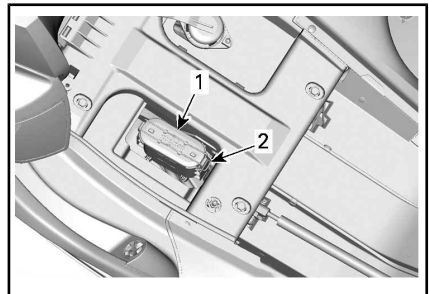


1. ブレーキオイルMAX.レベルのマーク
2. ブレーキオイルMIN.レベルのマーク
4. 必要に応じて、液を追加してください。ブレーキオイルの供給を参照してください。

注：ブレーキオイルのレベルが低いことは、漏れやブレーキパッドの摩耗を意味します。認定Can-Am On-Roadディーラーまでお問い合わせください。

ブレーキオイルの継ぎ足し

1. フィラーキャップを取り外します。



1. フィラーキャップ
2. フィラーキャップのロック機構

⚠警告

除去する前に、燃料タンクキャップをきれいにしてください。密閉容器に入っているDOT 4ブレーキオイルのみを使用してください。

2. 液をMAXレベルまで継ぎ足します。

注：ブレーキパッドを取り替えるとブレーキオイルレベルが上昇します。MAXレベルの時に取り替えると、ブ

ブレーキオイルがこぼれる恐れがあります。

【注記】 ブレーキオイルは塗面またはプラスチックの部品を損傷させます。こぼれた液は直ちに拭き取ります。

3. フィラーキャップを再び取り付け、ロックします。
4. シートを締めて、完全にラッチが固定されていることを確認します。

ブレーキシステムの確認

前輪および後輪は油圧式ディスクタイプです。これらのブレーキは自己調整し、手動で調整する必要がありません。

ブレーキペダルの調整も必要ありません。

ブレーキの状態を良好に保つには、メンテナンススケジュールにおける次の事項を点検します。

- 液漏れがないかブレーキシステムの全体を点検
- ブレーキペダルのスポンジ感触
- ブレーキディスクの過度の摩耗および表面の状態
- ブレーキパッドの摩耗、損傷または緩み。

RTリミテッド

1. フロアボードの下のラッチを外します。
2. 前部を手動で押し下げてフロアボードを旋回させます。
3. ラッチが元通りになるまでフロアボードを後ろに戻します。自由に動くことが重要です。

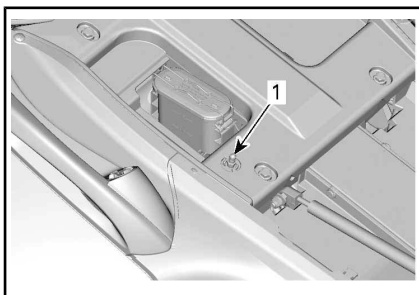
ブレーキシステムに問題がないか確認するには、Can-Am On-Roadの認定ディーラーにお問い合わせください。

ヘッドライト

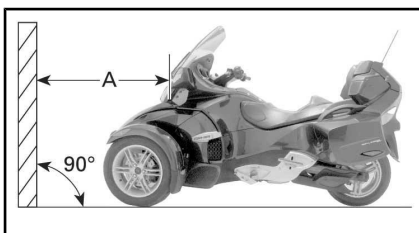
ヘッドライト光軸調整の検証

(北米モデル)

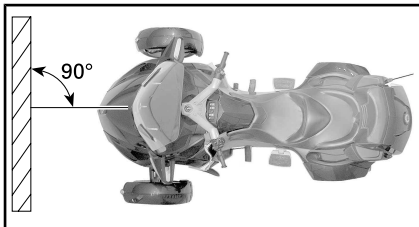
1. タイヤに正しく空気が入っていることを検証してください。仕様を参照してください。
2. シート下にあるシュレーダーバルブを使用してリアサスペンションの空気圧を0 kPa に設定します。



1. シュレーダーバルブ
3. 図示のように、試験面の前に車両を位置付けます。車両が平らな地面上に停車していることを確認します。



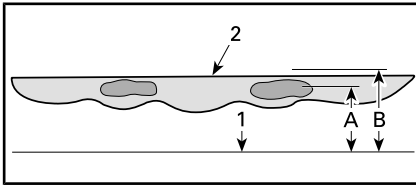
A. 10 m



次のように試験面に並列な線を2列トレースします。

試験面に描いた線	
A線	地面から703 mm上
B線	地面から773 mm上

4. ロービームを選択します。
5. ヘッドライトの反射の最上線がA線とB線の間にあるとき、ビームの光軸は正しく設定されています。



試験面の通常のヘッドライトの反射（両方のヘッドライト）

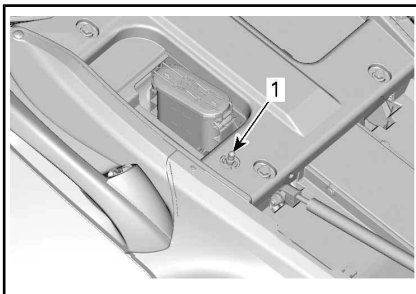
1. アース
2. 最上線
- A. 703 mm
- B. 773 mm

ヘッドライト光軸の検証 （欧州、オーストラリア、日本向けモデル）

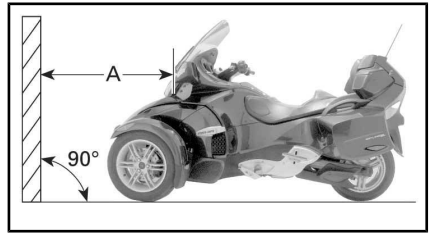
ロービーム

注：この認証は、右側通行または左側通行の規制の一方に有効です。

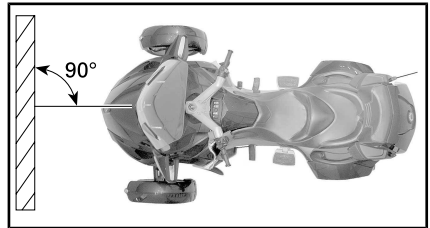
1. タイヤに正しく空気が入っていることを確認してください。
2. シート下にあるシュレーダーバルブを使用してリアサスペンションの空気圧を0 kPa に設定します。



1. シュレーダーバルブ
3. 図示のように、試験面の前に車両を位置付けます。車両が平らな地面上に停車していることを確認します。



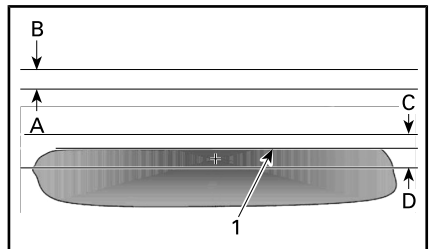
A. 10 m



4. 次のように試験面に並列な線を4列トレースします。

試験面に描いた線	
A線	地面から703 mm上
B線	地面から773 mm上
C線	地面から566 mm上
D線	地面から370 mm上

5. ロービームを選択します。
6. ヘッドライトの反射の最上線がC線とD線の間にあるとき、ビームの光軸は正しく設定されています。



表面試験の通常のヘッドライトの反射（片方のヘッドライト）

1. 最上線

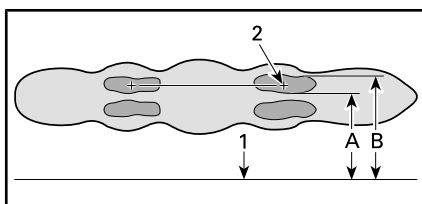
ハイビーム

注：ロービームとハイビームは別ユニットであるため、この認証は右側ま

たは左側通行の交通規制のいずれかに有効です。

- ロービーム確認手順のステップ1から4に従ってください。
- ハイビーム**を選択します。

ヘッドライトの反射のピント（一番明るいスポット）がA線とB線の間に反射されている場合、ビームの光軸は正しく設定されています。



表面試験の通常のヘッドライトの反射（両方のヘッドライト）

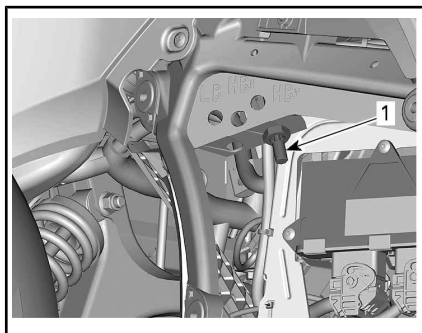
- アース
- ピント

ヘッドライト 車両照準調整

- 両方の中央パネルを取り除いてください。機器のサブセクションのボディパネルを参照してください。

北米モデル

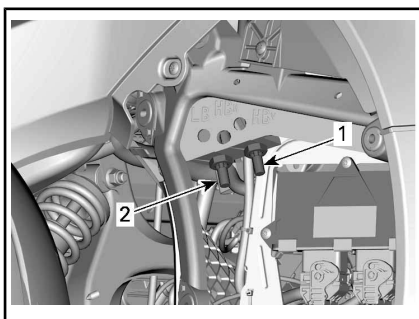
ヘッドライトビームを調整するには、HB_V調整ノブを回します。両方のヘッドライトを均等に調整します。



- HB_V調整ノブ

欧州、オーストラリアモデル

- ヘッドライトビームを調整するには、適切な調整ノブを回します。両側とも均等に調整します。

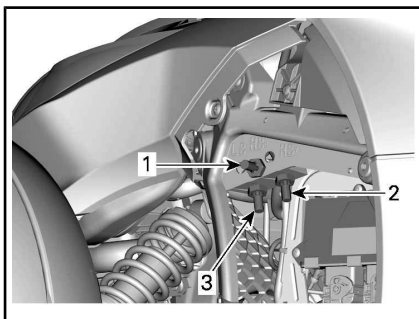


IH側を表示（欧州およびオーストラリアモデル）

- ハイビーム調整ノブ（HB_V）
- ロービーム調整ノブ（LB）

日本向けモデル

ヘッドライトビームを調整するには、適切な調整ノブを回します。両方のヘッドライトを均等に調整します。



左側の図

- ハイビーム水平照準ノブ「HB_H」
- ハイビーム垂直照準ノブ「HB_V」
- ロービーム垂直照準ノブ「LB」

全モデル

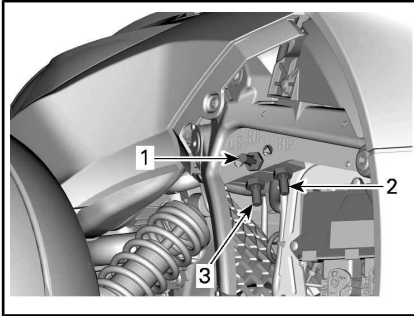
ヘッドライトビーム調整	
ビームを上げて ください	ノブを時計回りに回転させます。
ビームを下げて ください	ノブを時計の逆周りに回転させます。

- サイドパネルを再度取り付けます。機器のサブセクションのボディパネルを参照してください。

ヘッドライト水平照準調整、ハイビーム（日本向けモデルのみ）

ハイビームヘッドライトの照準が狂っている場合は（左右に寄っている）、次の手順を実行してください。

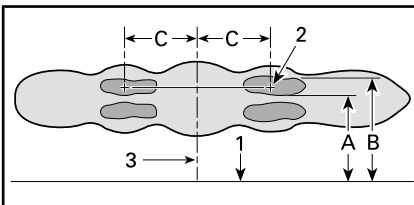
1. 両方の中央パネルを取り除いてください。
2. ヘッドライトビームを調整するには、適切な調整ノブを回します。



左側の図

1. ハイビーム水平照準ノブ「HB_H」
2. ハイビーム垂直照準ノブ「HB_V」
3. ロービーム垂直照準ノブ「LB」

焦点（壁面上の最も明るいスポット）の中心からヘッドライトアセンブリの中心へ引いたラインが、車両の前部と後部の中心線と並行になるように、両方のハイビームヘッドライトを調整してください。



試験面のハイビームのヘッドライトの反射
（両方のヘッドライト）

1. アース
 2. ピント
 3. 車両中心線
- A. 地面から703 mm上
B. 地面から773 mm上
C. 車両中心線から122 mm ± 35 mm

車両のお手入れ

洗車

(洗車場などで使用されている) 高圧洗淨機を使用しないでください。車両の一部を損傷する恐れがあります。

注記 クロームホイールは水と中性洗剤で洗ってください。クロームホイールは、磨いたり、酸性または研磨剤を含むクロームクリーナーを使用しないでください。

注記 フロントガラスの損傷を防ぐには、フロントガラスをアルカリまたは酸洗淨剤、ガソリンまたは溶剤で清掃しないでください。

注記 マット仕上げ塗装には、ワックス、噴霧スプレー、またはその他の通常塗装に使用される製品を使用しないでください。研磨剤で洗淨しないでください。機械クリーナーまたはポリッシャーを使用せず、表面をあまり強く擦らないでください。

車両を清掃するには：

1. 汚れを落とすために水でよく洗車してください。
2. 柔らかいきれいな布と、モーターサイクルや自動車に特別に配合された洗剤などの中性洗剤に水を混ぜた溶液で洗車してください。

注：ウィンドシールドやフロントパネルに付着した虫を取り除くには、温かい水が効果的です。

3. 洗車中にグリースやオイルが付着していないか点検します。サービス用品または中性の自動車用脱脂洗剤を使用します。必ずメーカーの使用上の注意に従ってください。

サービス用品
XPS ROADSTER WASH (P/N 219 701 703)

4. セーム皮や柔らかいタオルで車両から水を拭き取ります。

マット仕上げのある車両

注記 一般的な塗料用に使用されるワックス、ディーツスプレーなどの製品を使用しないでください。研磨剤で洗淨しないでください。機械クリーナーまたはポリッシャーを使用せず、表面をあまり強く擦らないでください。

マット仕上げの場合、艶消し塗料にとって安全で刺激のない洗剤と柔らかいウオッシュミットを使って手洗います。虫などの異物を取り除くには、柔らかい塗布器およびマイルドの溶剤を使用します。溶剤をかけておき、少し経ったら拭き取ります。軽く擦りません。

この塗装仕上げでは、より頻繁な洗車が必要になる場合があります。


車両の保護

プラスチックの部品には非研磨ワックスを塗布します。

注記 マット仕上げの表面にはワックスがけや研磨を行わないでください。

表面	製品/注意事項
艶出し仕上げ	クリアコート塗料にも安全な研磨剤の入っていないワックスのみを使用してください
マット仕上げ	ワックスがけをしないでください。

注記 フロントガラスをプラスチッククリーナー/研磨剤で研磨しないこと。

 警告
表面が滑り易くなり、運転者または同乗者の着座安定性を損なうおそれがあるため、シートにはプラスチックまたはビニール製のプロテクターを付けしないでください。

保管、シーズン前の準備

保管

冬の時など、車両が最低でも4ヶ月間運転されていない場合は、車両を良い状態に保つには適切に保管する必要があります。

BRPは、車両を保管する前にCan-Am On-Roadの認定ディーラー、修理工場、または個人に保管準備を依頼するよう推奨しています。または、ご都合の良い時に、次の基本手順を行ってください。

車両の保管準備

1. 車両を点検し、必要に応じて認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備、修理、または交換を依頼してください。
 - 米国およびカナダのお客様の場合、保証請求の詳細は、保証のセクションにある米国EPA排出ガス性能保証を参照してください。
2. エンジンオイルとフィルターを交換します。認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備、修理、または交換を依頼してください。
3. エンジンクォークラントおよびブレーキオイルのレベルを確認します。
4. タンクの錆び、および燃料の悪化を防ぐために、燃料タンクを満タンにし、ガソリン安定化剤を入れ、エンジンをかけて循環させます。燃料安定化剤の容器の指示に厳密に従ってください。
5. すべてのタイヤを推奨される圧力まで空気を入れます。
6. 車両を掃除します。
7. すべてのコントロールケーブル、ラッチ、すべてのレバーのピボット点およびフロントサスペンションの潤滑箇所を潤滑します。
8. すべてのストレージコンパートメントのラッチを閉じます。
9. 車両に透過性カバーをします（防水シートなど）。プラスチックや同等の浸透性のない、コーティングされた物質は、空気の流れを遮断し、熱と水分が中に蓄積されてしまうため、使用を避けてください。
10. 車両は直射日光のない、毎日の温度変化があまりない乾いた場所に保管してください。

11. 推奨される2Aでの充電レートで月に1回はバッテリーを低速充電してください。バッテリーを取り外す必要はありません。

シーズン前の準備

全モデル

保管期間後、運転前に車両を整えて点検する必要があります。以下の設定や入力を行います。

1. 車両を覆っているシートを外し、掃除します。
2. 必要であればバッテリーを充電します。
3. 走行前の点検を行い、低速度で車両を試乗します。

RTリミテッド

1. フロアボードの下のラッチを外します。
2. 前部を手動で押し下げてフロアボードを旋回させます。
3. ラッチが元通りになるまでフロアボードを後ろに戻します。自由に動くことが重要です。

**このページは
意図的に空白になっています**

道路脇での修理

診断ガイドライン

注記 車両を移動させる必要がある場合は、牽引しないでください。牽引により車両は深刻な損傷を受けます。詳細については、このセクションの**車両の移送**をご参照ください。

シフトがニュートラルに入らない

車両の走行中にギヤボックスがニュートラルに入らない場合：

1. エンジン速度は自動的に約1,300 RPMまで上昇し、またアイドリング速度に戻ります。
2. 最高で3回試行されます。
3. それでも駄目な場合は、シフトアップまたはシフトダウンをまた押してみます。

シフトが動かない

お近くのCan-Am On-Roadのディーラーまで車両を移送してください。

エンジンが始動しない

エンジンがまったく回らない

1. 多機能ゲージにスクロールされている安全性メッセージが認められていない。
 - 安全性メッセージを読み、MODEボタンを押します。
2. エンジンストップスイッチがOFFの位置にある。
 - エンジンストップスイッチがONの位置にあることを確認してください。
3. イグニッションスイッチがOFFの位置にある。
 - イグニッションをONの位置に回します。
4. バッテリーが上がっているか、バッテリーの接触不良。
 - 充電されているか確認してください。必要であれば充電してください（メンテナンス手順を参照してください）。
 - フロントストレージコンパートメントのバッテリーの接続を確認してください（メンテナンスの手順を参照）。

5. ヒューズ切れ。
 - ヒューズの状態を確認してください（このセクションのヒューズおよびライトの交換方法を参照）。
6. トランスミッションがギヤに入っている。
 - トランスミッションがギヤに入っている場合は、ブレーキペダルを踏みます。
7. キーが読み取れません。
 - イモビライザーシステムがキーを読み取れなかった場合、エンジンは始動しません。以下の状況により、イモビライザーシステムがキーを読み取れなくなることがあります。
 - コンピューターチップの損傷
 - キーの近くに大きな金属の物体がある
 - キーの近くに電子機器がある
 - メインキーの近くに二つ目の電子コードキーがある
 - キーの周辺にその他の強い電磁場がある。
 - エンジンが始動せず、クラスターにキーエラーのメッセージが表示された場合は、上記のような状況が存在しないことを確認してください。これらの状況が存在しないにも関わらず問題が発生する場合は、Can-Am On-Roadの認定ディーラーにご相談ください。

エンジンは低回転で回るが、始動しない

1. 燃料残量が低い。
 - 燃料タンクに給油します。基本手順を参照してください。
2. バッテリーが弱い。
 - 充電されているか確認してください。必要であれば充電してください（メンテナンス手順を参照してください）。
 - フロントストレージコンパートメントのバッテリーの接続を確認してください（メンテナンスの手順を参照）。




3. エンジンマネージメントの問題。

- エンジンの始動中にエンジン異常インジケータランプがONにあるか確認します。認定Can-Am On-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備、修理、または交換を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国 EPA 排出ガス性能保証を参照してください。

多機能ゲージのメッセージ

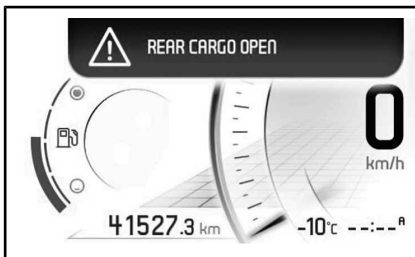
車両状態の重要な情報は多機能ゲージに表示されます。エンジンを始動させる時は必ずインジケータランプや特別なメッセージがゲージに現れているか必ず確認します。

インジケータランプ (異常)			
インジケータ	メッセージ/警告	原因	対策
	BAD KEY (不正なキー)	不良キー	認定 On-Roadディーラーにお問い合わせください。
	WRONG KEY (キー間違い)	キーが間違っています	車両に合ったキーを使用するか、または On-Roadの認定ディーラーにお問い合わせください。
	CHECK KEY (キーの確認)	不良キー	認定 On-Roadディーラーにお問い合わせください。
	HIGH ENGINE TEMPERATURE (エンジン温度上昇)	エンジンがオーバーヒートしている	<ul style="list-style-type: none"> - エンジンを停止し、冷めるまで待ちます。 - 漏れがないか点検します。 - クーラントのレベルを確認し、調整します (メンテナンスの手順を参照)。
	SUSPENSION FAULT (サスペンション故障)	エア制御サスペンションの不具合	<ul style="list-style-type: none"> - 空気ばねの圧力を点検する - リアサスペンション位置センサーを点検する - 車両を最寄りの認定 Can-Am On-Roadディーラーに運び、エア制御サスペンションの最小値/最大値の較正を確認します。
	BRAKE FAILURE (ブレーキ故障)	EBDの故障	最寄りの認定 On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
	TRANSMISSION SIGNAL FAULT (トランスミッション信号の不具合)	トランスミッションコントロールモジュールのコンポーネント	<ul style="list-style-type: none"> - キーを抜いて、20秒待ってキーをまた挿入します。 - Can-Am On-Roadのディーラーに車両を修理してもらってください。
	CHECK DPS (DPSの点検)	ダイナミックパワーステアリングコンポーネント	On-Roadのディーラーに車両を修理してもらってください。

インジケータランプ (異常)			
インジケータ	メッセージ/警告	原因	対策
	BRAKE FAILURE - LOW BRAKE FLUID (ブレーキ故障 - ブレーキオイルレベル低下)	ブレーキオイルレベル低下、またはセンサーの故障	<ul style="list-style-type: none"> - ブレーキオイルの漏れがないか確認してください。 - ブレーキオイルのレベルを確認し、調整します (メンテナンスの手順を参照)。
	LIMP HOME MODE (応急帰還モード)	主要エンジンマネジメントコンポーネントまたはVSSの異常	* 最寄りの認定 On-Roadディーラーに車両を搬入してください。
	低オイル - エンジンを停止	油圧の低下	<ul style="list-style-type: none"> - オイル漏れがないか確認します。 - オイルのレベルを確認し、調整します (メンテナンスの手順を参照)。

* BRPはLIMP HOMEの警告が現れた場合は、車両を移送することを推奨します。応急帰還モードの状態では、極端な操作は避け、運転を再開する前に直ちに最寄りの認定Can-Am On-Roadディーラーに搬入し、整備を依頼してください。応急帰還モードの状態では、エンジン回転数が制限されるため、車両速度も制限されます。

重要情報を示すメッセージはインジケータランプの補助役割を果たすために一時的に表示されることもあります。



代表例

デジタル警告が現れる時は、警告は6秒間表示され、次の60秒間は非表示になります。この60秒間に小型デジタルインジケータが点滅します。この過程は3回繰り返され、その後に表示は15分間停止されます。この15分の間は、インジケータランプしか作動されません。

以下の状況に対する解決策

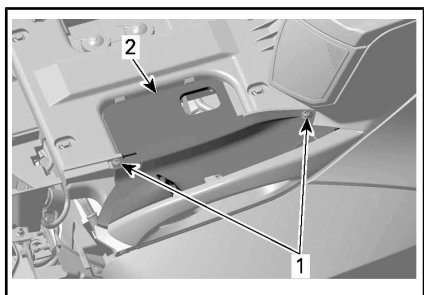
キーの紛失

スペアキーを使ってCan-Am On-Roadの認定ディーラーにもう一台の鍵をもう1つ作ってもらいます。**両方のキーを紛失した場合は、イグニッションスイッチ、リアストレージコンパートメントのキーバレル、およびトレーラーのキーバレル（BRP製トレーラーを使用している場合）を、車両所有者の負担で交換する必要があります。**

サイドストレージコンパートメントを開けることができない。

シートを開きます。

パネルから両方の留めネジを外します。



左サイドパネルの図

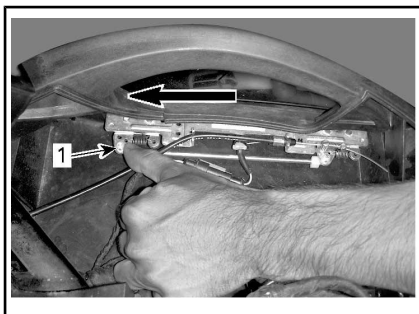
1. 固定ねじ
2. パネル

パネルを引き抜きます。

スイッチコネクターを取り外します。

パネルを取り外します。

図のように機構をスライドさせ、ラッチを外します。



左サイドパネルの図

1. スライド機構

その後、スイッチおよびパネルを再度取り付けます。

タイヤのパンク

タイヤのトレッドに**深刻な**刺し傷や切り傷があり、完全にパンクしている場合は、車両を最寄りのCan-Am On-Roadディーラーに搬入してください。移送指示については、**車両の移送**をご参照ください。

釘や石によりタイヤが**軽い**パンクを起こしており、完全にパンクしていない場合は、タイヤは一時的に修理することができます。一時的にタイヤを修理するには、自己膨張型タイヤシーラーまたはタイヤプラグ修理キットを使用します。タイヤシーラーまたは修理キットのメーカーの指示に従い、**できるだけ早く** Can-Am On-Roadのディーラーに修理または交換してもらってください。

タイヤが一時的に修理された後は、低速度で慎重に運転し、交換または完全に修理されるまでタイヤの空気圧を常に確認してください。

バッテリー上がり

バッテリーが上がっていたり、エンジンをかけるには電圧が低い場合は、ジャンプスタートを行います。

警告

ジャンプスタートの手順に従ってジャンパーケーブルを接続します。ジャンパーケーブルが適切に接続されていないと、バッテリーから発火する恐れのある爆発性ガスが漏れることがあります。

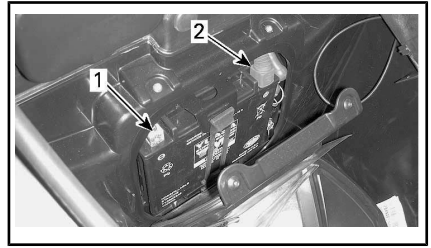
バッテリーをジャンプスタートするには、以下の手順を踏んでください。

1. ジャンプスタートのために別の車両を使用する場合は、その車両をバッテリーが上がった車両にできるだけ近い位置（できればバッテリーが上がった車両の前）まで移動します。車両同士が接触していないことを確認します。

注：バッテリー電圧が11V未満の場合は、パーキングブレーキがかかりません。

2. 車両をニュートラル (N) に入れ、パーキングブレーキをかけます。
3. もう一方の車両のエンジンおよびすべての電気アクセサリをOFFにします。
4. もう一方のフードを開けます。
5. 車両のフロントコンパートメントを開けます。
6. イグニッションスイッチがOFFになっていることを確認します。
7. バッテリーアクセスパネルを取り外します。
8. 赤色の (+) ジャンパーケーブルの一方の端を、上がったバッテリーのプラス (+) 端子に接続します。
9. 赤色の (+) ジャンパーケーブルのもう一方の端をブースターバッテリーのプラス (+) 端子に接続します。
10. 黒色の (-) ジャンパーケーブルの一方の端をブースターバッテリーのマイナス (-) 端子に接続します。

11. 黒色の (-) ジャンパーケーブルのもう一方の端を車両のマイナス (-) 端子に接続します。



1. 黒色 (+) 端子
2. 赤色 (+) 端子
12. 車両の右側に立ち、ブレーキをかけてエンジンを始動します。エンジンは回旋しないか、ゆっくり回旋する場合は、ジャンパーケーブルを確認して接触が良好であるか確認し、再度試します。それでも始動しない場合は、起動システムに問題がある可能性があります。お近くのCan-Am On-Roadのディーラーに移送し、（車両の移送を参照）修理してもらってください。
13. エンジンが始動した後は、取り付けとは逆の手順で両方のジャンパーケーブルを取り外します。最初は車両に接続された黒色 (-) ケーブルから始めます。
14. エンジンを900 RPMのアイドリング速度で数分間作動させます。
15. できるだけ早くバッテリーチャージャーを使用するか、（メンテナンスの手順を参照）または資格のある修理屋によって完全に充電してもらってください。

ジャンプスタートの直後、またはジャンパーケーブルを取り外した後にエンジンが停止してしまう場合は、充電システムに問題がある可能性があります。お近くのCan-Am On-Roadのディーラーに移送し、（車両の移送を参照）修理してもらってください。

バッテリーを充電した後、車両をCan-Am On-Roadの認定ディーラーに点検してもらってください。

ヒューズおよびライトの交換方法

ヒューズ

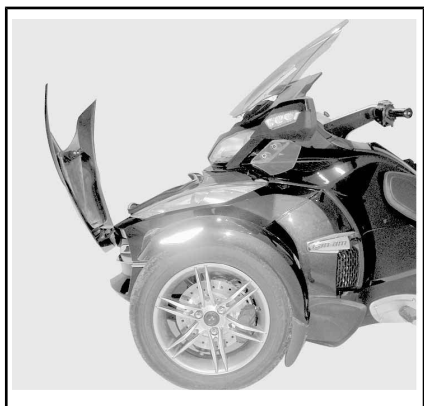
車両の電気用品が作動しなくなった場合は、飛んだヒューズを確認し、必要であれば交換します。

電気系統の故障が発生した場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーに整備を依頼してください。

ヒューズの位置

ヒューズはフロントストレージコンパートメント内にあります。

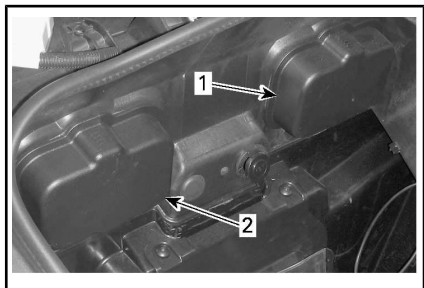
ヒューズにアクセスするには、フロントストレージコンパートメントを開けます。



フロントストレージコンパートメントが開いた状態

アクセスカバーを開けます。

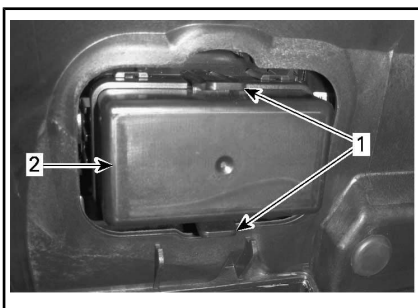
ヒューズサービスカバーを押し下げ、カバーを引っ張り出します。



フロントストレージコンパートメントの中

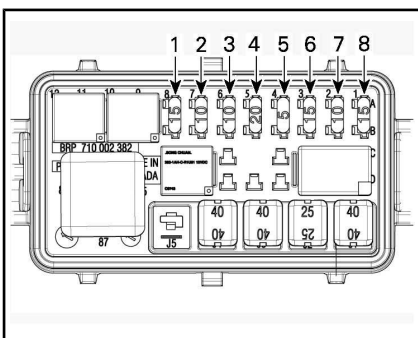
1. 左ヒューズサービスカバー
2. 右ヒューズサービスカバー

タブを押し下げ、慎重にヒューズボックスのカバーを取り外します。



1. タブ
2. ヒューズボックスカバー

ヒューズの説明



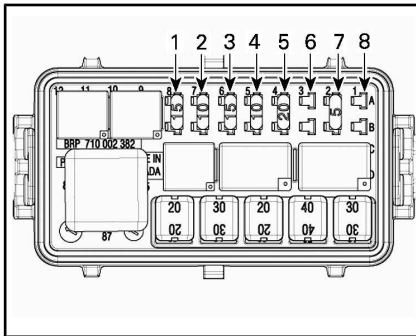
ヒューズ-左ヒューズボックス

注：正しく識別するには、両方のヒューズボックス間にあるデカールを参照してください。

注：ヒューズボックスはモデルによって異なる場合があります。

左ヒューズボックス

ヒューズ番号	説明	定格
1	クラスター / DLC	15 A
2	ウェイクアップ ECM / VCM / MSR および D.E.S.S. / SAS / YRS / PRS	10 A
3	オルタネータ	10 A
4	WPM	20 A
5	ECM	5 A
6	インジェクター / コイル	15 A
7	ウェイクアップ TCM, DPS / Cluster, 燃料ゲージおよびクーラント温度ゲージ	10 A
8	H02S / CAPS / 燃料ポンプ / EVAP / CSV, PSR	15 A

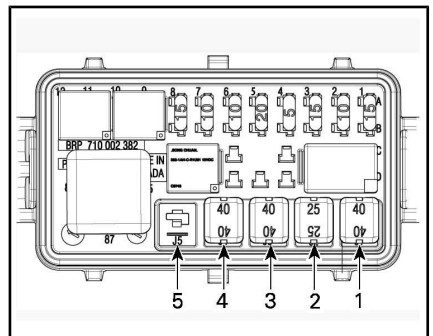


ヒューズ - 右ヒューズボックス

右ヒューズボックス

ヒューズ番号	説明	定格
1	デイライト、パーキングランプ、プレートライト	15 A
2	ブレーキライト、ハザード	10 A
3	アンプ	15 A
4	トレーラーモジュール	10 A
5	クラクション、負荷制限	25 A
6	DCプラグVKEY	5 A
7	DCプラグVBAT	5 A
8	未使用	

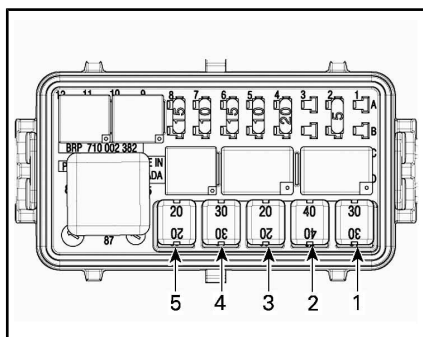
注：ヒューズ6を取り付けた場合は、12Vの電源出力はイグニッションスイッチがONの状態ではしか操作可能になりません。ヒューズ7を取り付けると、12Vの電源出力は常に使用可能となります。



Jケースヒューズ - 左ヒューズボックス

左ケースヒューズボックス

Jケースヒューズ番号	説明	定格
1	VCMポンプ	40 A
2	VCMバルブ	25 A
3	DPS	40 A
4	メインコントロール (F1、F2、R4、R5)	40 A
5	未使用	



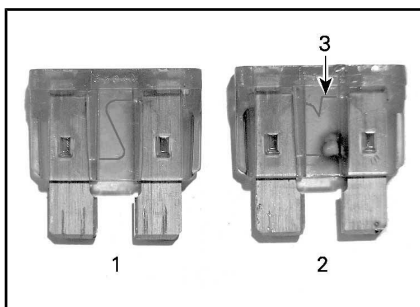
Jケースヒューズ-右ヒューズボックス

右ケースヒューズボックス

Jケースヒューズ番号	説明	定格
1	冷却ファン	30 A
2	アクセサリ	40 A
3	TCMソレノイド	20 A
4	ロービームヘッドランプ	30 A
5	ハイビームヘッドランプ	20 A

ヒューズの交換

1. ヒューズにアクセスするには、ヒューズのサブセクションのヒューズの位置を参照してください。
2. イグニッションスイッチをOFFにします。
3. ヒューズを取り出します。
4. フィラメントが溶けていないか確認します。



ヒューズ

1. 良好なヒューズ
2. 飛んでいるヒューズ
3. 溶融フィラメント
5. ヒューズを同じ定格のものと同交換します。スペアヒューズはヒューズボックスカバーにあります。

警告

より高定格のヒューズを使用すると、深刻な損傷を招き、火災の原因になります。

6. ヒューズボックスのカバーを閉じるには、カバーをヒューズボックスにかぶせるように位置付け、カチッとなるまで慎重に押し下げます。
7. 該当する場合は、ジッパーを閉じます。
8. ヒューズのサービスカバーを閉じるには、カバーをヒューズボックスにかぶせるように位置付け、ヒューズのサービスカバーが閉まるまで慎重に押し下げます。
9. アクセスカバーを閉じ、そしてフロントストレージコンパートメントを閉じます。

ライト

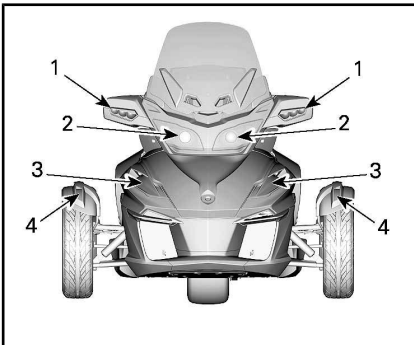
注：フロントのウインカーライトおよびブレーキライトはLED（発光ダイオード）で構成されています。LEDは信頼性の高い技術です。万が一作動しない場合は、認定Can-Am On-Roadディーラーに点検を依頼してください。

本ガイドに記述されているライトが車両で作動しなくなった場合は、欠陥のあるライトの電球を交換します。本ガイドに記述されていないCan-Am On-Roadの認定ディーラーによって点検してもらってください。

ライトが故障した場合は、車両をCan-Am On-Roadの認定ディーラーに点検してもらってください。

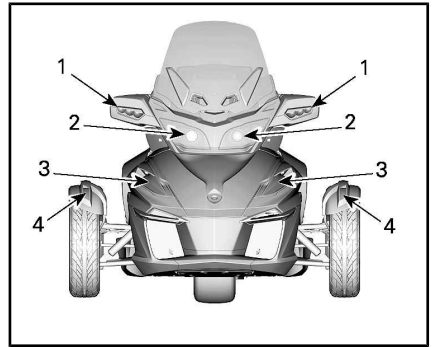
⚠️注意 電気ショックを回避するには、電球を取り替える前にイグニッションスイッチを必ずOFFの状態にします。

交換後に必ずライトの動作を確認してください。



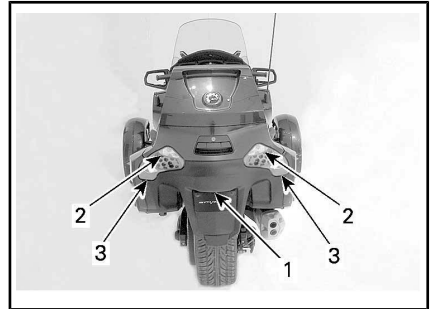
代表例 - ライトの位置 — 車両前部 - 欧州モデル以外の全モデル

1. 方向指示灯
2. ヘッドライト
3. フォグライト（オプションのパッケージ）
4. ポジションライト



代表例 - ライトの位置 — 車両前部 - 欧州モデル

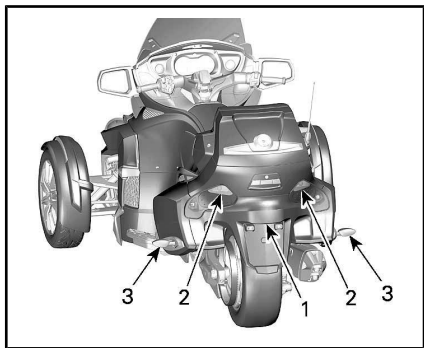
1. 方向指示灯
2. ヘッドライトーハイビーム
3. ヘッドライトーロービーム
4. ポジションライト



ライトの位置 - 車両後部

1. ナンバープレートライト
2. バックランプ
3. 方向指示灯

日本向けモデルのみ

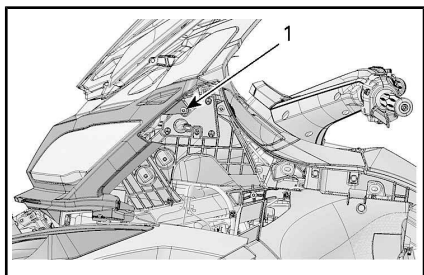


ライトの位置 - 車両後部

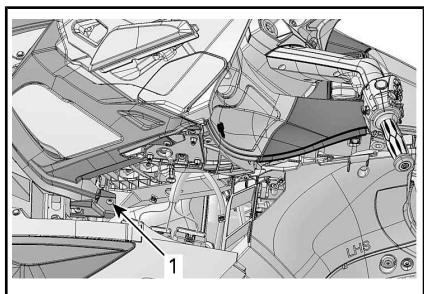
1. ナンバープレートライト
2. バックランプ
3. 方向指示灯

ヘッドライト - ハイビーム

1. 上部サイドパネルを取りはずします。
2. フロントのダッシュボードから上部留めネジを取り外します。

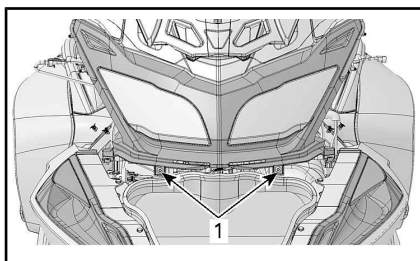


1. 上部留めねじ
3. フロントのダッシュボードから真ん中の留めネジを取り外します。

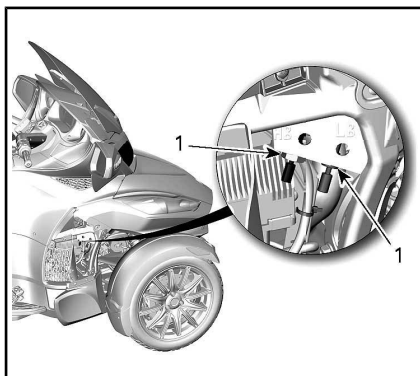


1. 真ん中の留めネジ

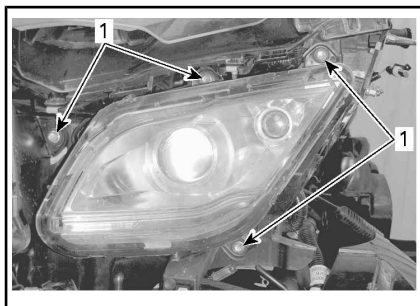
4. フロントのダッシュボードから下部の留めネジおよびワッシャーを取り外します。



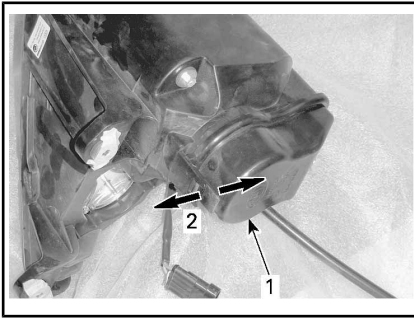
1. 下部の留めネジ
5. 車両からフロントダッシュボードを取り外します。
6. 調整ケーブルの留めナットを取り外します。



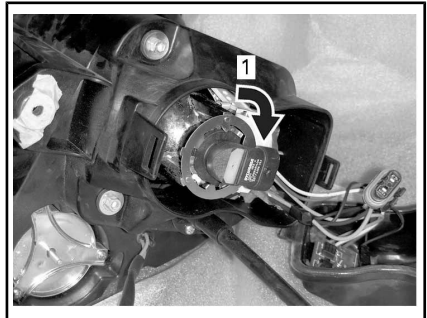
1. 調整ケーブルの留めナット
7. 4つのすべてのヘッドライトの留めネジを外します。



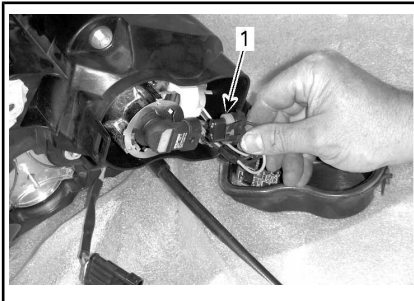
1. 固定ねじ
8. タブを引き離してカバーをアンロックします。



1. ヘッドライトカバー
2. タブを引き離します
9. カバーを引き抜きます。
10. バルブコネクターを取り外します。



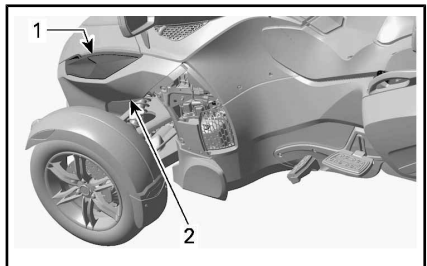
1. 右に回す
14. コネクターをバルブにつなげます。
15. 取り外しの逆の順序でヘッドライトカバーおよび残りの部品を再度取り付けます。



1. コネクターのプラグを引き抜きます
11. バルブを左に回してアンロックします。

ヘッドライトロービーム

中央サイドパネルを取りはずします。ヘッドライトの後部を清掃します。フロントサスペンションの上部アームの上の開口に手を入れます。

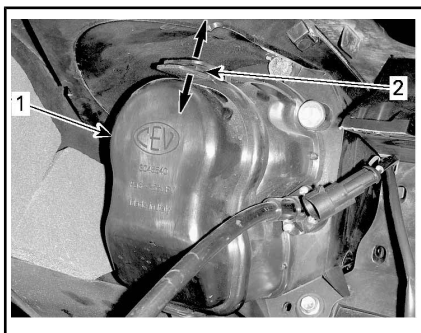


1. ヘッドライト
2. ヘッドライトバルブへのアクセスタブを引き離してカバーをアンロックします。

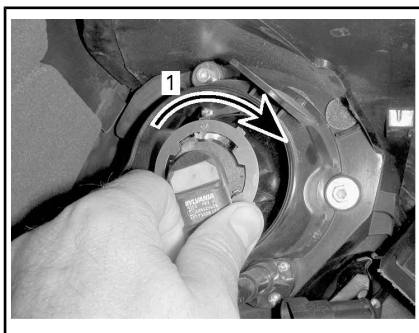


1. 左に回す
12. 電球を引いて取り外す。
13. 新しいバルブをソケットに挿入し、右に回して固定します。

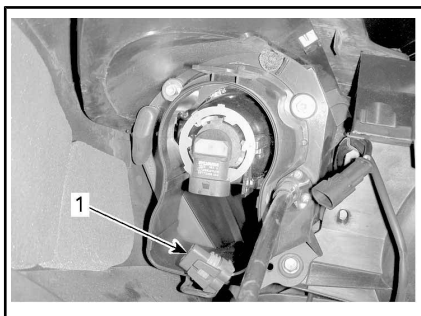
注記 新しいハロゲン電球を指で絶対に触らないこと。触ってしまうと寿命が縮んでしまいます。



1. ヘッドライトカバー
2. タブを引き離します
カバーを引き抜きます。
バルブコネクターを取り外します。



1. 右に回す
コネクターをバルブにつなげます。
取り外しの逆の順序でヘッドライトカ
バーおよび中央サイドパネルを再度取
り付けます。



1. プラグが引き抜かれたコネクター
バルブを左に回してアンロックしま
す。

フォグライト (オプションのパッ ケージ)

欧州モデル以外の全モデル

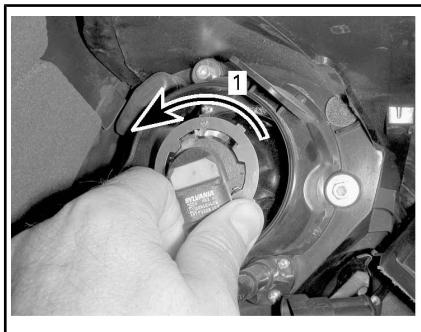
電球交換手順については、認定Can-Am
On-Roadディーラーにご相談ください。

ポジションライト

ポジションライトはLED (発光ダイ
オード) で構成されています。LEDは
信頼性の高い技術です。万が一作動し
ない場合は、認定Can-Am On-Road
ディーラーに点検を依頼してください。

ナンバープレートライト

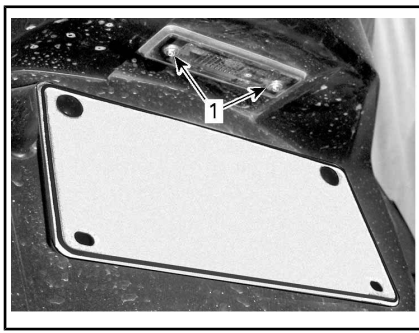
1. レンズのスクリューをプラスド
ライバーを使って取り外します。



1. 左に回す
電球を引いて取り外す。

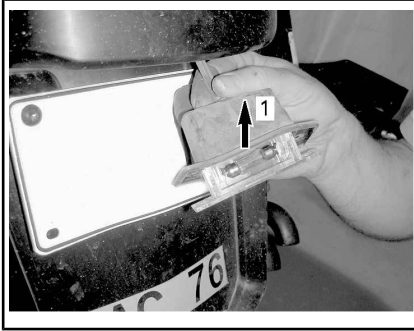
注記 新しいハロゲン電球を指で絶対
に触らないこと。触ってしまうとバル
ブの寿命が縮んでしまいます。

新しいバルブをソケットに挿入し、右
に回して固定します。



1. ライセンスプレートレンズのスク
リュー
2. レンズを引っ張り出します。

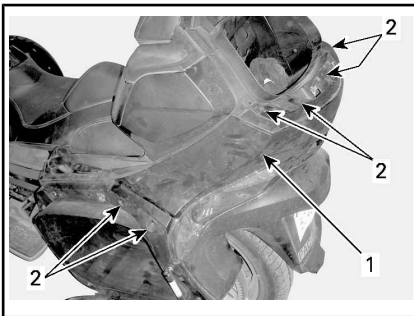
- バルブを引き抜いて取り外します。



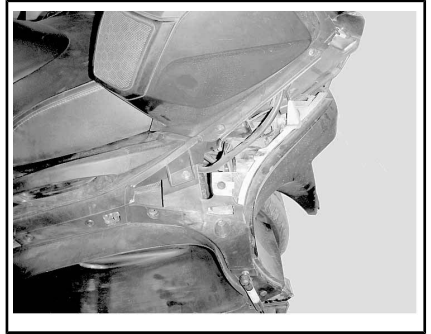
- 引き出す
- 新しいバルブを押し入れて、取り付けます。
- レンズを再度取り付けます。

バックランプ

- 上部ストレージコンパートメントを開きます。
- サイドストレージコンパートメントを開きます。
- リアパネルから8つの留めねじを取り外します。



- リアパネル
- 固定ねじ
- パネルを引き抜きます。



- コネクターのプラグを引き抜きます。
- バルブを左に回してアンロックします。

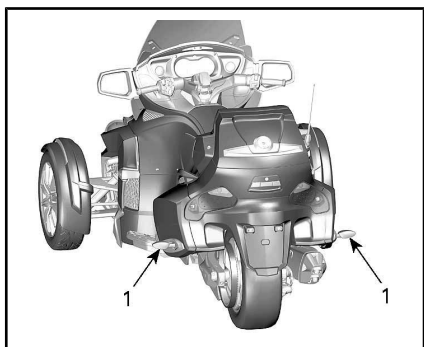


- 左に回す
- 電球を引いて取り外す。
- 新しいバルブをソケットに挿入し、右に回して固定します。



- 右に回す
- コネクターをバルブにつなげます。
- 取り外し順序の逆の順序でリアパネルを再度取り付けます。

フラッシャー（日本向けモデルのみ）



1. フラッシャー
1. フラッシャーのねじとレンズを取り外してバルブにアクセスします。
2. バルブを交換します。

車両の移送

車両を移送する必要がある場合は、適切なサイズと容量のプラットフォームで移送してください。

！注意 車両を押す必要がある場合は、ブレーキペダルをいつでも踏めるように右側から押します。車両を後方に引っ張る場合は、足元が前輪によってひかれないように注意します。

注記 この車両は牽引しないでください。牽引すると車両の駆動システムに深刻な損傷を与える恐れがあります。

牽引または移送サービスにお問い合わせする場合は、車両を安全に持ち上げ、ストラップを縛り付けるために長物トレーラー、導板またはパワーランプがあるか尋ねてください。本セクションで記載の通りに車両を適切に移送してください。

注記 車両を縛り付けるのにチェーンの使用は避けてください。— 表面の仕上げやプラスチックのコンポーネントを損傷させる恐れがあります。

車両を移送するために積み込む時は、以下の手順を踏んでください。

1. 車両をニュートラル (N) に入れます。
2. イグニッションスイッチからキーを取り外します。
3. 各フロントサスペンションの下部アームの周りをストラップで固定します。

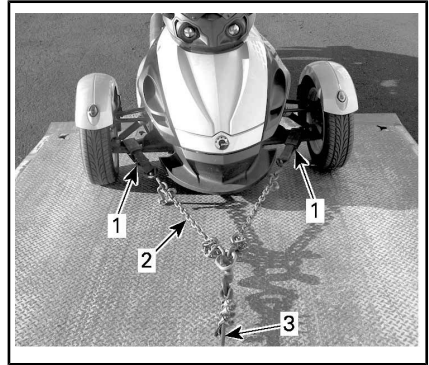


1. ローアサスペンションアーム
2. ショックアブソーバおよびフィンの上にストラップを仕込みます。

注記 ストラップをフィンの上からかけないでください。フィンが損傷されます。

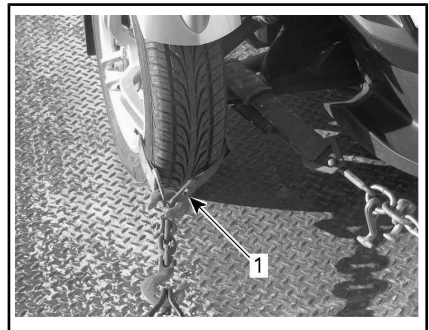
4. ストラップをウィンチケーブルに取り付けます。バンパーカバー

の損傷を防ぐために以下の図のようにできればチェーンまたは追加ストラップを使ってストラップをウィンチケーブルに取り付けます。



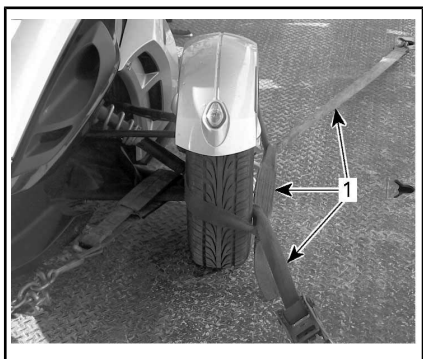
代表例

1. フロントサスペンションの下部アームの周りにストラップを巻きつけます。
2. バンパーカバーの損傷を防ぐためのチェーン
3. ウィンチケーブル
5. パーキングブレーキが解除されていることを確認します。
6. ウィンチを使って車両を長物トレーラーに引っ張りこみます。
7. パーキングブレーキをかけます。
8. 車両のギヤがニュートラル (N) に入っていることを確認します。
9. 次のいずれかの方法でフロントタイヤにストラップをつけます。



通常の前輪固定 — 方法1

1. 各前輪のリムの周りにストラップを巻きつけ、ストラップをトレーラーの前部に固定します。



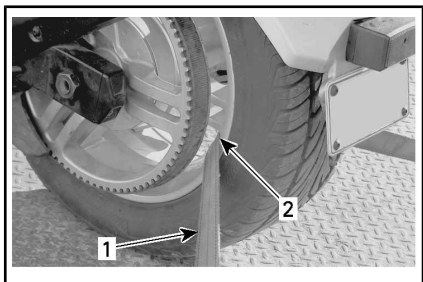
代表例

1. トレーラーにしっかり固定された前輪および後輪

通常の前輪固定 — 方法2

1. 各車輪にストラップを巻き付け、トレーラーの前部および後部に固定します。
10. 縛りつけ用のストラップは後輪のリム内側のみを通してください。縛りつけ用のストラップを絶対にリアスプロケットの内側を通さないでください。

注記 リアスプロケットの内側に縛りつけ用のストラップを通すと駆動システムに深刻な損傷を与えます。



通常の後輪の固定方法

1. 縛りつけ用ストラップ
2. 後輪のリムの内側のみ
11. 後輪の縛りつけ用ストラップを、歯止めを使ってトレーラーの後部にしっかり固定させます。
12. 前輪および後輪の両方がトレーラーにしっかり固定されていることを確認します。

技術情報

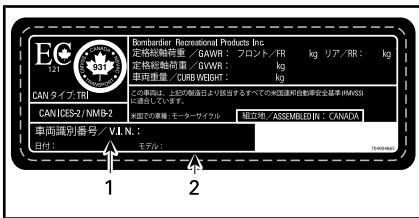
車両の識別

車両の主な構成要素（エンジンやフレーム）は、それぞれ異なる製造番号で識別されます。保証を受けるときや、無くなった車両を探すときなどに、これらの番号を確認しなければならない場合があります。これらの番号は、Can-Am On-Roadの認定ディーラーが正しく保証請求を行うときに必要です。車両のすべてのシリアル番号を記録し、保険会社に提出すること強く推奨します。

車両識別番号

注：VIN（車両識別番号）ラベルは国に応じて異なる場合があります。

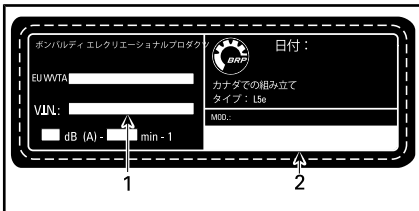
北米モデル



車両シリアル番号のラベル

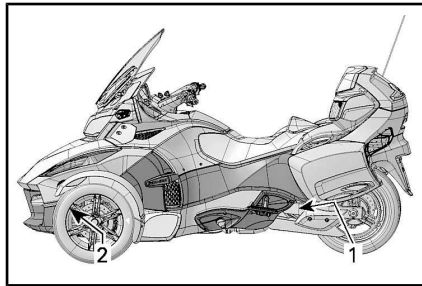
1. VIN（車両識別番号）
2. モデル番号

欧州モデル



車両識別番号ラベル

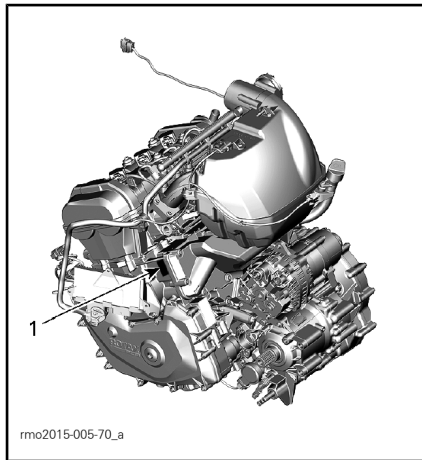
1. VIN（車両識別番号）
2. モデル番号



VINが書かれている位置

1. スイングアーム（VINラベル）
2. ローアーム（VINは右側に刻印されています）

エンジン識別番号



代表例

1. E1N（エンジン識別番号）の位置


代替燃料インフラコンプライアンスラベルの導入



欧州モデル - ガスキャップ付近に配置

EPA適合ラベル

車両排ガス規制情報
 ホンダバルディ エレクティブ エーショナルプロダクツ
 この車両は、 年式、自動三輪新車に適用される
 米国環境庁およびカリフォルニア州の規制に適合し、認証されています。
 HC+NOx 排出基準： 走行1 kmあたりのグラム数
 メンテナンスの仕様に関しては『オペレーターズガイド』を参照してください。




VEHICLE EMISSION CONTROL INFORMATION
BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.
 THIS VEHICLE CONFORMS TO U.S. EPA AND CALIFORNIA REGULATIONS
 APPLICABLE TO MODEL YEAR NEW MOTORCYCLES AND IS CERTIFIED
 TO AN HC+NOx EMISSION STANDARD OF GRAM/KILOMETER.
 See operator's guide for maintenance specifications

エンジン排気量		Engine Displacement
エンジンシリーズ		Engine Family
透過ガス		Permeation Family
蒸発ガス		Evaporation Family
排気ガス 制御システム		Exhaust Emission Control System
アイドルリング回転数		Idle Speed
燃料		Fuel

704907628

バキュームホース配管

エンジンシリーズ:	蒸発ガス:
-----------	-------



EVAP蒸発ガス制御
ソレノイドバルブ

EVAPキャニスター

インテークプレナム
燃料タンク

エア
フィルター

大気へ解放

自動三輪車騒音排出規制に関する情報
 この モーターサイクル、 は、米国環境庁
 による騒音排出規制(rpm あたり dBA、連邦試験手順による)に適合
 しています。騒音規制を超えるような本自動三輪車の改造は、
 連邦法によって禁止されています。
 オペレーターズガイドを参照してください。

代表例 - 北米モデル - シートの下に配置

騒音エミッションコントロールシステム規制

騒音制御システムを改ざんすることは禁止されています。

米国連邦法およびカナダ州法によって、以下の行動またはそれに起因するものが禁止される場合があります。

1. 新しい車両に騒音コントロールを目的として最終購入者への販売または納入以前または使用中に組み込まれた、機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても整備、修理、交換以外を目的として取り外す、または作動不能にすること、または
2. これらの機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても取り外し、または作動不能にした後に、車両を使用すること。

これらの行動の中で、改ざんとみなされるものは、以下のリストに掲載されている行動です。

1. マフラーまたはエンジン排気ガスの排出を処理するいかなるエンジン部品の取り外し、改造または穴あけ。
2. 吸気システムのいかなる部分の取り外し、改造または穴あけ。
3. 車両の稼働部品、または排気または吸気システムの部品を、非標準部品と交換すること。
4. 適切な整備をしないこと。

無線周波数デジタルコード化されたセキュリティシステム（無線周波数D.E.S.S.キー）

この装置は、FCC（米国連邦通信委員会）第15部およびIndustry Canada（カナダ産業省）ライセンス免除RSS基準に準拠しています。操作は、下記の2つが前提条件となります。(1)この装置は干渉を発生させません。また、(2)この装置は、装置に望ましくない動作を発生させる恐れのある干渉を含めて、あらゆる干渉に順応する必要があります。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes: (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

コンプライアンス責任者によって明白に承認されていない変更や改良がされた場合、ユーザーが機器を操縦する権限が無効になる場合があります。

IC:11538A-246416

FCC ID:2ABBF-246416

多機能ゲージの法規制に関する情報

技術情報

トランスミッター：

- BT動作周波数範囲：
2,402～2,480 MHz
- BTバージョン：4.2 (BTLEなし)
- BT出力：8.5 dBm 未満

レシーバー：

- FM動作範囲：76～108 MHz

メーカーおよび住所

メーカー：

- Robert Bosch LLC

住所：

- 38000 Hills Tech Drive,
Farmington Hills, MI 48331,
USA

車両のデジタルディスプレイに規制に関する情報を表示するには：ホーム画面からメインメニューにアクセスして、ジョイスティックを10秒以上押し続けます。

米国およびカナダ

この装置は、FCC（米国連邦通信委員会）第15部およびIndustry Canada（カナダ産業省）ライセンス免除RSS基準に準拠しています。この装置の使用は、

- (1)この装置が有害な干渉を引き起こさないこと、および
- (2)この装置は好ましくない動作の原因となる干渉をはじめとする、あらゆる干渉に順応しなければならない、という2つの条件を前提としています。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

コンプライアンス責任者によって明白に承認されていない変更や改良がされた場合、ユーザーが機器を操縦する権限が無効になる場合があります。

IC:22868 - VDIBRHS01

FCC ID:2AMJS - VDIBRHS01

RF曝露：

1. この機器は制御の及ばない環境に対して設定されたFCC RF曝露限度を順守しています。
2. この機器はすべての人から 20 cm 以上離れてインストールおよび操作される必要があります。
3. このトランスミッターのために使用されるアンテナは位置の共用またはその他のアンテナまたはトランスミッターと共に使用されてはいけません。

メキシコ

IFETEL

Marca:Robert Bosch LLC

Modelo(s):VIPHI2BT

Número:RCPBOVI18-0967

NOM-121-SCT1-2009

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:(1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

ブラジル



03473-18-04473

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

日本

この装置は、電波法（ ）および電気通信事業法（ ）の下で使用が許可されています。この装置を改造しないでください（改造した場合、認証は無効となります）。

ヨーロッパ

適合宣言書

無線機器指令2014/53/EUに関する適合宣言書（簡易版）



DE

Hiermit erklärt Robert Bosch LLC, dass der Funkanlagentyp VIPHI2BT der Richtlinie 2014/53/EU entspricht. Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter der folgenden Internetadresse verfügbar: eu-doc.bosch.com

FR

Le soussigné, Robert Bosch LLC, déclare que l'équipement radioélectrique du type VIPHI2BT est conforme à la directive 2014/53/UE.

Le texte complet de la déclaration UE de conformité est disponible à l'adresse internet suivante: eu-doc.bosch.com

BG

С настоящото Robert Bosch LLC декларира, че този тип радиосъоръжение VIPHI2BT е в съответствие с Директива 2014/53/ЕС.

Цялостният текст на ЕС декларацията за съответствие може да се намери на следния интернет адрес: eu-doc.bosch.com

EL

Με την παρούσα ο/η Robert Bosch LLC, δηλώνει ότι ο ραδιοεξοπλισμός VIPHI2BT πληροί την οδηγία 2014/53/ΕΕ. Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης ΕΕ διατίθεται στην ακόλουθη ιστοσελίδα στο διαδίκτυο: eu-doc.bosch.com

CS

Tímto Robert Bosch LLC prohlašuje, že typ rádiového zařízení VIPHI2BT je v souladu se směrnicí 2014/53/EU. Úplné znění EU prohlášení o shodě je k dispozici na této internetové adrese: eu-doc.bosch.com

DA

Hermed erklærer Robert Bosch LLC, at radioudstyrstypen VIPHI2BT er i overensstemmelse med direktiv 2014/53/EU.

EU-overensstemmelseserklæringens fulde tekst kan findes på følgende internetadresse: eu-doc.bosch.com

ET

Käesolevaga deklareerib Robert Bosch LLC, et käesolev raadioseadme tüüp VIPHI2BT vastab direktiivi 2014/53/EL nõuetele.

ELI vastavusdeklaratsiooni täielik tekst on kättesaadav järgmisel internetiaadressil: eu-doc.bosch.com

ES

Por la presente, Robert Bosch LLC declara que el tipo de equipo radioeléctrico VIPHI2BT es conforme con la Directiva 2014/53/UE.

El texto completo de la declaración UE de conformidad está disponible en la dirección Internet siguiente: eu-doc.bosch.com

FI

Robert Bosch LLC vakuuttaa, että radiolaitetyyppi VIPHI2BT on direktiivin 2014/53/EU mukainen. EU-vaatimustenmukaisuusvakuutuksen täysimittainen teksti on saatavilla seuraavassa internetosoitteessa: eu-doc.bosch.com

EN

Hereby, Robert Bosch LLC declares that the radio equipment type VIPHI2BT is in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address: eu-doc.bosch.com

HR

Robert Bosch LLC ovime izjavljuje da je radijska oprema tipa VIPHI2BT u skladu s Direktivom 2014/53/EU. Cjeloviti tekst EU izjave o sukladnosti dostupan je na sljedećoj internetskoj adresi: eu-doc.bosch.com

HU

Robert Bosch LLC igazolja, hogy a VIPHI2BT típusú rádióberendezés megfelel a 2014/53/EU irányelvnek. Az EU-megfelelőségi nyilatkozat teljes szövege elérhető a következő internetes címen: eu-doc.bosch.com

IT

Il fabbricante, Robert Bosch LLC, dichiara che il tipo di apparecchiatura radio VIPHI2BT è conforme alla direttiva 2014/53/UE.

Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile al seguente indirizzo Internet: eu-doc.bosch.com

LT

Aš, Robert Bosch LLC, patvirtinu, kad radijo įrenginių tipas VIPHI2BT atitinka Direktyvą 2014/53/ES.
Visas ES atitikties deklaracijos tekstas prieinamas šiuo interneto adresu: eu-doc.bosch.com

LV

Ar šo Robert Bosch LLC deklarē, ka radioiekārta VIPHI2BT atbilst Direktīvai 2014/53/ES.

Pilns ES atbilstības deklarācijas teksts ir pieejams šādā interneta vietnē: eu-doc.bosch.com

MT

B'dan, Robert Bosch LLC, niddikjara li dan it-tip ta' taghmir tar-radju VIPHI2BT huwa konformi mad-Direttiva 2014/53/UE.

It-test kollu tad-dikjarazzjoni ta' konformità ta'UE huwa disponibbli f'dan l-indirizz ta'Internet li ġej: eu-doc.bosch.com

NL

Hierbij verklaar ik, Robert Bosch LLC, dat het type radioapparatuur VIPHI2BT conform is met Richtlijn 2014/53/EU.

De volledige tekst van de EU-conformiteitsverklaring kan worden geraadpleegd op het volgende internetadres: eu-doc.bosch.com

PL

Robert Bosch LLC niniejszym oświadcza, że typ urządzenia radiowego VIPHI2BT jest zgodny z dyrektywą 2014/53/UE.

Pełny tekst deklaracji zgodności UE jest dostępny pod następującym adresem internetowym: eu-doc.bosch.com

PT

O(a) abaixo assinado(a) Robert Bosch LLC declara que o presente tipo de equipamento de rádio VIPHI2BT está em conformidade com a Diretiva 2014/53/UE.

O texto integral da declaração de conformidade está disponível no seguinte endereço de Internet: eu-doc.bosch.com

RO

Prin prezenta, Robert Bosch LLC declară că tipul de echipamente radio VIPHI2BT este în conformitate cu Directiva 2014/53/UE.

Textul integral al declarației UE de conformitate este disponibil la următoarea adresă internet: eu-doc.bosch.com

SV

Härmed försäkrar Robert Bosch LLC att denna typ av radioutrustning VIPHI2BT överensstämmer med direktiv 2014/53/EU.

Den fullständiga texten till EU-försäkran om överensstämmelse finns på följande webbadress: eu-doc.bosch.com

SL

Robert Bosch LLC potrjuje, da je tip radijske opreme VIPHI2BT skladen z Direktivo 2014/53/EU.

Celotno besedilo izjave EU o skladnosti je na voljo na naslednjem spletnem naslovu: eu-doc.bosch.com

SK

Robert Bosch LLC týmto vyhlasuje, že rádiové zariadenie typu VIPHI2BT je v súlade so smernicou 2014/53/EÚ.

Úplné EÚ vyhlásenie o zhode je k dispozícii na tejto internetovej adrese: eu-doc.bosch.com

IS

Robert Bosch LLC lýsir því hér með yfir að þráðlausí fjarskiptabúnaðurinn VIPHI2BT er í samræmi við tilskipun 2014/53/ESB.

Óstyttna texta ESB-samræmisýfirlýsingarinnar er að finna á veffanginu: eu-doc.bosch.com

Liechtenstein

Hiermit erklärt Robert Bosch LLC, dass der Funkanlagentyp VIPHI2BT der Richtlinie 2014/53/EU entspricht.

Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter der folgenden Internetadresse verfügbar: eu-doc.bosch.com

NO

Hermed erklærer Robert Bosch LLC at radioustyrstypen VIPHI2BT er i samsvar med direktiv 2014/53/EU.

Hele teksten i EU-samsvarserklæringen finnes på følgende internetadresse: eu-doc.bosch.com

仕様

モデル		SPYDER RT		
エンジン				
エンジンタイプ		ROTAX® 1330 ACE、4ストローク、デュアルオーバーヘッドカムシャフト (DOHC)、水冷		
シリンダー数		3		
バルブ数		12		
ボア		84 mm		
ストローク		80 mm		
排気量		1,330 cm ³		
圧縮比		12:1		
潤滑	タイプ		別個のオイルタンクおよびオイルクーラー付きのドライサンプ	
	オイルフィルター	エンジン	BRP Rotax製のマイクロガラス繊維タイプ、交換式	
		トランスミッション/HCM	BRP Rotax製の多層表面フィルター、交換可能	
	エンジンオイル容量	オイル交換および新しいエンジンフィルターの取り付け	SE6	5.2 L
		新しいエンジンおよびHCMフィルターにおけるオイル交換		5.4 L
	推奨エンジンオイル			APIサービスSJ、SL、SMまたはSN分類およびJASO MA2の要件を満足する4T 5W40合成ブレンドオイル(P/N 779133)または5W40部分合成または全合成モーターサイクルオイルを使用してください。

モデル			SPYDER RT
クラッチ	タイプ	SE6	油圧クラッチ+TCMによって自動的に制御される湿式多板クラッチ
	起動時		1,100 RPM
排気システム			3-1マニホールド、触媒コンバータ付きプライマリマフラー、セカンダリマフラー
エアフィルター			ペーパーエレメント
ギヤボックス			
タイプ		SE6	6速シーケンシャルマニュアル+リバーシインターロック
クーリングシステム			
タイプ		液冷、クーリングファン付きのダブルラジエーター	
クーラント	タイプ	このガイドのメンテナンス手順のセクションに記載のエンジン冷却液をご参照ください。	
	容量	4.2 L	
電装システム			
イグニッションシステム形式		デュアル出力コイル付き電子制御点火	
イグニッションタイミング		電子制御につき調整不可	
スパークプラグ	数量	3	
	メーカーと型式	NGK MR7BI-8 (イリジウム) または相当品	
	隙間 (調整不可)	0.7 mm ~ 0.8 mm	
エンジン回転リミッターの設定	前進	8,100 RPM (ドライブトレイン駆動時)	
		7,500 RPM (クラッチオープンまたはニュートラル時)	
バッテリー	タイプ	メンテナンスフリー	
	電圧	12ボルト	
	公称定格	21 A・h	
	推奨される充電定格	2 A	

モデル		SPYDER RT	
ヘッドライト ハイ/ロー		C/U	ハロゲン、2 x 65 W (タイプHB3)
		CE	ハイビーム:ハロゲン2x65 W (タイプH9) ロービーム:ハロゲン2x60 W (タイプHHB3)
テールライト/ブレーキライト	日本向け以外の全モデル		LED 3.1 W (合計)
	日本向けモデルのみ		2 x 21 W + LED 3.1 W
方向指示灯	フロント		LED 2 x 4.5 W (各側)
	リア	日本向け以外の全モデル	2 x 21 W
		日本向けモデルのみ	2 x 10 W
ポジションライト	日本向け以外の全モデル		LED
	日本向けモデルのみ		2 x 21 W + LED 0.6 W
電気系統 (続き)			
ナンバープレートライト		5 W	
バックランプ		2 x 21 W	
デイライト (リミテッド)		2 x 0.5 W	
フロントストレージコンパートメントライト (リミテッド)		0.2 W	
ヒューズ		ヒューズおよびライトの交換方法を参照。	
燃料システム			
燃料供給	タイプ	マルチポイントエレクトリックフェューエルインジェクション(EFI)、ETC付き(エレクトリックスロットルコントロール)、シングルスロットルボディ (54 mm)、アクチュエーター付き	
燃料ポンプ	タイプ	エレクトリカルモジュール (燃料タンク内)	

モデル		SPYDER RT
アイドリング回転数		900RPM (電子制御タイプ、調整不可)
燃料 - 燃料に関する要件を参照してください	タイプ	無鉛プレミアムガソリン
	最小オクタン価	87 AKI (RON+MON)/2
		92 RON
	推奨されるオクタン濃度	91 AKI (RON+MON)/2
95 RON		
燃料タンク容量		26 L
駆動システム		
終駆動機の形式		カーボン強化されたドライブベルト
ファイナルドライブ比		28/79
ステアリング		
タイプ		ダイナミックパワーステアリング (DPS)
フロントサスペンション		
サスペンションタイプ		アンチロールバー付きダブルAアーム
サスペンショントラベル		174 mm
ショックアブソーバ	数量	2
	タイプ	オイルダンパー
スプリングプリロード調整		調整不可

モデル		SPYDER RT
リアサスペンション		
サスペンションタイプ	ベース	モノショックスイングアーム、プレロードはマニュアルにて調整可能
	RTリミテッド	モノショックスイングアーム。エアコントロールドサスペンション。コンプレッサー制御
リアサスペンション (続き)		
サスペンショントラベル		152 mm
ショックアブソーバ	数量	1
	タイプ	オイルダンパー
プレロード調整 (マニュアル調整可能なACS)		空気圧調整式: 135 kPa ~ 625 kPa
プレロード調整 (自動調整機能付きACS)		自動セルフレベリング調整付きエアコントロール式サスペンション モノショック付きスイングアーム
ブレーキ		
タイプ	フロント	270 mmリジッドディスク、ラジアルマウント型 Brembo モノブロックキャリパー、4ピストン、2パッド
	リア	270 mmディスク、1ピストンフローティングキャリパー、組込式パーキングブレーキ付き
フロントブレーキ		デュアルリジッドディスク270 mm、ラジアルマウント式 Brembo モノブロック、4ピストンキャリパーおよび2パッド付き
リアブレーキ		シングルディスク270mm、1ピストンフローティングキャリパー、組込式パーキングブレーキ付き
ブレーキオイル	容量	480 ml
	タイプ	DOT 4
パーキングブレーキ		機械式および電動リアキャリパー
最小ブレーキディスク厚		1 mm
最小ブレーキディスク厚		6.4 mm

モデル		SPYDER RT
ブレーキディスクの最大歪み		0.1 mm
タイヤ		
タイプ (BRPが推奨するラジアルタイヤのみ使用してください)	フロント	KR31 165/55R15
	リア	KR21 225/50R15
圧力	フロント	公称値：138 kPa 最小：124 kPa 最高：152 kPa
	リア	公称値：193 kPa 最小：179 kPa 最高：207 kPa 注記：左右のタイヤの圧力差が3.4 kPaを超えないようにしてください。
タイヤ溝の最小深さ	フロント	2.5 mm
	リア	4 mm
ホイール		
サイズ (直径 X 幅)	フロント	381 mm x 127 mm
	リア	381 mm x 178 mm
前輪ナット締め付けトルク		105 N・m ~ 113 N・m
リア車軸ナットへのトルク		210 N・m ~ 240 N・m
寸法		
全長		2,667 mm
全幅		1,572 mm
全高		1,510 mm
シート (上部) の高さ		772 mm
ホイールベース		1,714 mm
フロントホイールトラック		1,384 mm
最低地上高 (エンジンの前部および下部)		115 mm
重量および積載量		
乾燥重量		459 kg

モデル		SPYDER RT
フロントストレージ コンパートメント	容量	58 L
	最大積載量	16 kg
グローブボックス	容量	2 L
側面ストレージコン パートメント	容量	52 L
	最大積載量	7 kg
リアストレージコン パートメント	容量	43 L
	最大積載量	9 kg
許容総重量（運転者、同乗者、カーゴ および追加アクセサリを含む）		224 kg
車両総重量 (GVWR)	全モデル	750 kg
トレーラーの接合部への最大重量		18 kg
最大牽引重量（トレーラーおよびカー ゴ）		182 kg

製品の品質と技術革新への継続的なコミットメントを果すために、BRPは以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、その製品の設計や仕様の変更、追加、または改良をいつでも行う権利を留保します。

保証

BRP限定保証 - 米国およびカナダ: 2019 Can-Am® SPYDER® シリーズ

1. 限定保証の範囲

ボンバルディ エレクティブ ショナル プロダクツ (以下「BRP」) * は、米国およびカナダの認定 Can-Am On-Road ディーラー (以下「ディーラー」) によって販売された 2019 年型の Can-Am Spyder (以下「製品」) について、指定の期間の間、下記の条件のもとで素材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合は、この限定保証は無効になります: (1) 製品を、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合、または (2) オドメーターを取り外したり、改ざんした場合。 (3) 製品をオフロードで使用した場合。 (4) 製品の動作、性能または耐久性に悪影響を与えるような方法で改造、修正した場合、または、意図された仕様を変えるような改造、修正した場合。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

2. 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない、明示的または黙示的な保証その他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、黙示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらは所有者には適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、所有者は国ごとに異なるその他の権利を留保することができます。

ディストリビューター、ディーラー、そしていかなる個人は、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を提供する許可はされておらず、方が一提供された場合は、それらの内容は BRP に対して強制できるものではありません。BRP は、限定保証が有効である期間中は販売済みの製品に適用される保証条件が変更されないことを前提として、この保証をいつでも変更する権利を留保します。

3. 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

以下は保証対象ではありません:

- オイル、潤滑剤、液体、フィルターおよびスパークプラグを含むがこれらの限定されない、定期的メンテナンスする必要がある部品の交換。
- タイヤ、バッテリー、発電機のブラシ、シールドビームおよび電球、クラッチプレートおよびフェーシング、駆動ベルト、ブレーキパッド、ブレーキライニング、ローターおよびスプロケットを含む部品の通常の摩耗および消耗。
- ベルト、アライメントおよび車輪バランスの調整を含む部品のチューンアップおよび調整。
- シートカバーの素材の傷、へこみ、退色、剥離や損傷を含む製品の外観への損傷。
- オペレーターズガイドに示されている適正なメンテナンスまたは保管を怠ったために発生した損害;
- 製品の正式仕様範囲を超える部品を取り外し、不適切な修理、扱いはメンテナンス、および改造や改変による損傷、または認定ディーラーの一員ではない人によって行われた修理によって生じた損傷。
- 異なるタイヤ、排気システム、車輪またはブレーキを含む純正部品とは異なる仕様の部品の取り付けにより生じた損傷。
- 誤用、乱用、過失、またはオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損傷。

- 水の吸い込み、事故、道路上の危険性、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷。
- オペレーターズガイドの推奨事項と異なる仕様の燃料、オイルまたは液体を使って生じた損傷。
- オペレーターズガイドの説明とは異なる道路塩、バッテリー液または環境の影響から生じた損傷。
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それらの方に限定されないその種の損害。

4. 保証対象期間

この限定保証は、製品が最初の小売消費者に配送された日、または製品が初めて使用された日のうち、いずれか早い方に発効し、以下に定める期間中効力を有します。

- 1 私用の遊びでの使用場合は、以下の(2)から(5)の状況以外では、連続する24ヶ月間連続する12ヶ月間。

保証期間中であっても、製品による収入の発生、または製品が何らかの業務または職業で用いられた場合、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中に製品が商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。これは最小限の保障期間で、場合によっては適用される保証プロモーションプログラムによる延長が可能です。

- 2 バッテリーにおいては、連続する6ヶ月間。
- 3 タイヤにおいては、連続する6ヶ月間、または前輪が 2.38 mm まで磨り減った時点、または後輪が 3.97 mm まで磨り減った時点のいずれかが最初に発生した時点。
- 4 排出ガス関連のコンポーネントに関しては、本書に記載された米国 EPA 排出ガス関連保証も参照してください。
- 5 カリフォルニア州の住民への販売、およびその後の保証はカリフォルニア州の住民に登録されることを本来意図して製造され、カリフォルニア州での販売を目的とした製品については、関連するカリフォルニア州の排出ガス制御保証規定もご覧ください。

この保証による部品の修理もしくは交換、または整備の実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

5. 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます。

- 製品は、その販売が行われた国において製品の販売を許可されているディーラーから、新品で未使用の製品として最初の所有者により購入される必要があります。
- BRPが指定する納入前点検を完全に実施し、文書化し、購入者がそれを署名する必要があります。
- 製品の保証登録は、認定ディーラーによって正しく行われなければなりません。
- 製品は、購入者が居住する国で購入される必要があります。
- オペレーターズガイドにしたがって定期的なメンテナンスを行う必要があります。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後に製品の使用を中断しなければなりません。お客様は欠陥の発見から3日以内に、整備を行うディーラーにその旨を通知し、ディーラーが修理を行うために必要とする期間をディーラーに与える必要があります。また、お客様は製品の購入を証明するものをディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

7. BRPが行うこと

この保証に基づくBRPの義務は、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の認定ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しい純正製品部品と交換することです。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、製品の払い戻しや販売の撤回の理由とはなりません。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるすべての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、国、州、地域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、所有者は地域の慣習や状況によるすべての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、製造されたいかなる製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは認定ディストリビューター/ディーラーが、もとの所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9. お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

米国EPA排出ガス性能保証

BRPは下記のときに保証を行います。

1. 製品は、正しいメンテナンスと使用に関する文書による指示に従い整備、操作されている。
2. 製品が使用耐用期間中に、EPA承認の排出ガステストにより定められた該当の排出ガス基準またはファミリー排出ガス限度に適合できなくなった。
3. 不適合により、製品の所有者が、地域、州または連邦の法律に基づき、罰金その他の制裁（製品を使用する権利の否定を含む）を負う、または負うであろう結果を招いた際、製品が5年以上または30,000キロメートル以上使用されている場合を除き、BRPは所有者に費用負担をかけずに不適合を補修します。BRPには、製品の排出ガスを減少させることを唯一または主要な目的として取り付けられたコンポーネント（1968年式以前には一般的に使用されていなかったもの）の故障から生じた不適合の修正のみが義務付けられます。

保証期間は、製品が最終購入者に納品された日に、または製品が最初に「展示品」または「会社」のモーターサイクルとして使用された場合には最初に使用された日に開始します。

排気ガス性能保証によって使用耐用期間中の全期間保証されているアイテムは以下の通りです。

燃料システムおよび給気システム

- 燃料インジェクター、燃料ポンプモジュール、燃料フィルターアセンブリ、スロットルボディ（スロットルポジションセンサーを含む）、インテークマニホールド

イグニションコンポーネントおよびセンサー

- エンジンコントロールモジュール（ECM）、エンジン配線ハーネス、イグニションコイル、スパークプラグ（保証されるのは最初の整備交換まで）、騒音センサー（ノックセンサー）、カムシャフトポジションセンサー、クランクシャフトポジションセンサー、温度センサー、圧力および温度センサー、酸素センサー

排気システム

- プライマリマフラー（触媒コンバーターを含む）、排気マニホールド
- クランプ、ガスケットおよびシール（エンジンからプライマリマフラーまで）

クランクケースベンチレーションシステム

- クランクケースベントブリーザー、クランクケースベントホース、オイルフィルターキャップ

蒸気ガスエミッションコントロールシステム

- 燃料タンク、燃料キャップ、燃料ホース、蒸気キャニスター、蒸気キャニスターのマウンティングブラケット、ブリード弁（パージバルブ）、チェックバルブ、フィルター、蒸発用コンポーネント、マウンティングブラケット
- クランプ、シール、ガスケットおよびフィッティング（燃料システムアセンブリに関するもの）

適切なメンテナンスについては、このオペレーターズガイドのメンテナンス情報セクションをご覧ください。このオペレーターズガイドには、製品の適切な使用に関する情報が含まれています。

排気ガス性能保証によると、以下のリストの項目2により要求される緊急修理を除き、BRPは認定Can-Am On-Roadディーラーに修理のために正当に持ち込まれたあらゆる製品の補修費用全額を支払う責任があります。故障した製品の所有者に課される罰金または制裁の程度に関する州または地域の法律は、この責務には関係しません。

以下の理由を根拠に、BRPが排気ガス性能保証の請求を拒否することはありません。

1. BRPによって認定された施設でそういった作業またはサービスを行うために実施された保証作業または納入前サービス
2. 製品の所有者が製品が規格に合致するよう迅速に対処した場合に限り、BRPが原因の、運転が危険な状態を含む危険状態を修正するために緊急状況で行われた作業
3. 適用される排出ガス基準に製品が適応できない理由とは無関係な、保証されていない部品の使用、または適切なメンテナンスおよび使用に関する文書による指示の不履行
4. BRPに責任があるあらゆる原因
5. 適切なメンテナンスおよび使用に関する文書による指示で特にその燃料の使用が製品の排気ガス制御装置およびシステムに悪影響を及ぼすと明記され、使用に適切な燃料の識別方法に関する一般的に良く知られている情報を所有者が得られる場合を除き、製品が存在する地域で一般的に使用されているいかなる燃料の使用メンテナンス情報のセクションおよび給油のセクションにある燃料に関する要件を参照してください。

前の項目に記されている場合を除き、保証されていない部品の使用が原因で製品が排気ガス基準を満たせなくなった場合に、BRPは、製品のメンテナンスまたは修理で使用された保証されていないアフターサービス部品に基づいて、排気ガス性能保証の請求を拒否することがあります。純正部品と同等ではない部品または保証されていないアフターサービス部品の使用は、排気ガス制御システムの効率に悪影響を及ぼす可能性があり、製品が排気ガス基準を満たさなくなります。保証部品の使用は排気ガス性能保証に影響しません。排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理は、モーターサイクルの修理店または保証部品を使用する個人なら誰でも実施できます。

お客様は、欠陥に気がついたらすぐに、認定Can-Am On-Roadディーラーに製品を持ち込む責任があります。認定Can-Am On-Roadディーラーが保証請求の手続きをします。

認定Can-Am On-Roadディーラーが、（製品の所有者、あるいはBRPまたは認定Can-Am On-Roadディーラーのコントロール外の出来事が原因ではない理由で）最初に製品が認定Can-Am On-Roadディーラーに持ち込まれて30日以内に製品を修理できない場合は、所有者には、所有者が選んだ修理店で、BRPが費用を負担して、保証補修を行う権利があります。

この保証に基づいて交換された欠陥部品は、すべてBRPの所有となります。

連絡先： Director, Field Operations and Support Division (6406J), Environmental Protection Agency, 401 「M」 Street, SW., Washington, DC 20460 (Attention:Warranty Claim)。排気ガス性能保証に関する詳細について、または排気ガス性能保証条項の違反の報告は、この連絡先に問い合わせてください。

BRPは、最終購入者かつ2次購入者に対して、排ガス浄化システムおよび蒸発ガス処理システムのすべての部品など、この新しい製品が2つの条件を満たすことを保証します。

- 最終購入者への販売時に、オンロードモーターサイクルに適用される40 CFR 86および蒸気ガス排出基準40 CFR 1051の要件に準拠するよう設計、組み立て、装備されています。
- オンロードモーターサイクルに適用される40 CFR 86および蒸気ガス排出基準40 CFR 1051の要件への準拠を妨げるような素材および製造上の欠陥はありません。

保証の対象となるものがある場合は、BRPは表示された保障期間中、エンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させる部材または製造上の欠陥がある部品やコンポーネントの修理または取り換えを、排出ガス関連部品の診断、修理または取り換の費用を含み、無償で行います。

排出ガス関連保証は、以下の期間のうち最も短い期間となります。

	キロメートル	推奨
排出ガスおよび蒸気ガス関連コンポーネント:	30,000	5

米国EPA連邦騒音エミッション保証

BRPは、最終購入者および各二次購入者に対して、以下の期間で最も先に訪れた期間、この新しい製品が販売時にすべての適用される米国 EPA 連邦騒音コントロール基準を満たすよう設計、組み立て、装備されており、適切に整備および使用されている場合には、すべての適用される米国 EPA 連邦騒音基準への準拠を妨げるような素材および製造上の欠陥がないことを保証します。

キロメートル	年
6,000	1

カリフォルニア州の排出ガス制御保証規定

保証の権利と義務

これよりカリフォルニア州大気資源委員会およびBombardier Recreational Products Inc.を代表してBRP US Inc.は、2019年型のCan-Am Spyderの排出ガス制御システム保証に関する説明をします。カリフォルニアでは、新しい自動車は州のスモッグ防止基準を満たすように設計、組み立て、装備されてなければなりません。BRPは、酷使や不注意、そして不適切なメンテナンスが行われなければならない限り、使用されている製品を下記の期間以上、製品の排出ガス制御システムを保証しなければなりません。

排出ガス制御システムには、噴射装置、イグニッションシステム、触媒コンバーターおよびエンジンコンピューター等の部分が含まれます。またホース、コネクタおよびその他の排出関連のアッセンブリーが含まれます。保証の対象となるものがある場合は、BRPは診断、部品および労働費を含めて、無料で製品を修理いたします。

製造業者の補償範囲

- 5年間または 30,000 km 走行まで (いずれか早い方)。

所有者の保証における責任

製品の所有者として、オペレーターズガイドに記載されている必要なメンテナンスを実施する責任があります。BRPは製品の保証に関するすべての受領書を安全な場所に保管しておくことを推奨しますが、BRPは受領書の紛失またはすべてのメンテナンスをお客様が行わなかったとしても、保証の提供をいたします。

問題が発生した場合は、製品をBRP認定ディーラーにできるだけ早く搬入してください。保証修理期間は、30日以下とする妥当な時間を用います。

また、製品の所有者として、BRPは酷使、不注意、不適切なメンテナンス、不適切な改変が原因で生じた製品または部品の故障については一切の保証を拒否する場合がありますことを考慮してください。

保証の権利と義務に関してご質問がありましたら、BRPのお客様相談室 (1-888-272-9222) またはCalifornia Air Resource Board (9528 Telstar Avenue, El Monte, CA 91731)までお問い合わせください。

* 米国内では、製品の流通とサービスはBRP US Inc.が行います。

© 2018 ボンバルディ エレクリエーションナルプロダクツ 無断複写転載を禁じます。

® ボンバルディ エレクリエーションナルプロダクツまたはその関連会社の登録商標です。

BRP限定保証 2019 Can-Am® SPYDER® シリーズ

1. 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (「BRP」)*は、米国およびカナダ**を除いた国のCan-Am On-Roadの認定ディストリビューターまたはディーラー（以下「ディストリビューターまたはディーラー」）によって販売された2019 Can-Am Spyder（以下「製品」）は以下の期間および条件を踏まえて材料または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合は、この限定保証は無効になります：(1)製品を、以前の所有者による行為である場合も含めて、一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合、または(2)オドメーターを取り外したり、改ざんした場合。(3)製品をオフロードで使用した場合。(4)製品の動作、性能または耐久性に悪影響を与えるような方法で改造、修正した場合、または、意図された仕様を変えるような改造、修正した場合。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

2. 責任の範囲

法律の許す範囲内における管轄で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない、明示的または黙示的な保証その他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、黙示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。この保証は、偶然による、必然的、直接的、間接的またはその他のいかなるすべての損害を保証しません。特定の管轄では、上記の偶発による、または必然的な損傷やその他の除外規定における制限や免責事項は適用されない場合があります。そのため、上記の規定はお客様に適用されない場合があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国または法域ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。（オーストラリアで購入された製品については、以下の第4項を参照してください）。

認定ディストリビューターまたはディーラーや、その他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRPに対する強制力はありません。BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間には変更されないことに同意します。

3. 除外規定（以下は保証修理の対象とはなりません）

どの状況においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- オイルおよび潤滑剤、フィルターおよびスパークプラグを含む、定期的なメンテナンスが必要な部品の交換。
- タイヤ、バッテリー、発電機のブラシ、シールドビームおよび電球、クラッチプレートおよびフェーシング、駆動ベルト、ブレーキパッド、ブレーキライン、ローターおよびスプロケットを含む部品の通常の摩耗および消耗。
- ベルト、アライメントおよび車輪バランスの調整を含む部品のチューンアップおよび調整。
- シートカバーの素材の傷、へこみ、退色、剥離や損傷を含む製品の外観への損傷。
- オペレーターズガイドに示されている過失または適正なメンテナンス／保管を怠ったために発生した損傷。
- 製品の正式仕様範囲を超える部品を取り外し、不適切な修理、扱いはメンテナンス、および改造や改変による損傷によって生じた損傷、またはBRPによって製造または承認されず、BRPによって製品に適切ではない、または製品の操作に不利に影響すると合理的に判断された部品やアクセサリの使用によって生じた損傷、または認定ディストリビューターまたはディーラーによって行われなかった修理から生じた損傷。
- 異なるタイヤ、排気システム、車輪またはブレーキを含む純正部品とは異なる仕様の部品の取り付けにより生じた損傷。

- 誤用、乱用、過失、レースでの使用、またはオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害。
- 水の吸い込み、事故、道路上の危険性、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷。
- オペレーターズガイドの推奨事項と異なる仕様の燃料、オイルまたは潤滑剤を使って生じた損傷。
- オペレーターズガイドの説明とは異なる道路塩、バッテリー液または環境の影響から生じた損傷。
- ガソリンの費用、認定ディストリビューターまたはディーラーに製品を回送、回収するための費用、メカニックの出張費、トレーラーまたは牽引による移送、保管、携帯、ファックスまたは電報の料金、保証の施行期間における代替製品のレンタル、タクシー、旅費、宿泊費、私物の損失または欠損、不便性、保険の費用、ローンの支払い、時間の損失、所得、収入や利益の損失、または製品の使用または使用の楽しみの損失などを含むが、これらに限定されない偶発的または必然的な損害。

4. 保証対象期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です。

1. 私用での使用場合は、以下の(b)および(c)の状況以外では、**連続する24ヶ月間**。商業的利用の場合は、以下の(b)および(c)の状況以外では連続する12ヶ月間。

保証期間中であっても、製品の使用による収入の発生、またはSpyderが何らかの業務または職業で用いられた場合は、Spyderは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中に製品が商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、Spyderは商業的用途で使用されたものと見なされます。

2. バッテリーにおいては、**連続する6ヶ月間**。
3. タイヤにおいては、**連続する6ヶ月間**、または前輪が 2.38 mm まで磨り減った時点、または後輪が 3.97 mm まで磨り減った時点のいずれかが最初に発生した時点。

この保証による部品の修理もしくは交換、または整備の実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

オーストラリアで販売された製品のみ適用

これらの保証の利用規約は、オーストラリアの消費者法またはその他の法律を含む、Competition and Consumer Act 2010 (Cth) (2010年競争消費者法) によって授与または黙示されるいかなる条件、保証、請け合い、権利または善後策の適用を除外、制限または変更しないものとし、法律を違反しないものとします。違反する利用規約がある場合、それは無効となります。この限定的保証で得られるメリットは、オーストラリアの法律で守られている権利および善後策に加えて与えられます。

当社の製品の保証は、オーストラリアの消費者法によって守られています。重故障に対する交換または払い戻し、またはその他のいかなる合理的に予見可能な損失または損害に対する補償が約束されます。お客様には、製品が許容される品質を満たせず、その故障が重故障とならない場合、その製品を修理または交換する権利があります。

5. 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときにのみ適用されます。

- 製品は、その販売が行われた国または連邦国において製品の販売を許可されているディストリビューターまたはディーラーから、新品で未使用の製品として最初の所有者により購入される必要があります。
- BRPが指定する納入前点検が購入者および認定ディストリビューターまたはディーラーによって完了および文書化され、購入者によって署名されている。
- 製品は、認定ディストリビューター/ディーラーによって正しく保証登録されなければなりません。
- 製品は、購入者が居住する国または連邦国で購入される必要があります。
- オペレーターズガイドに記載されている定期的メンテナンスは時宜に即して行う必要があります。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後に製品の使用を中断しなければなりません。お客様は欠陥の発現から2ヶ月以内に、整備を行うディストリビューターまたはディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをディストリビューターまたはディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。通知期間はおお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7. BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は以下に記載する条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の認定ディストリビューターまたはディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しい純正部品と交換することに限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、製品の払い戻しや販売の撤回の理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、またはEEA居住者がEEA外で、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるもので全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造されたすべての製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8. 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは認定ディストリビューター/ディーラーが、もとの所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9. お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディストリビューター／ディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題についてBRP認定ディストリビューター／ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

* EEAおよびその他の国では、製品の流通とサービスはBRP European Distribution S.A.およびBRPの子会社によって行われます。

** 米国およびカナダで販売されている製品に提供されているBRPの限定的保証はEEAやその他の国のとは異なります。

© 2018 ボンバルディ エレクリエーションナルプロダクツ 無断複写転載を禁じます。

® ボンバルディエレクリエーションナルプロダクツまたはその関連会社の登録商標です。

フランスのみに適用する追加利用規約

次の諸条項はフランスで販売されている製品だけに適用されます。

販売者は契約に適合する製品を納品し、納品時に認められる瑕疵の責任を負います。販売者は、契約による自らの責任で、または自らの責任で行われたパッケージング、組み立て指示または取り付けに起因する欠陥の責任を負います。契約を成立させるには、製品は次の条件をクリアする必要があります。

1. 製品は同等製品における通常の操作を行える必要があります、該当する場合は、次の条件もクリアする必要があります。
 - 1.1 製品の特性は販売者の説明と一致し、特性はサンプルまたは模型により購入者に説明されていること。
 - 1.2 製品は、広告やラベルを含めた販売者および製造業者の公共宣言により合法的に購入者によって期待される性能を提供できること。または、
2. 製品は、当事者間で相互に合意された特性を持っている、または購入者が事前に販売者に特定の使用目的を相談し、販売者が目的を満たせると承諾した特性を持っていること。

不適合に関する措置は、納品から2年間と定められています。販売者は、製品に購入者の使用目的を満足できなくなるほどの潜在的な欠陥がある場合、またはその欠陥を事前に知っていればより安価で購入していた可能性がある場合、その潜在的欠陥に対する保証の責任を負います。そのような潜在的欠陥に対する賠償要求は、欠陥の発見から2年以内に購入者によって行われる必要があります。

**このページは
意図的に空白になっています**

顧客情報

個人情報

お客様の連絡先情報は、安全性の確保と保証に関する目的で使わせていただきます。また、BRPおよびその子会社は、顧客リストを使用してBRPおよび関連製品のマーケティングおよびプロモーション情報を配布させていただくことがあります。

お客様のデータに関するご相談、訂正またはダイレクトマーケティング用のアドレスリストからの削除については、BRPまでご連絡ください。

Eメール： **privacyofficer@brp.com**

郵便： BRP
Senior Legal Counsel-Privacy Officer
726 St-Joseph
Valcourt QC
Canada,
J0E 2L0

お客様窓口

ウェブサイト

www.brp.com

北米

565 de la Montagne Street
Valcourt (Québec) J0E 2L0
Canada

Sturtevant, Wisconsin, U.S.A.
10101 Science Drive
Sturtevant, Wisconsin
53177
U.S.A.

Sa De Cv, Av. Ferrocarril 202
Parque Ind. Querétaro, Lote2-B
76220
Santa Rosa Jáuregui, Qro., Mexico

ヨーロッパ

Skaldenstraat 125
B-9042 Gent
Belgium

Itterpark 11
D-40724 Hilden
Germany

ARTEPARC Bâtiment B
Route de la côte d'Azur, Le Canet
13590 Meyreuil
France

Ingvald Ystgaardsvei 15
N-7484 Trondheim
Norway

Isoaavantie 7
PL 8040
96101 Rovaniemi

Spinnvägen 15
90361 Umeå
Sweden

Avenue d'Ouchy 4-6
1006 Lausanne
Switzerland

オセアニア

6 Lord Street
Lakes Business Park
Botany, NSW 2019
Australia

13B Echelon Place
East Tamaki
New Zealand, 2013

南米

Rua James Clerck Maxwell, 230
TechnoPark Campinas SP 13069-380 Brazil

アジア

108-0075東京都港区港南
2丁目16-1品川イーストワンタワー21階

Flat B, 8/F 56-60 Wong Chuk Hang Rd
Aberdeen, Hong Kong

Room 4609, Tower 2,
Grand Gateway 3 Hong Qiao Road
Shanghai, China 200020

住所と所有者の変更

お客様が住所を変更された場合または車両の新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法でBRPに通知してください。

- 認定Can-Am On-Roadディーラーへ問い合わせる。
- **北米のみ**：連絡先：1-888-272-9222
- このガイドのお客様窓口のセクションに記載されているBRPの住所のいずれかに、以降のページにある住所変更カードを郵送してください。

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRPが必要に応じて製品の所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後でも、BRPに連絡することが重要です。BRPに通知するのは、所有者の責任です。

盗難に遭った場合：製品が盗難された場合は、BRPまたはCan-Am On-Roadの認定ディーラーにお問い合わせください。お客様の氏名、ご住所、電話番号、車両識別番号、そして盗難が起きた日付をお知らせください。

**このページは
意図的に空白になっています**

**このページは
意図的に空白になっています**

**このページは
意図的に空白になっています**



警告

Can-Am On-Road は特殊なタイプの車両です。
特別なスキルと知識が必要になります。
この製品の特殊性について理解して
ください。

本車両を運転する前に、このオペレーターズガイドおよび
本車両のすべての警告ラベルを読み、安全講習ビデオを
ご覧ください。



トレーニングコース(用意されている場合)を受講し、
運転の練習を行って習熟したうえで、該当の免許を
取得してください。

乗車する前に安全カードを参照してください。

必ずヘルメットとライディングギアを着用してください。

このタイプの車両では、ライダーは自動車の運転者
より高い道路上のリスクに曝されます。熟練した運転
者であっても、他の車両に衝突されたり制御できな
い状態に陥る場合があります。この車両は、衝突事故
において運転者を保護しません。

運転の限界と道路条件

車両の限界を超えた運転が行われた場合、車両安定
システム(VSS)は制御不能、転倒、あるいは転落を防
止することはできません。さまざまな路面状態での車
両の限界について理解してください。氷上、雪上、オ
フロードで運転しないで下さい。水たまりや水が流れ
ている場所での運転は避けてください。このタイプの
車両では、水上でハイドロプレーニング現象が生じ
たり、砂利、泥、砂で覆われた路面上でスリップする
ことがあります。このような路面を走行しなければなら
ない場合、速度を落としてください。

219 002 010_JA

オペレーターズガイド、SPYDER RT / 日本語

U/M:P.C.